

VOL. 7. NO. 12 1974. DECEMBER

JAPAN SEALING MANUFACTURES ASSOCIATION

ELASTIC COMPOUND

理想的

コーキング・シーリング材

エハージール アクリルエース ユーゼット フジ チオコ・ル



昭和石油アスフアルト株式會社

東京都品川区南大井1丁目7番4号 東京都品川区南大井1丁目7番4号 東京都品川区南大井1丁目7番4号 大阪市北区梅田町27(廃経ビル) (06)(341)6395(代) 名古屋市中区丸の内1-17-19(長銀ビル) (052)(231)6568 名古屋営業所 新 潟 市 平 和 町 4 の 1 (0252)(74)7561(代) 〒950 福岡市域多区線場町2-2 (福岡第一ビル) (092)(291)0008 〒812

(06)(341)6395(代) 〒530 (052)(231)6.5.6.8 〒460

のウレタン建材

ミリオネートNS

ウレタン弾性シーリング材

- ●接着性にすぐれています ●いつまでも老化しません
- ●収縮がありません
- ●復元性にすぐれています

ウレタン建材の第1人者

本社・建材鋳材部〒105 東京都港区芝琴平町2-1 TEL03(502)0171

大 阪 支 店 〒541 大阪市東区高麗橋 5 -45 TEL 06 (231) 1212 名古屋営業所 〒460 名古屋市中区錦1-17-13 TEL 052(231)7251

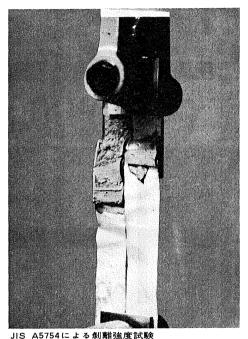
札幌 出張 所 〒060 札幌市中央区北一条西5-3 TEL 011 (261) 7789

福岡出張所 〒810 福岡市中央区大名2-9-25 TEL 092 (75) 7241



すぐれたシーラント+すぐれた……

NUC シリコーン プライマー



右側(プライマーなし)……界面剝離 左側(AP-133 塗 布)……凝集破壊

製品名	用途(シーラント、コーキング材、 接着剤、塗料等の系)
AP-131	ボリサルファイド、ブチルラバー、 ニトリルラバー、アクリル
AP-132	ポリサルファイド、フェノール、エ ボキシ、アルキッド、ボリエステル
AP-133	ボリサルファイド、ネオブレン、ニトリルラバー、シリコーンラバー、 フェノール、エボキシ、アルキッドボリエステル
AP-134 AP-3109	ポリウレタン、フェノール、エボキ シ、塩化ビニル
Y-5106	ポリサルファイド、ネオブレン、ニ トリルラバー、フェノール、エボキ シ、ポリエステル

-NUC SILICONES-

NUC 日本ユニカー株式会社

シリコーン部

東京都千代田区大手町2-6-1 〒100 (朝日東海ビル)

TEL 03-270-2551代)

シリコーン応用研究室

川 崎 市 川 崎 区 浮 島 町 8 - | 〒210 (川崎工業所内)

TEL 044-266-1261代

劉長瀬産業株式会社

大阪本社

大阪市西区立売堀南通 I - 19 〒550 TEL 06-541-1121

東京支社

東京都中央区日本橋小舟町 2 - 3 〒103 TEL 03-665-3314

名古屋支店

名古屋市中区丸の内3-15-26 〒460 TEL 052-951-1121代

バックアップ材のことなら 業界唯一の専門メーカー 日本バックアップ工業へ

NBK

東京商工会議所会員日本シーリング工業会会員

日本バックアップ工業株式会社

本社工場 東京都中野区中央「-12-9 T E L 03 (369) 0215代) 倉 庫 東京都中野区中央 I - 4 - 9 T E L 03 (368) 4996

GLORY

- **ポリサルファイド**
- ポリウレタン
- アクリル・ブチル
- 各種補修防水工事



日本ウレタン防水協会会員 日本ウレタン防水工事業協同組合員 日本シーリング工業会 日本添加剤工業㈱代理店 A R シーリング会 東京都知事許可(般-47)第2238号



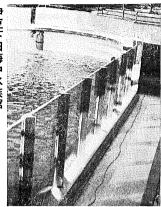
光栄工業株式会社

東京都練馬区上石神井1-432

否 o3 928-2271(代)

·ーリング工事。大型水そう 水族館工事のパイオニア

イルカショウ用水そうアシカ



ワールドシーラ

(営業種目)

- **■高層ビルシーリング工事**
- ■大型水そう設計施工及設備
- ■水族館設計施工
- ■各種シーリング材料販売 東京都知事許可(般-47)第1647号



株式会社 ワールデ シー

東京都台東区台東1-6-3東神ビル内 〒110 TEL (03) $834-4461\sim 3$

はすぐれた製品を豊富に提供致します。

弾性シーリング材

- ●ポリサルファイド系シーリング材
- ボンドリッし*10 ボンド ロリル
- ●ポリウレタン系シーリング材

●その他各種シーリング材がございます。

ボンド スーパーシーラント (シリーコン系シーリング材)

ボンド コークホワイト

ボンド シールパテ

ボンド コーキング

(アクリル系シーリング材) (ブチルゴム系シーリング材)

(油性系コーキング材)

シーリング科の専門メーカー 株式会社 小西儀助商店ポンド工場

社/大阪市東区道修町2丁目6 TEL 大阪(203)3081 支店/東京・名古屋 出張所/札幌・福岡 営業所/静岡・広島

ポリサルファイド系シーラント

7-479-7-No. 300

「ファインシーラー #300」はポリサルファイドと加硫剤の二液の高分子加硫ゴムで、耐風圧、耐震、耐候性、伸縮、接着力などの諸条件を充分満足し得る高性能充填材です

ポリウレタン系シーラント

7-913-7- No. 200

「ファインシーラー #200」は当社 の高い施工技術と豊富な経験を生 かし、鋭意開発された優秀な二液 性ポリウレタン系シーリング材で、 PC・PSC・ALC目地用と最適です

油性コーキング材

© 771>J-7

「ファインコーク」は発売以来15年 を経てその技術と実績は広く業界 に認識され今日に至っています



製造・発売元

日本添加削工業株式会社

営 業 部 東京都千代田区岩本町2-12-5 電話(861) 6 3 5 | 代表大阪支店 大阪市西区江戸堀北通り | 丁目69番地(日々会館ビル内) 電話(443) 6 2 3 | ~ 3 名古屋出張所 名古屋市中村区太閣通2丁目40番地(フタバビル3F) 電話(571) 6 8 0 8・8 6 3 2 本社工場東京都板橋区前野町|丁目2|番地電話(960)8 6 2 | ~ 4



エポキシ接着剤

ツバーエポコーク

建築用コーキング・シーラント並、建築用樹脂製造販売

防水コンサルタント 今三英ポリマー工業株式会社

営業所 東大阪市新喜多29 TEL 06-788-7954

789 - 9 3 7 3

本社・工場 大阪府池田市木部町639 TEL 0727-51-3128

51 - 2069

防水技術から生まれたボースのシール材

ポリウレタン系シーラント

イレボンシー/レ ボースコー7P5

小リサルファイト糸シーラント

油性コーキング材

ボースコーキング

コーキング工事の省力化に

オートリッジま

日本ウレタン防水協会員 日本シーリング工業会員 東日本建設防水協同組合員



株式会社東京ボース工業社

- ■東京 〒116 東京都荒川区西日暮里 2 45 2 ☎ (801) 1151
- ■大阪 〒530 大阪市北区神山町34第一若葉ビル☎ (313) 0148
- ■仙台 〒983 仙台市 東照宮二丁目6-3 番 地☎(34)0023

シールにはじまり、シールにいたる。 アオイ化学の歴史は、 目地を考えつづけた35年。

- 二液冷工式コンクリート目地充塡材
- ●Uボンド(ウレタン系)
- ポリボンド(ポリサルファイド系)
- ●ユニボンド(ポリサルファイド系グレー色)
- ●ユニコールド(コムアスファルト系)

建築田

- ●チオレックスボンド(ポリサルファイド系)
- ●マジックコーキング(油性)
- ●AOIマジックロープ
- ●ブチル系シーリング材(カートリッチ)

ASPHALT

発売元

7才1化学工業株式会社

営業所/東京、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、那覇

工 場/東京、広島、向原

広島市安古市町相田〒731-01 ☎08287(7)1341 (各地に特約販売店があります。ご利用ください。)

シーリング材のことなら…

世和1手3-

土木・建築用

油性コーキング・ポリサルファイド・ブチル・アクリル・シリコーン

工業用

- ●冷蔵庫…ダストシーラー・断熱シーラー・ホットメルトシーラー
- ●空調機器…熱伝導シーラー・断熱シーラー・ホットメルトシーラー
- ●運送用機械…スポットシーラー・リベットシーラー・ダストシーラー
- プレハブ・ハウス…ベルトシーラー・シリコーンシーラー・ブチルシーラー
- ●船舶…ベルトシーラー・ポリサルファイドシーラー
- その他…あらゆる工業品で、目地の充填、空隙の充填の必要な個所



世界長株式会社

大阪化成品営業所 東京化成品営業所

カタログご請求下さい

〒662 西 宮 市 津 門 大 箇 町 8 − 3 9 ☎ (0798)35-1741代

〒150 東京都渋谷区道玄坂 2 −10−7 (新大宗ビル) ☎ (03) 462-5161(代)

名古屋化成品営業所 〒464 名 古 屋 市 東 区 矢 田 町 8 ― 2 0 🕿 (052) 722-3301



建築用ポリサルファイド系シーリング材<スリーコール>

特長

- 1 伸縮に対する、すぐれた復元性、 (98%の復元力) があります。
- 2 長期にわたっての耐久性を示しま す。
- 3 耐油性、耐溶剤性、耐熱性にすぐれ れています。
- 4 水密性、気密性にすぐれています。

🕅 三洋互業株式会社

本社 東京都江東区亀戸6-20-7 TEL 03(685)3451(大代)

ユーザーの信頼にこたえる実績

トップシーラー#5000 アクリル系シーリング材

トップシーラー成形品 ブチル系成形シーリング材

トップシーラー #30 ブチル系 1 液シーリング材

トップシーラーU2 ウレタン系 2 液シーリング材

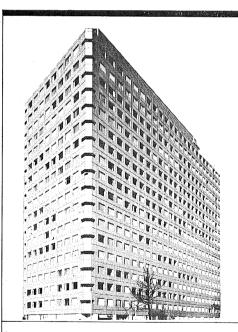
山内ゴム工業株式会社

本社·大阪営業所 枚 方 市 招 提 田 近 2 丁 目 7 番 地 ® 573 電話0720-56-1131 東 京 営 業 所 東京都中央区八重洲1丁目4番21号(共同ビル) 🐷 103 電話 03-273-1871

名古屋営業所 名古屋市中村区泥江町1-24(中経ビル) 👨 450 電話052-561-5401

金沢出張所石川県金沢市進和町2番地(大同製作所内) 👨 921 電話0762-91-1050

I 場枚方・鹿沼



ポリサルファイドシーリングコンパウンド(常温加硫二液型)

ブチルゴムシーリングコンパウンド(常温加硫一液型)

株式会社 日 興 社

東京都江東区白河4-9-5 TEL (642)7103(代)

シーリング工事 ウレタン塗膜防水工事 特殊応用防水工事

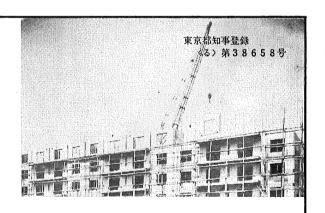
技術と 信用で 応える 東京都知事登録(る)第53514号

細田工業株式会社

代表取締役 細 田 直 司 東京都港区芝大門 2 - 1 - 8 〒105 電話 03 (432) 8 7 3 1 (代)

"水漏れ"に挑戦する!

- プレハブ防水
- ●チオコール系シーラント
- ●油性系コーキング
- ●ウレタン防水
- 一責任施工一





昭和工業株式会社

代表取締役 田 添 俊 正

東京都新宿区四谷2丁目3番地電話353-3675代

いのち

現代建築の生命

工作了对一点小丸棒

一理想的なバックアップ材です―

エサフォームはポリエチレンの独立発泡体で、建築のジョイント部分に使われてすばらしいバックアップ効果を発揮します。

かたちが丸型なので、シーラントの断面は 〈つづみ型〉となり、応力がうまく散って シーラントを長持ちさせるとともに、目地 幅に変動が生じても十分対応できます。 しかも、シーラントと接着しないので、シ

ーラントに無理がかからず、その機能を損 いません。

取扱いはカンタンで、施工能率がグンとアップします。



東京都千代田区有楽町 1 ―12(日比谷三井ビル) 大阪市北区堂島浜通り 1 ―25(新大阪ビル) 札幌市大通り西 5 ―11(大五ビル) TEL507--2961 TEL361--1291 TEL261--5321



尚 当社では角型の各サイ ズも取り揃えております

日本シーリング工業会賛助会員 各種バックアップ材専門店

株式会社

エサフォーム**小丸棒**は 理想的なバックアップ**材です**

- エサフォーム小丸棒はシーラントに対して非接着性なので、 理想的な2面接着が可能になります。
- 2. エサフォーム小丸棒はシーラントを鼓型にするので、弾性シーラントとしての機能を十分に発揮させます。
- 3. エサフォーム小丸棒はシーラントに対して、**化学的悪影響を** 及ぼすような性分を全く含みません。
- 4. エサフォーム小丸棒は物性的に安定したポリエチレンフォームなので、耐薬品、耐老化性に優れています。
- 5. エサフォーム小丸棒は丸棒型なので、ジョイント巾の**多少の** ムラがあっても影響されずに作業ができます。
- 6. エサフォーム小丸棒は長尺ローブ状、ダンボールケース入り なので取扱いが簡単です。
- 7. エサフォーム小丸棒はトップメーカー旭ダウが、バックアップ材及びエキスパンション専用に開発した製品です。

新和商合

東京都荒川区西日暮里2-30-5 TEL (03) 803-1 4 1 1(代) 埼玉県与野市鈴谷283 TEL (0488) 53-1761(代)

シーリング工事営繕工事吹付工事防水工事サッシ工

都知事許可(般-49)第12491号

20日本トライ株式会社

取締役社長 町田 巧

東 京 都 新 宿 区 四 谷 2 - 11 電 話 03(353)6573(代)

J I 許可番号 A - 5751第367098号

建築用油性コーキング材

建造物保護材 綜合メーカ-

野田建材株式会社

東京都港区新橋5-19-1 三陽ビル 仙台市一番町2-3-32 東ービル 室

名古屋 名古屋市中村区西柳町1-1-2 弁天閣ビル

大 阪 大阪市北区梅田2 第一生命ビル

福 福岡市博多区博多駅前1-3-2 八重洲博多駅前ビル

札 札幌市中央区大通り西14丁目 山田ビル

111 山口県防府市牟礼沖ノ原1165

広島市紙屋町2-2-10 小野田セメント広島支店内

TEL, 03(432)0571(代)

TEL, 0222(66)3321(代)

TEL, 052(581)7411(代)

TEL. 06(341)0037(代) TEL, 092(451)5081(代)

TEL. 011(221)5855

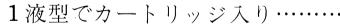
TEL. 0835(38)0259

TEL. 0822(48)0743

シー力 の弾性シーリング材

ポリウレタン系1液型

-カ フレックス・



その場ですぐ工事にとりかかれます。 この使いやすさが、工事のコストダウンに 威力を発揮します。

性能は世界のシーカが保証。

※経済的な27kg入り缶もあります。

カタログ請求は、下記住所へ御申込み下さい。::



日本多力株式会社

〒105 東京都港区西新橋 1 の11の 8 丸万 5 号館 TEL (03) 591-2436~ 8

目 第 12 号 次 Vol. 7. No. 12

■ シーリングの重責に想う渡	辺	\equiv	郎	(13)
■ 休題閑話(題なしのたわごと)	野	春		(48)
■ 弾性シーリング材の目地設計と						
施工実態の関連性における問題点加	藤	正	守	(27)
■ 建築用シーリング材の用途別性能評価基準(案)について			•••••	(34)
■「シー リング管理士」名簿				(56)
■ 日本シーリング工事業連合会よりメーカー						
および設計者への提言	エ	部	会	(23)
■ 日本シーリング工事業連合会の誕生の意義と使命高				-		-
■ 昭和47・48年シーリング材の販売実績通産省窯業	美建林	才課課	月べ	(40)
■ 委員会・分科会報告 				(50)
□工事報告□				(42)
▶ホテル・ニューオタニタワー▶東京海上ビルディング▶新宿三井ビバ	レ					
▶サンワ東京ビル▶新槇町ビル▶第二星ケ丘ビル						
■ 建 築 用 シ - リ ン グ 材 市 販 製 品 - 覧 表				(60)
■ 建築用シーリング材標準設計価格				(66)
■ 日本シーリング工業会会員名簿				(69)
■ 工業会ニュース				(15)
■ 昭和49年度日本シーリング工業会機構表				(67)

防水

アスファルト シート ウレタン コーキング



逐 瀝青建材株式会社

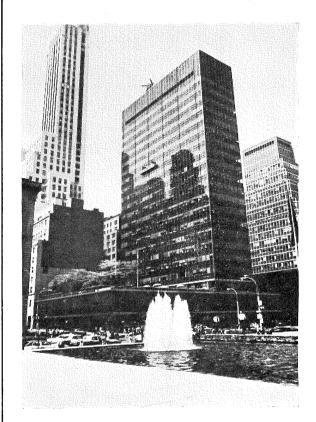
社 東京都千代田区神田佐久間町河岸51 〒101 電話03 (861) 2706~8

宇都宮出張所 栃木県宇都宮市宝木1-80-6 〒320 電話0286(22)9704・9737

Thickol LP®

ポリサルファイドポリマー

20年の実績



20年前、ニューヨーク市、リバーハウスビルに施工された "チオコールLP"をベース とするシーラントは、最近の サンプルテストにより、いま なお接着性・柔軟性を保持し、完全な機能を果していること が実証されています。

詳細ご希望の方は、下記へ ご一報下さい。

東レチオコールはシーラント、接着剤をはじめ各種工業製品の原料` として使用される液状ポリサルファイドポリマー"チオコールLP" の製造会社です。

Thickol

東レチオコール株式会社

本社 東京都中央区日本橋本石町3-6 日本橋室町ビル TEL 03 (241) 1 8 4 5 番 工場 千 葉 県 市 原 市 千 種 海 岸 2-3

CORPORATION-

総代理店

株式会社野村事務所

本 社 東京都千代田区内幸町2-2-3 H北谷国際ヒル3号館 営業 2 部 TEL 03 (502) 1 4 6 6 番 大阪出張所 大阪市西区新町通1-5(新町ビル) TEL 06 (538) 0 2 2 8番

シーリングの重責に想う



日本シーリング工業会会長渡辺三郎

近代建築の構造上、間隙の多種多様化に伴い最近「目地防水」の 重要性と認識は、建築業界においてはとみに昻揚しております。工 技院提出間近の「用途別性能評価基準案」の作成、材工一体化の細 部計画に基く推進のための一つとして、当工業会制定の資格認定制 度による「シーリング管理士」の養成など総てその重要性への現わ れであります。

当工業会発足当初は「雨仕舞」におけるシーリング材の分野は陽のあたる職種ではなく、有能な技能士の確保は余り望めぬまま暫く推移しましたが、近代建築の進展とともに必然的に重要度を増し、昨今ではその必要性に応じ基材別に列記しますと油性、ポリサルファイド、シリコーン、ウレタン、アクリル、ブチル、S・B・Rなど7品種の多きをかぞえ適材適所の使用を図り、充分な機能発揮とクレーム絶無の責任を負うております。それがためには材工一体化の強固な確立であります。去る7月24日には当工業会の東京を始め全国支部に属する施工部会会員の結集による「日本シーリング工事業連合会」の結成を図り、すでに衆知のごとく労働省より職種認定になりました。いわゆる「防水科」に属するシーリング防水を含む7工事業団体の連合体をつくり、昭和49年7月24日「全国防水工事業団体連合会」として発足し、現在積極的に防水科指導員の資格取得、技能士資格取得、教科書作成などの協力推進を図り、材工一体化の基本がある施工技術の向上に基く諸方策が進んでおります。

今後その協力態勢の実績は着実に現われ、建築の基幹機能の一つである「雨仕舞」の責任をおおむね果せるものと確信しております。しかしながら団体活動の目標達成は一朝一夕にはならず、当工業会は12年を経過した今日でも諸計画実践を数多く残し、改めて内部における組織団結の強化を図り、また優れた顧問、相談役の適切なご指導により一日も早く信頼される工業会、また品質に対する誇りと自信をもった各会員の姿勢を保持すべく専念致しております。関係各位の倍旧のご支援を切にお願い申し上げます。



日本シーリング工事業連合会の

誕生の意義と仮命

高 綇 文 彦 長

日本シーリング工業会に属する団体として, 施工部会 が設置されて以来,工業会の各地支部組織の充実ととも に発展し東京,大阪,名古屋,福岡,広島、北海道と主 要地区での組織化が進んでおり、各地区とも工業会の材 工一体の 趣旨に沿って円満、 活発に 活動していること は,皆様御承知のとおりです。

施工業の営業活動はどちらかというと、ある地域に限 定されることが多く, その団体はいわばローカルな組織 としての性格が強く、工業会メーカーのように出先機関 をもっているものが少なく,地域間のつながりがうすい きらいがありました。このことは防水工事業としての他 の業種と比較しても、専門、独立化が新しいためでもあ ると思いますが、何かと不便をかこっておりました。そ れぞれの地区部会が一同に会合して討議決定することが できず統一を欠いておりましたが, 当工業会会長, 役員 の方々、各防水業の方々のなみなみならぬご努力によっ て、昭和47年1月および4月に決定された「建設業法施 工規則, 職業訓練施工規則の一部を改正する省令」にも とずく五防水業種一アスファルト、モルタル、シート、 塗膜,シーリング―の防水施工科としての新設に呼応す る体制としてぜひとも全国的な統一が必要とされ, 防水 業統一団体である「全国防水工事業団体連合会」への加 盟とも相まって、独立業種―職種認定―の一端を担うべ く、ここに全国的統一団体として「日本シーリング工事 業連合会」が皆様の強い希望と期待を担って誕生いたし ました。

独立業種として職種認定された当業界も他の防水業界 同様、なすべきことが山積されておりますし、また皆様 も多くの抱負をおもちのことと存じますが、とりあえず 防水技能士養成のための職業訓練機関の問題を工事業界 の英知を集め工業会の暖いご支援をいただいて急速に実 現していきたいと考えています。

われわれ工事業会としては、日常の営業活動が比較的 地域的であることからくる全国化,全国的組織化に対す る感覚的閉鎖性を充分に自認して,より積極的,より前 向きに当連合会を盛り上げて行くことが社会的地位の向 上,技能員の確保,育成,業界としての意志の統一を確か なものとする第一の必要条件となるのではないでしょう

また観点を変えて、材工一体でユーザーに提供するシ ーリング機能をたかからしめるためのわれわれ施工業者 としての役割についてもこの機会に大いに自覚し、技能 の向上に心掛けるとともに建築業界における独立分野の 担い手としての地位の確保とその向上について、より一 層の努力をおしんではならないと思います。

技能向上ということだけを考えてみても, われわれが 勉強しなければならないことはたくさんあります。雨仕 舞の問題はいわば人間の居住性能要求の中でも本能に近 い非常に基本的な要求であるとされておりますが、建築 の工法の 歴史の 中でごく 自然に 発達してきたものです が、昨今のように建築物の高層化、巨大化あるいは工業 化にともない 新しい 問題として 提起 されてまいりまし た。そしてその解決は科学的に解決されなければならな い問題でもあります。

たとえば,外装設計とシール施工との問題,外装材と 適合シール材の選択及び作業の決定の問題、限定された 範囲でのシール作業の合理化の問題、施工面からプラス しなければならないシール機能向上の問題, etcが専 問家として今後ますます要求される技能の問題ではない かと思います。また問題解決の方法としても施工=工事 にともなうものはどうしても経験的に積み重ねられるも のが多いという一面をもっておりますので, できるだけ 多くの経験を蓄積して共通の情報として伝達する必要が あります。

情報は速く適確に工事業全体が勉強して, 誰もが解決 される問題にしてしまわなければならないと思います。 そういう意味からもローカル的性格から抜け出して全体 で取り組んで行かなければならないと思います。このほ かにも福祉の問題,経営の問題などをテーマにすると全 国団体のもつ意義は非常に大きいと思います。力を合わ せて前向きに材工一体で防水業界の一員として努力しよ うではありませんか。

■ 日本シーリング工業会 ■

1974年のあゆみ



原料事情やや好転へ

合同会議で確認

49年初合同会議および新年宴会を 1月17日4時から熱海市の西熱海ホ テルで開催した。

会議はまず渡辺会長が挨拶に立ち,「アラブ諸国の石油供給削減に端を発したモノ不足は,昨年末より本年初頭にわたりわがシーリング業界にも影響を及ぼしている。

このため私は昨年末より①石油事 情の悪化にともなう業界への影響② 急激に変化しているシーリング材の 市況状況一などの緊急を要する重要 議題について通産省窯業建材課、同 産業生活課,同工業技術院材料規格 課, 建設省住宅局建築課, 東京都住 宅局設計,同工事課,同財務局営繕 工事部, 住宅公団建築量産課, 同設 計課, 建材試験センターなど関係先 を歴訪し,業界の実状を説明し,理 解を求めるとともにこれら関係先に おける情報の収集につとめた。こう した活動を通じて, 会員各位の現状 打破の一助ともなれば幸いだ。本年 は全会員一丸となってこの難局とと り組んでいきたい」と年頭の挨拶を

渡辺会長



述べた。

つづいて総務,技術,広報,市況 対策の各委員長の報告のあと油性, ポリサルファイド,ウレタン,アク リル,ブチル,シリコーン,SBR 各分科会委員長および幹事の材料別 市況報告を名古屋,大阪,福岡,広 島各支部長から概況報告がそれぞれ 行なわれ,材料別報告がそれぞれ 行なわれた。材料別報告では,油性 コーキングがアマニ油,フタル酸, ポリブテンなど資材の不足と高騰で コーキングの生産量がやや落ちこん だほか,価格も35%以上アップし だ。ポリサルファイド系シーリング 材は弾性シーラント中もっとも原料 事情が悪いが、石油事情の好転につ れて少しずつ供給量が上向く見通し だ。ウレタンは価格こそ40~50%高 騰したもののフォーミュレーターに は100%以上入荷している。アクリ ル,ブチル,SBRとも比較的荷繰 りが順調である一とかなり楽観的な 報告が行われ、材料手当に苦慮して いる会員諸社をホッとさせていた。

ひき続き質疑応答に移り、活発な 質疑がかわされた。このあと名古屋 支部施工部会からの緊急動議で合同 施工部会を開き、終了後懇親会に移 った。



ポリサルファイドの 原料事情やや好転へ ポリサルファイド分科会

ポリサルファイド分科会が,2月7日午前10時から都内文京区の湯島 聖堂で幹事会社住友スリーエム高橋 利夫氏の司会で開催された。 当日の分科会は、用途別性能評価 基準に対する要望事項の中間報告と 久守哲夫氏(トーレチオコール)の 「ポリサルファイドポリマーの供給 状況とその見通し」について説明が 行なわれた。

用途別性能評価基準に対する要望 事項の中間報告は、用途別性能評価 基準原案作成委員会ワーキンググル ープで同要望書中の5・2~5・8 における押出し性・合否の判定、ス ランプ、可使時間、タックフリーな どについて討議が行なわれ、これらの諸件はお互いに相関性を有するということで、同委員会ワーキンググループから押出し性試験データの提出が要求された。このため油性、ポリサルファイド両分科会幹事、副幹事会社と、施工部会が協力してデーターの提出をすることになった。

このあと来賓を代表して森伊三郎 氏(北海道シーリング工業協会会長)が祝詞をのべ、午後5時閉会した。 ひきつづき懇親会に移りなごやかな 雰囲気のうちに午後7時散会した。

札幌支部会員=ABC商会▷三洋 工業▷信越化学工業▷住友スリーエ ム◇セメダイン▷積水化学▷日本シ カ▷日本添加剤工業▷横浜ゴム▷小 野田建材。



札幌支部が発足

支部長に熊谷氏(横浜ゴム)

10社が参加し設立総会開く

当工業会は全国組織網の拡充をはかるため、さきごろから北海道地区のシーリング業者を中心に支部結成の準備をすすめていたが、約10社の参加が決定。このため3月4日午後4時から札幌市の札幌グランドホテルで札幌支部設立総会を開催した。

当日は横浜ゴムの望月浩三氏の司会で支部設立の経過などが報告され,ついで役員選挙に移った。

この結果、初代支部長に熊谷周次 氏(横浜ゴム札幌支店工業品課副主 査)また副支部長に池上健司氏(信 越化学北海道出張所)、会計監事に 相沢裕三氏(住友スリーエム)のそ れぞれを選出した。支部長に選出さ れた熊谷氏は「みなさんのご努力で 支部結成にこぎつけることができ、 喜んでいる。北海道という遠隔地な ので中央の情勢にはうといが、本部 とよく連携して、シーリング産業の 発展につくしたい」と就任の抱負を 述べた。

ついで渡辺会長があいさつに立ち



総会会場

「日本シーリング工業会も設立以来 10周年を迎え、着々と実績をあげて きた。この間,内部組織の充実に努 め,全国組織の一環としては名古屋 支部,大阪支部,福岡支部,広島支 部と相ついで発足させ、今日また札 幌支部の結成をみるにいたり,工業 会発足以来のスローガンである *主 要都市に支部を、が着々と実現し、 こんなうれしいことはない。シーリ ング業界は昨年末からの石油ショッ クで原料の高騰など末曽有の危機に 見舞われたが、なんとか態勢を回復 しつつある。この上とも材工一体の 理念に基づき工業会の発展に基与さ れたい」と激励の言葉をおくった。

技術講習会開く ンーリング管理士

大

阪

支

部

大阪支部(山本照夫支部長)では 3月28,29日の2日間にわたって大 阪市北区の日本生命ビル 研修室で 「シーリング管理士」を対象に技術 講習会を開催した。

これは日本シーリング工業会がシーリング技術者の内部資格制度として3年前に発足させた「シーリング管理士」制度をさらに充実させるため、大阪地区在住の「シーリング管理士」に対してシーリング材の材料と施工の両面にわたって講習を行なったもの。

当日は管理士30数名が集まり材料 メーカー各社の技術相当者などが講 演を行ない,全員が熱心に受講,活 発な質議応答がかわされた。

シーリング材 説明会

日シエ 鹿島建設 で

当工業会では3月18日午後1時から東京・港区の鹿島建設本社内でシーリング材に関する説明会を行なった。

これは鹿島建設の建築本部,技術研究所,設計部などで構成され,同社で使用する建材に関する情報の収集および研究を行なっている「建材資料センター」が、例会のなかでシーリング材をとりあげ日本シーリング工業会を招いたもの。

当日はシーリング工業会から青木 副会長はじめ吉原技術委員長などが 出席,まず青木副会長がシーリング 材の現状と展望およびシーリング工 業会の組織と活動について説明。続 いて東芝シリコーン金子譲氏と信越 化学四方満氏がシリコーンシーリン グ材について,住友スリーエム野津 氏がポリサルファイドシーリング材 吉原氏がウレタン,アクリル,ブチ ル,SBRシーリング材についてそ れぞれ説明を行なった。その後は出 席者との間で質議応答も熱心に行な われ、シーリング材に対する関心の 深さを示していた。 事としてサンスター化学が、監査と してABC商会がそれぞれ選ばれ

新支部長としてあいさつにたった 吉武氏は「当福岡支部も2回目の定 例総会をむかえたわけだが昨年度は 目標としてかかげた施工部会の設立 と*シーリング管理士 *の育成が実 現でき喜ばしい。本年はこれらの内 容をさらに充実したものにしていき たい。経済状勢は非常にきびしくな ってきているがこの困難を克服する ため一層努力していきたい」と抱負 を述べた。

日シエ福岡支部では今年度の事業計画として①「シーリング管理士」制度の内容を施工部会との協調,連携をとり充実させる②市状対策と情報収集③官庁および施工部会各社との親睦などとなっているが具体的活動としては昨年にひきつづき,「シーリング管理士養成小委員会」(幹事小野田建材)や毎月5日に行なっている施工部会幹事との合同幹事会などを通じて,問題の解決と今後の発展につとめたいとしている。

なお総会終了後は恒例の懇親パー ティーが盛大に開かれた。



福岡支部総会開く

支部長に吉武氏留任



吉武支部長

福岡支部(吉武伯生支部長)では 4月4日午後3時から福岡市博多区 の博多パークホテルで新年度の定例 総会を開催した。

当日は福岡支部会員17社のうち12 社が出席(5社は委任)オブザーバー として同支部施工部会長野田勇氏も 出席した。議事は48年度事業報告, 同決算報告49年度役員改選,同事業 計画案審議,同予算案審議の順にす すみ,役員改選ではまず6社(信越 化学工業,小野田建材,小西儀助商店,サンスター化学工業,テイパ化工九州販売,東芝シリコーン)が投票によって選ばれ続いて新幹事の互選によって支部長に吉武伯生氏(信越化学)が選出された。また支部長の指名によって副支部長にはテイパ加工九州販売が決定,さらに会計幹

東京施工部会会長に高橋氏

東京施工部会では4月16日午後4時から東京・外神田の同工業会会議室で新旧合同幹事会を開き新会長に高橋文彦氏(セメダイン建設工事社長)を選出した。

当日は役員改選のほか49年度事業 計画案,同予算案の作成作業も行な われた。新年度東京施工部役員次のとおり。

○会長=高橋文彦(セメダイン建設工事)○副会長=アルファ産業○ 幹事=マサル工業(総務・広報担当) 丸福産業(総務・広報,全防連・職 訓担当)細田工業(総務・広報,全 防連・職訓担当) 理建シール(全防

連·職訓担当)光栄工業(会計担当)。



11回通常総会開く

渡辺氏を会長に再選

材エー体化を推進

5月16日午後2時から東京・原宿の東郷記念館で第11回通常総会をひらき,新年度事業計画,同予算などを決めるとともに新会長に渡辺三郎氏(小野田建材),副会長に青木済氏(昭和石油アスファルト)をそれぞれ再選,新理事,監事など役員を選任した。

総会はまず青木総務委員長の開会の辞にはじまり、ついで渡辺会長が 「当工業会も本年で12年目に入ったこの間、数次にわたって会長の重貴を担ってきたが、各会員、役員の援助により幸い大過なく勤めることができた。創立当初よりみると、シーリング材も建設業界で重要なポストを占めるようになり、複雑多岐なも対処できうる高水準なものとなった。運営面においても名古屋大阪、福岡、広島、札幌などにあいて支部が発足し、残る重要地区として仙台支部も本年中には発足の見通しにある。

シーリング管理士もすでに300名 以上が巣立ち,第一線で活躍している。また,全国防水団体連合会(仮称)が近く発足するが,これには当団体からも施工部会が加入することになっており,この面でも材工一体化の推進がのぞめると思う。施工員の職業訓練問題については,新年度初期に全国施工部会連合会を作りた い。昨年11月以来の石油ショックを 契機に卸売り物価,消費者物価が急騰しきわめて不安定な世情となって いる。しかし当工業会ではこれらに めげず安定した製品,安定した施工, 安定した適正価格をめざして一致した安定策を打ち出したい」とあいさ つした。

ついで48年度事業概況報告が行われたあと新入会員としてモルナイト 興業,関西パテ化工,日本特殊塗料,日本曹達などの各社が紹介された。ついで48年度決算報告の承認,会費 改訂などが審議されたあと役員承認の件にうつり新年度役員として〉小野田建材〉昭和石油アスファルト〉信越化学工業〉中ンスター化学工業〉日本添加剤工業〉住友スリーエム〉鐘紡合成化学〉横浜ゴム〉エービーシー商会〉東芝シリコーン〉山内ゴム工業〉セメダイン〉世界長〉日本合成ゴム〉保土谷化学工業〉昭和石油アスファルト名古屋営業所〉日

本ボリマー工業▷信越化学工業福岡 営業所▷セメダイン広島出張所▷横 浜ゴム札幌支店▷セメダイン建設工 事(理事待遇)▷三洋工業(監事) ▷積水化学工業(同)。

これら理事会社より新会長に渡辺 三郎氏(小野田建材社長)を,また 副会長に青木済氏(昭和石油アスファルト常務)を再選,また総務委員 長に日本添加剤工業,技術委員長に 東芝シリコーン,広報委員長に鐘紡 合成化学をそれぞれ選出した。

会長に再選された渡辺会長は、「今期は新風をと思ったが再び推せんされたので徴力ながら精一杯がんばりたい。当面の課題としてシーリング材用途別性能基準の早期完成があるが、これについては今期中にも工技院に提出したい。これにともない材・エのレベルアップを大きなデーマとして推進したい」と抱負をのべた。

ひきつづき49年度事業計画案,同 予算案の審議にうつりこれを承認した。このあと来賓を代表して木原・ 通産省窯業建材課長が祝 詞をのべた。ついで渡辺会長に感謝状の贈呈 が行われ,総会は閉会した。ひきつ づき別室で懇親会にうつり午後5時 終了した。

49年度定時総会

大阪支部は5月9日に昭和49年度定 時総会を開催し、新年度事業計画を 決め、任期満了に伴う新役員を選出 した。

事業計画=①材工の協調による技

大 阪 支 部

術向上の推進②本部ならびに他支部 とより密接な連繋③シーリング管理 士の質的向上の促進とPR活動④市 場調査と情報交換の促進⑤各種PR 活動の推進⑥分科会を設置(ボリサ ルファイド分科会,アクリル分科会 油性分科会など基礎別分科会に全役 員が参加をする)し,当業界の各種 問題を討議検討する。

役員=支部長=梅本禎治氏(日東 ポリマー工業), 副支部長=山本平 八郎氏 (テイパ化工), 会計幹事会 社=信越化学工業, 幹事会社=小野 田建材, 横浜ゴム, サンスター化学工 業, 日本添加剤工業, セメダイン, 世 界長, 大日本塗料, 東芝シリコーン, 監事会社=昭和石油アスファルト。 チオコール社と販売会社の野村事務 所からポリサルファイドポリマーの 今後の供給状況などについて説明が あり、会員の間から熱心な質問も寄 せられた。

東レチオコール久守氏によるポリ サルファイドポリマー「チオコール LP」の生産状況,価格動向につい ての説明は次のとおり。

「昨年末から今年始めにかけて石 油ショックにより品不足と値上げの やむなきにいたり皆さんにご迷惑を おかけしたことは申し分けない。今 後はシーラントメーカーおよび皆さ んと連絡をよくとり昨年の二のまい はふまないようにしたい。現在の生 産状況はこの五月ごろから在庫も確 保できるようになり, また原料面か ら生産が上昇しているのに対し販売 量が伸びなやみの傾向にあるため今 後も生産については問題はない。価 格については難しい問題が多い。賃 上げと石油の値上げ、そして電力と 苛性ソーダ, 塩酸類の値上げがどの ように影響するかによって変ってく ると思うが、われわれとしてはでき るだけギリギリのところで頑張って 経営をしていきたい。とにかく諸条 件が出そろう8月ごろにもう一度検 討を加えたい。



第12回総会開く

東京施工部会

高橋施工部会会長



東京施工部会(高橋文彦部会長) は6月6日午後5時から神奈川県湯 河原の「三桝家」で第12回総会を開 催。新年度事業として従来の事業の 他新たに施工部会全国組織体制の確 立と連繋などを打ち出した。

福間幹事の司会で始まった総会はまず、先ごろ部会長を辞任した苅谷勝氏があいさつに立ち「変動の激しい時期にある現在、当シーリング施工業界でも充分注意してこの危機を乗り切っていきたい。在任中の皆様のご協力を感謝します」と述べた。

ついで高橋文彦部会長は「経験の深い苅谷前部会長に変ってシーリング工事業の経験の浅い私が部会長に選ばれとまどっているが、引き受けたからにはとにかくこれまでの立派な活動をついて頑張っていきたい」と抱負を述べた。

この日の総会で決定された49年度 事業計画は①材工一体化による技術 の向上と適正価格の確保②技術・安 全衛生,労務管理などの講習会の開 催③市場調査および情報収集活動の 推進④「シーリング管理士」の育成 とPRの徹底⑤職種認定「シーリン グ防水工」誕生への積極的協力⑥広報活動の実施⑦施工部会全国組織体制の確立と連繋⑧懇親会の開催となっている。

東京施工部会の新年度役員はさる 4月に選出され、会長に高橋文彦氏 (セメダイン建設工事)副会長に山 本勇氏(アルファ産業)、幹事にマ サル工業、丸福産業、理建シール、 細田工業、光栄工業の各社が決定し ている。

また当日は総会に先立ってポリサ ルファイドポリマーメーカーの東レ



全国施工部会連合会 設立への動き 設立準備会など開く

各支部施工部会

当工業会ではかねてから各支部単

位に設置している施工部会に横の連

絡をつけ、「全国施工部会連合会」 (仮称)を設立する意向を持っていたが6月11日に開いた理事会で具体 策が検討され、とりあえず7月3日 に熱海の西熱海ホテルで渡辺会長、 青木副会長はじめ同工業会各支部長 と各支部施工部会長が集まった。

当工業会には現在シーリング材メーカーが正会員として全国で52社加盟しており、地方支部として大阪、名古屋、福岡、広島、札幌に支部を設置し、建築工法の発展にともなう建築シーリング材の需要の伸びとともに活発な活動を行っている。一方シーリング施工業者も同工業会の準会員として、新設の札幌を除く各支部ごとに施工部会を結成してメーカーとともに"材工一体"として活動を行っている。

しかし正会員 (メーカー) が地方 支部会員は各社の営業所,出張所な ど出先機関が多いこともあり本部を 中心として横の連絡が綿密にとれて いるのにくらべ、施工部会はシーリング施工業の歴史が浅いこともあり、全国的なネットを持つ業者がなく、各支部ごとにバラバラの状態が実情であった。そのため48年からの石油危機によるモノ不足と材料価格高騰の混乱時や、設立が間近になっている防水他業種工事業者団体との連合組織「全国防水工事業団体連合会」(全防連)参加に際しても施工業者サイドの意見を広くとりまとめることが難かしく、特に石油危機の時には混乱をより大きくしたという苦い経験を持っている。

したがって施工部会連合会が設立されれば全防連に正会員として加入できる他、シーリング工業会が活動目標の一つとしてかがげている。材工一体化、が全国的規模でスムーズに行なわれることにより、また今後の不況下でのシーリング業界の対策をたてるにもプラスになるなど多くのメリットを生むわけだ。

工業会(渡辺三郎会長)全国アスファルト工事業協同組合連合会(岩崎一会長)東日本建設防水協同組合(藤森秀雄理事長)日本ウレタン防水協会(秋田一雄会長)日本ウレタン防水工事業協同組合(武田信道会長)合成高分子ルーフィング懇和会(中原森太郎会長)全日本プレハブ建築防水協会(苅谷勝会長)であり、これら七団体が今年5月に相次いで開催した総会で全防連加入とそれにともなう出資金75万円の出資が承認されたので今回の設立総会開催となったもの。

てきた防水七団体は日本シーリング

防水業は昭和47年1月の「建設業法施行規則の一部を改正する建設省令第一号」で認定されつづいて同年4月の「職業訓練施行規則の一部を改正する雑労働省令第13号」によって職業訓練科目の中に防水科が新設されたことにより、ようやくそれまでの難工事としての扱いから正式に業種として認められることになった。

防水業界では47年4月の事務局長連絡会「志水会」発足を始めとして大同団結の動きが活発化,特に防水施工科の職業訓練を進める事により「防水技能士」を誕生させるべく,教科書編成指導要項の作成,職業訓練指導員の育成などを行なってきている。したがって今回の全防連設立によって「防水技能士」誕生がいよいよ間近なものになったといえる。

当日の総会で決った49年度事業計画は①防水科職業訓練指導員の育成および防水技能士資格取得への協力②教科書作成への協力③事業内訓練



全国防水工事業団体 連 合 会 発 足

「防水技能工」促進へ

当工業会も参加

初代会長に岩崎一氏

防水業界七団体で設立をめざしていた全国防水工事業団体連合会(略称・全防連)の設立総会が7月24日東京・港区浜松町の世界貿易会館内「チェリールーム」で開催され初代会長に岩崎一氏(全国アスファルト工事業協同組合連合会)を選出したほか初年度事業計画として「防水技

能工」育成の推進,防水技術の向上 雇用問題,公害防止問題解決への研 究などが可決承認された。これによ って防水業界は各業種団体が大同団 結して共通の問題に取りくみその活 動のスタートを切ることになった。

今回の「全防連」設立をめざして 設立準備委員会を設置し活動を続け 所の認可申請など④関係諸官庁との 密接な連絡⑤技術の向上と研究⑥雇 用問題,公害防止などの研究などと なっている。

設立総会後の披露パーティでは岩 崎一会長のあいさつにつづいて,来 賓の高比良和雄建設省計画局建設振 興課長, 八木克己労働省職業訓練局 指導課長,木原滋之(田部班長代続) 通産省生活産業局窯業建材課長が祝 辞を述べ、西忠雄東洋大学教授の音 頭で乾杯, なごやかななうちに盛大 な宴会に移った。

全国防水工事業団体連合会初年度 役員は次のとおり。

▷会長=岩崎一(全アス連)▷副会 長=楡井喜重(同)藤森秀雄(東日 本建設防水協組) 武田信道(ウレタ ン防水工協組) >理事=井上浄夫 (全アス連) 鳥越貞蔵 (東日本防水 協組)山口 豊(ウレタン防水工協 組)高橋文彦(シーリング工連)松 下実(同) 秋田一雄(ウレタン防 協) 北原条之助(同) 苅谷勝(全プ レ防協) 田添俊正(同) 中原森太郎 (ルーフィング懇話会) 戸塚昭已 (同) 監事=岡康延(シーリングエ 連) 木下好郎(ウレタン防協)

東京施工 部会開く

東京施工部会(高橋文彦部会長)は 8月30日午後2時から東京・港区の 郵便貯金会館会議室で部会を開催し 日本シーリング工事業連合会(シー リング工連)の設立経過説明と全国 防水工事業団体連合会(全防連)入 会, それにともなう今後の活動方針 などを協議した。当日は高橋部会長 がシーリング工連の設立までのいき さつと今後の活動方針を述べ,続い

て中村事務局長から全防連の発足報 告と現状について説明があった。ま た全防連加入にと伴う会費値上げ案 が提出され満場一致で承認された。



正副幹事決まる

大阪支部(支部長梅本禎治氏)は9 月4日午前11時から新大阪ちさんホ テルで支部会を開き, 七分科会の正 副幹事を選出した。これによって今 後の支部運営は七分科会を中心に行 われることになった。

▷油性分科会(委員16社)=正幹事 テイパ化工,副幹事・小西儀助商店 ▷ポリサルファイド分科会(18社) =正・サンスター化学工業,副・横

大 阪 部 支

浜ゴム▷ウレタン分科会(19社)= 正・日本添加剤工業, 副・カネボウ エヌエスシー▷アクリル分科会 (12 社)=正・日東ポリマー工業,副・ 山内ゴム工業▷ブチル分科会(10社) =正・世界長,副・明星チャーチル ▷シリコーン分科会(11社)=正・ 信越化学工業、副・東芝シリコーン ▷SBR分科会(4社)=正・昭和石 油アスファルト,副・バンドー化学。



日本シーリング工事業連合会 発会式を盛大に挙行

初代会長に高橋文彦氏

高橋文彦会長

当工業会の東京,名古屋,大阪,福 岡,広島の五施工部会は,連合して 防水工の職業訓練や地位向上などに あたるため「日本シーリング工事業 連合会」の設立準備を進めていたが、 10月25日午後2時より東京・日本橋 の千疋屋で発会式を挙行,発足した。

また、初代会長には高橋文彦氏 (東京施工部会長,セメダイン建設 工事社長)が就任した。

発会式で挨拶に立った高橋会長は 「47年1月以来, さきに建設業法施 工規則の改正に伴う防水工事業の業 種認定と,職業訓練施行規則の改正 による防水科の新設など新しい事態 への対応策としてこの連合会を発足 させ、今後に処することになった。

また,本年7月24日,防水関係七 団体により全国防水工事業団体連合 会が発足し,職業訓練,技能検定問 題などに取りくむことになった。

この構成員でもある本連合会は, 日本シーリング工業会の愛情ある指 導のもとに,諸地域の施工部会が合 同し,本日ここに発足することがで きた。これまでご指導下さった関係 各位に深く感謝するとともに今後組 織を強固にして,微力ながら全力を あげて業界の向上に努めたいと思 う」と就任の決意をのべた。

つづいて、渡辺日本シーリング工業会会長が、「当工業会も発足以来12年目を迎え、着々とその地歩を固めつつある。この間私は八期会長を重任したが、材・工一体化の理念完遂は常に念頭を離れなかった。いま業界は用途別性能評価基準の選定や建築不振による需要後退などで難しい時期にある。さいわい日本シーリング工事業連合会がこれらの難局にとりくみ、またシーリング管理士養成などに実をあげることを期待している」と激励の挨拶を行った。

ひき続き小俣和夫氏(労働省技能 検定課), 木原滋之氏(通産省窯業 建材課)が祝詞を述べたあと狩野春 一氏(工学院大学教授)の音頭で乾杯し,パーティーに入った。

これにより同連合会は防水指導員の教育,防水技能士の訓練などを行うほか,雇用問題,公害の防止など業界の懸案ともとりくんでいくことになる。なお,日本シーリング工業会五支部のうち,残る北海道支部および現在設立準備中の仙台支部は,施工部会が発走後に入会する予定となっている。

○会長=高橋文彦氏(セメダイン建 設工事・東京)○副会長=岡康延氏 (エイト工業・名古屋),松下 実氏 (日本化成工業・大阪)○理事=山 本 勇氏(アルファ産業・東京),石 動一雄氏(石動コーキング・名古屋) 内田勝久氏(アルファ産業大阪(営) 大阪),青盛繁男氏(青盛建材・広 島),野田勇氏(野田工業所・福岡) 山領正義氏(昭和防水工業・福岡), ○監事=海部幟氏(中国特殊防水・ 広島),武藤 貞氏(武藤工業所・福 岡)。 界の発展をめざすため全員が合格する意気ごみで頑張って勉強してもらいたい」とあいさつ、つづいて高橋文は東京施工部会長の激励のことばが送られ第一日の講習にはいった。

名古屋支部は11月13,14日の両日 名古屋市中区の産業貿易会館で、大 阪支部は同日大阪市東淀川区の新大 阪ちさんホテルで講習会を開いた。 講師は各会場とも同じで

▷総論=野津英夫(住友スリーエム)
▷油性=木田茂(三洋工業)▷SBR=板倉健(日本合成ゴム)▷ブチル=星野正弘(山内ゴム)▷アクリル=清水茂(カネボウエヌエスシー)
▷ウレタン=浅見勉(エービーシー商会)▷ボリサルファイド=河野潔(サンスター化学)▷シリコーン=金子譲(東芝シリコーン)の各氏であるが施工一般科目の講師は地元のシーリング施工経験者から選ばれ,東京が加藤由之助氏(理建シール)名古屋が小川雅也氏(志水化工)大阪は大西秀次氏(三大工業)が担当した。

なおこのあと11月20,21日には福岡,広島でも同講習会が行なわれた。

管理士試験 行なわれる 148名が合格



「シーリング 管理士」の全国 一斉試験が11月 27日全国五支部 で行なわれ 200 名近い会員が受 験した。

今回の管理士試験は昨年の172名



シーリング管理士

講習会開かれる

当工業会では11月7,8日(東京地区)と11月13,14日(名古屋,大阪地区)それぞれシーリング管理士講習会を開いた。

東京会場の講習会は11月7日午前 9時から東京・港区の中退金ビル会 議室で行なわれ,まず渡辺会長が, 「シーリング工事は材料が良くてもすぐれた施工ができなくては意味がない。近年線防水がクローズアップされ『シーリング管理士』もその実効をあげてきている。全防連が誕生し、日本シーリング工事業連合会も発足した現在ますますシーリング業

一昨年の147名,合計319名の「シーリング管理士」に続く管理士を誕生させようというもので、各支部ごとに講習会を行なっていた。試験は東京、大阪、名古屋、広島、福岡の五支部で11月27日一斉に行なわれ、東

京57名,大阪38名,名古屋27名,福 岡22名,広島37名の合計 182 名が第 三期「シーリング管理士」めざして 受験した。

この結果,東京52名,大阪30名, 名古屋19名,広島31名,福岡16名の 合計 148 名の「シーリング管理士」 が新たに誕生した。

こたで当工業会の認定した管理士 は全部で467名となった。

なお管理士名簿は本誌56頁に掲載してあります。

日本シーリング工事業連合会より メーカーおよび設計者への提言

施工部会

シール防水は皆様ご存知のように材料と現場での工事 作業との結果、止水、気密機能が満足されるものであり ますので、非常にむずかしいものではあると存じます が、私達施工業者から首題のようなテーマで申し上げま すと次のようなものが挙げられます。

1. 材 質

最近建築物が高層化するにともない材料に対する条件が厳しくなり、耐候性、伸縮繰返し、耐熱性、接着性が高度に要求されるようになりました。従ってなお一層の性能の向上が望まれます。特に笠木、マリオンジョイントなどの個所において 剝離 および 亀裂がよく見られます。

2. 色

設計者の感覚的意匠によってのみ色が決定される例が 多いのですが、そのために材質的に不安定なものも出て きており、施工者にとっては不良在庫が増すことになっ て、在庫期限の過ぎたものまで使用せざるを得ないこと となる場合があり、設計者に積極的PRをお願い致しま す。

3. プライマー

メーカーごとにそれぞれの名称を附し、何に対するプライマーなのか判然としない場合があり、誤って使用されることもあり得るし、またプライマーが毎年のように変化しており、施工者としても覚え難い悩みがありま

す。対象物を統一の名称に整理して容器ごとに明記する とともにむやみに変えないよう希望します。

4. 清 掃

サッシュの表面塗布剤により異なる溶剤を使用しなければならず,使用法を誤まると逆効果となる場合も多くあり,サッシュメーカーとよく連携のうえ清掃溶剤を明記して欲しい。

5. 設計上の問題

笠木、マリオンジョイント、打継部(特に異質のもの)などに対して、シーリング材の性能を上廻る要求がなされる場合が多く、形状、深さ、巾などに対して設計者への要求が不足していると思われます。無理のない施工ができるようPRを希望します。特に過去の不良個所のデーターを整理して説得力のあるPRを希望します。

6. 保証期間

メーカーにより保証期間がまちまちであり、施工者としてはあまり長い保証期間には耐えられません。出来るだけ短かくし、メーカー同志、統一したものを打ち出して欲しいと思います。

7. 教育および新製品に対する注意

売らんかの過剰 P R が多く見られるが、もっと製品の本質を見つめる施工者への教育、注意が多く行なわれることを希望します。定期的な講習会などが企画されても良いのではないかと思います。

すぐれた機動力 たゆまぬ材料研究 独自の施工技術



誠実本位

白洋建材株式会社

代表取締役 小阪 栄

大阪市都島区都島本通2-15-1宝コーポ **2** 06(924)2536(代)

R のマークは

チオコール系シーラント 各種 コーキングエ事

理建シールのマークです

建設業者登録 都知事(わ) 52661号

理建シール株式会社

東京都墨田区緑 4 丁目 2 2 番 9 号 (林ビル) 〒 130 **T**EL (631) 4 0 8 1 (代表)

東芝コリコーコは、実績とシステムを、お届けします。

トスシール361の特畏

- 〇モジュラスが低く、伸びが大きい 目地のどのような 動きにも追従します。
- ○引裂き強度が抜群です たとえ、亀裂が入っても進行 しません。
- ○部材を汚しません
- ○刺激臭、毒性がありません
- ○すぐれた弾性を有します
- ○耐候性、耐久性にすぐれています
- ○2成分型シリコーンシーラントです 硬化剤がキット になって使い易さは抜群です。
- ○低粘度----温度に左右されず、攪拌性、作業性にすぐれています。



トスシール361の用途

カーテンウォール工法等の可動目地不動目地(ALC板・ 大理石・レンガ)など

カラー鉄板シーム

ガラスサスペンション

プレハブ接合ジョイントなど

●安全な設計が可能です

伸びの大きい低モジュラスタイプですので、目地の大きな動きに十分耐えられます。動きに対する目地幅の許容限度は、±30%です。ALC、PCコンクリート、大理石などポーラスな部材でもよく接着します。シリコーンですから、耐久性は抜群です。

- ●色 (標準色 4 色) が揃っています グレイ・ホワイト・ニュートラル・アンバ
- ●技術サービスが完全です。
- 販売網が完備されています。全国各府県に、専門店があります。
- ●資料が揃っています。

一般カタログ、施工法、設計基準、技術 資料などが用意されていますのでご請求 ください。

施工実績

昭和47年4月の日本航空成田カーゴビルを 手始めとして全国にまたがり、200件以上の 実績があります。49年度も下記ビルのほか、 多数のビルで使用されました。

山形県庁舎 (大成建設) 山形県 都立駒込病院 (戸田建設) 東京都 山口銀行事務センター (清水建設) 山口県 新日本橋住友ビル (熊 谷 組) 東京都 京都府警察本部ビル (大 林 組) 京都府



2成分型シリコーンシーリング材

トスシール361

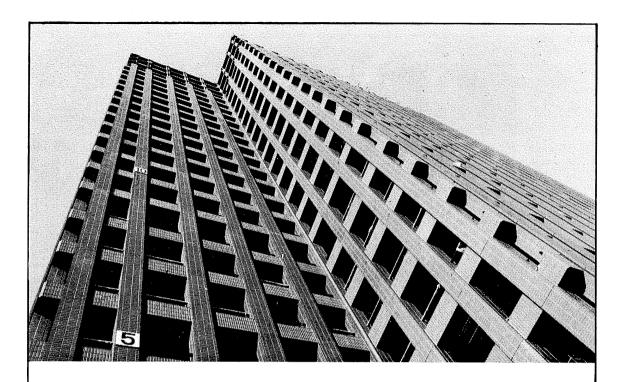
東芝シリコーン株式会社

本社・東京支店 東京都港区新橋3-3-9(阪急交通社ビル) TEL03-503-5561

大阪支店大阪市東区本町3-27-1(センバセントラルビル) TEL06-251-6272

名 古 屋 支 店 名古屋市中区栄2-10-19(商工会議所ビル) TEL052-221-7111

仙台営業所☎0222-61-2341 福岡営業所☎092-721-5211 金沢営業所☎0762-44-7635 札 幌 駐 在☎011-221-1048 広島営業所☎0822-47-9311



高層建築時代を開く

セメダインポリシールは、主剤と硬化剤 からなる2成分型で、ガラス、モルタル、 アルミなどにすぐれた接着性を示す。 現在、東京海上火災ビルをはじめ、多く の高層ビルのガラスまわり、方立まわり



に使用され、抜群の水密、気密効果を 発揮しています。シーリング工事なら ポリシールにおまかせください。



ボリサルファイドセメタイン ポリナルファイドセメタイン

建築用各種シーリング防水工事 セメダイン製品 建 材 販 売 店



セメダイン建設工事株式会社 東京都港区白金台 2-11-6 〒108 TEL447-1665

弾性シーリング材の目地設計

と施工実態の関連性における問題点

加 藤 正 守 千葉大学助教授

I はじめに

わが国の経済は驚異的な発展をとげ、このまま推移するならば 80 年代は日本の世紀であるというバラ色の未来論が 謳歌していたが、高度成長によるひずみが顕在化し、わが国の経済は 高度成長から安定成長へと転換しつつある。 加 えて石油危機に始まる異常なる諸物価の高騰は産業界に予想以上の不況をもたらし、 建設産業も例外ではなく、 著し い停滞を示している。しかしながら高度成長のひずみ解消への社会資本の蓄積、 公害防止、 自然保護などの福祉社会 建設の主役を果すものは建設産業であることはいうまでもなく、 今後の景気回復が期待されるとともに 建設産業の工 業化への要求が高まっている。

シーリング業界は、建設産業の景気回復とともに遠からず不況から脱却し、ふたたび発展への方向を示すものと思うが、いたずらに高度成長をはかるばかりでなく、この機会に業界の多くの問題点について十分に凝視する必要があるのではなかろうか。その最も重要な課題は、近く制定される「建築用シーリング材の用途別性能評価基準」(仮題)への対応であり、施工の機械化ではなかろうか。これらの発展を踏まえての発展こそ真の発展といえるであろう。

用途別性能評価基準については、小池博士が、本誌第11号(1973)で、その内容について紹介しておられるので、 ここでは述べないが、以下原案作製の問題点の背景と施工実態について述べ、読者の参考に供したい。

Ⅱ 目地設計

図1は、弾性シーリング材の目地設計のフローチャートを示し、目地幅(W)は、次の式で求められる。従って、

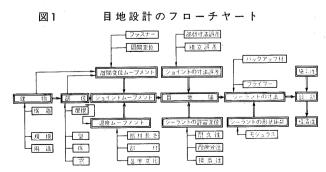
 $W \ge D/z + t$

 $D: \mathcal{S}_{\exists} \wedge \mathcal{S}_{$

ε:シーリング材の許容変位(%)

t:ジョイントの寸法誤差(mm)

目地幅の設計は、ジョイントムーブメント、 シーリング材の許容変位 およびジョイントの寸法誤差を考慮して行わなければならない。



ジョイントムーブメントは、長期的には部材の温度変化や乾湿変化によるもの、および振動によるものなどがあり、短期的には地震や風圧による層間変位に伴うものがある。 長期ムーブメントは、 短期ムーブメントに比較して小さいが、一般的には長期ムーブメントによって設計されることが多い。

i 温度ムーブメント

温度ムーブメントは、一般的には部材拘束および 部材の端部拘束を考慮すれば(1)式で求められるが、これらの

$$\triangle \ell = \alpha \cdot \ell \cdot T \ (1 - \beta) \ (1 - \gamma) \ \cdots (1)$$

α:部材の熱膨張係数

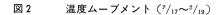
ℓ:部材の設計長さ(mm)

T: 部材の温度差 (°C) β: 部材の拘束率

γ:部材の端部拘束率

値は極めて小さいので、(2)式に表すことができる。

温度ムーブメントは、図2に示すように1日を1サイ クルとして変動し,真夏の最盛期に施工した場合は,拡 大時ムーブメントのみを, 真冬の厳寒期に施工した場合 は、縮小時ムーブメントのみを生ずることがあるが、一 般的には、図3に示すように縮小時の動きと引続いて起 る拡大時の動きとの間には平均的には比例関係が認めら れ、縮小時ムーブメントおよび拡大時ムーブメントの両 者が生じていることがわかる。部材温度 および 温度差 (アルミ)の月最大値は、表1に示す。部材温度の最高 温度および最低温度は、試験体S-1(黒色)、S-4(ア ルミ色)とも前者は夏期に後者は冬期に記録しているの は当然であるが、温度差は、春秋期に大きく、冬期、夏 期の順に小さく、夏期に最小値を示している。温度差の 最大値は、試験体S-1は春期に43.5℃、試験体S-4 は秋期に32.7℃を記録している。表2はジョイントの動 きの月極大値および月平均値を示す。年間の最大値は, 試験体S-1の場合は2.34mmで縮小時に、試験体S-4



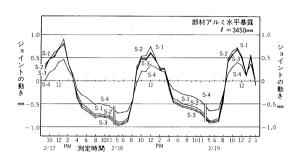
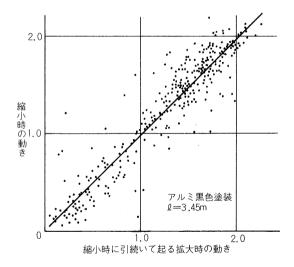


図3 縮小時の動きと引続いて起る拡大時の動き



の場合は 1.46mmで拡大時に示している。月平均値は,試験体 S-1 の場合,縮小時は $0.99\sim1.47mm$,拡大時は $0.93\sim1.53mm$ で,総平均値は,いずれも 1.26mmである。試験体 S-4 の場合,縮小時は $0.63\sim1.10mm$,拡大時は $0.64\sim1.10mm$ で,総平均値は,いずれも 0.81mmである。図 4 は,前述した部材温度差とジョイントムーブメントとの関係を示し,両試験体とも直線的関係が認められ,部材温度差から,そのムーブメントをかなり正確に推定することは可能である。

建物の温度ムーブメントも図 5 に示すように1日を1サイクル として変動している。 表 3 は,建物の笠木および方立の温度ムーブメントを示す。部材単位長さ当りの動きは,笠木は,部材がステンレスの場合 $5\sim 6\times 10^{-1}\,\text{mm/m}$,部材がアルミの場合 $6\sim 7\times 10^{-1}\,\text{mm/m}$,部材がコンクリートの場合 $2\times 10^{-1}\,\text{mm/m}$ 程度の値を示し, 方立は,部材がステンレスの場合 $6\sim 7\times 10^{-1}\,\text{mm/m}$,部材がアルミの場合 $4\sim 5\times 10^{-1}\,\text{mm/m}$ 程度の値を示している。 尚,前述した実験の場合の単位長さ当りの動きの最大値は,部材がアルミー黒色の場合は $6.8\times 10^{-1}\,\text{mm/m}$, 部材がアルミーアルミ色の場合は $4.2\times 10^{-1}\,\text{mm/m}$ である。

表1 部材温度,温度差の月最大値

THE STATE OF THE S	(S-1	(黒色))	S-4(アルミ色)				
項目	部材温	温度℃	温度	差℃	部材温	痩℃	温度	差℃	
月	最高	最低	縮小 時	拡大 時	最高	最低	縮小時	版大語	
3月	42.8	-5.0	39, 7	41.8	36.0	-5,0	31, 1	31,8	
4月	53, 4	2.0	43.5	42.3	38, 0	2, 3	28. 7	30, 3	
5.月	56.2	5, 9	43.1	42.1	42.0	6, 3	28.3	27.4	
6月	55.2	13,3	35, 7	37.4	44.3	13.6	24.3	26, 3	
7月	55.3	16.7	34, 2	32.0	48, 5	16.8	26.1	24.9	
8月	57, 0	16.4	34.0	33. 9	50.4	15.4	27.3	27.3	
9月	48.6	11.7	35, 3	31.0	43.6	12.4	27.5	25, 8	
10月	46.1	5.7	39, 1	39.0	37. 7	5.0	30, 9	32,7	
11月	46, 3	-2.0	37.9	39. 1	38, 1	-1.9	31.1	31.7	
12月	37.5	-2.5	36, 4	36, 4	33, 0	-2.0	32, 0	32.0	
1月	33.9	-4.6	35, 6	35, 5	30, 0	-4.3	31.2	31.8	
2月	38.2	-3, 4	33, 8	36, 3	32.4	-4,5	28, 8	30,6	

方向		縮 /	医畸			拡っ	大 時	
部材頂目	S-	-1	S-	-4	S.	-1	S-4	
測定年月	月最 大値	月平 均値	月最 大値	月平 均値	月最 大値	月平 均値	月最 大値	月平 均値
8名和46年3月	2.14	1.47	1, 34	0, 87	2, 26	1.53	1.3/	0,88
4 月	2, 34	1, 32	1, 24	0, /3	2, 28	1,25	1, 30	0, 77
5月	2,32	1.24	1,22	0.71	2,27	1,29	1,22	0.71
6月	1, 93	1.12	1.05	0.63	2.02	1,10	1, 13	0.64
7月	1,85	1, 25	1.11	0.74	1,73	1,18	1,46	0, 73
8月	1.84	1.31	1.17	0.90	1.84	1,38	1.17	0.94
9月	1,91	0, 99	1.18	0,67	1.68	0, 93	1.25	0, 75
10月	2.11	1, 15	1, 33	0, 74	2, 10	1,19	1.32	0, 77
11月	2,05	1.41	1.34	0.91	2, 11	1.43	1.36	0.92
12月	1.97	1.47	1.33	1, 10	1.97	1.45	1.41	1,10
昭和47年1月	1,92	1,30	1,32	0, 90	1,92	1,32	1.37	0, 97
2月	1.87	1.08	1.20	0.75	1.87	1.07	1.25	0.72
総平均値		1.26		0.81		1.26		0.84
注) 部材長さ1=	=345Omr	部林	アルミ:	S-13	B色 S	- 4 アル	ミ色	

注) 部材長さ1=3450mm, 部材アルミ:S-1黒色, S-4アルミ色

(注) 部材アルミ, 水平暴露(千葉)

図4 ムーブメントと部材温度差

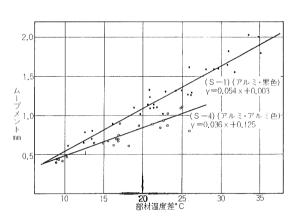
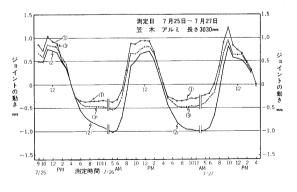


図5 笠木ジョイントの温度ムーブメント

表 3 建物の温度ムーブメント

部位	建物	材	ïï	部村長さ mm	階向	最大動き mm	部材1m当 り動き mm/m	測定日
笠	$1-1 \\ 1-2 \\ 2-1$	ステン! ア ル	レス	3145 " 3030	_	1.82 1.78 2.19	5.8×10-1 5.7×10-1 7.2×10-1	昭和44年10月22日~24日 昭和45年8月4日~6日 3月21日~23日
木	2-2 3 5	コンクリーステント		1900 4000	111	1.79 0.41 2.01	5,9×10-1 2,1×10-1 5,0×10-1	7月25日~27日 8月5日~7日 10月22日~24日
方	1 - 1 1 - 2	ステン L		3640 2370 3640	4 南 塔屋西 5 南	2.35 0.81 1.36	6.5×10-1 3.4×10-1 3.7×10-1	昭和44年10月22日~24日 昭和45年8月4日~6日
	2-1	ア ル (アンバー ア ル	·色)	2370 4300 4300	塔屋西 3 南 西 3 南	0.62 2.01 1.61 1.68	2.6×10-1 4.7×10-1 3.8×10-1 3.9×10-1	3月21日~23日 7月25日~27日
立	5	(アンバー ア ル		3300	8 東	1.61 1.53	3,8×10-1 4,6×10-1	10月22日~24日



ii 層間変位ムーブメント

カーテンウォールの設計は、地震力や風力による構造部材の層間変位に対して、パネル、サッシ、ガラスなどが破壊したり、水密性や気密性が低下しないように行わなければならない。層間変位によるパネルの変位は、パネルの剛性およびファスナーの種類、緊結度などによって異なる。剛性の大きいプレコンパネルなどは、パネル自身はほとんど面内外の変位を生じないが、剛性の比較的小さい金属'パネルは若干の面内外の変位を生ずる。ファスナーには、溶接、ルーズ、ボルト締め、板バネ、ダボなどの種類があるが、一般的には、下辺溶接、上辺ルーズなどのスライド方式、上辺、下辺ともルーズなどの回転方式および下辺ボルト締め、上辺ルーズなどの両者の併用方式が多く用いられている。層間変位をパネルのスライドで吸収するスライド方式の場合は、理論的には横目地に層間変位と同量の剪断変位を生じ、縦目地にはなんら変位を生じない。また層間変位をパネルの回転によって吸収する回転方式では、理論的には縦目地に層間変位と同量の剪断変位を生じ、縦目地にはなんら変位を生じない。また層間変位をパネルの回転によって吸収する回転方式では、理論的には縦目地に層間変位と同量の剪断変位を生じ、横目地には何んら変位を生じないが、実際は前者の場合では縦目地に、後者の場合では横目地に若干の変位を生じていることが多い。層間変位をパネルのスライドと回転によって吸収する方式では層間変位が両者によって分割吸収されるので、比較的層間変位の大きい場合に適している。

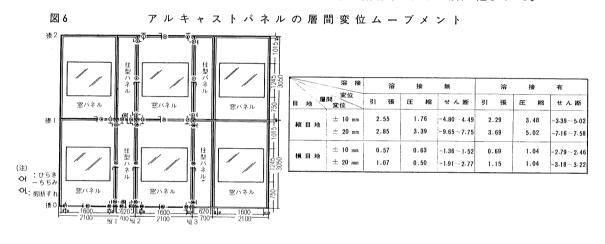


図 6 は、アルキャトパネルの層間変位ムーブメントで、層間変位は、主としてパネルの回転によって吸収されている。 図 7 は、プレコンパネルの層間変位ムーブメントで、層間変位は、主としてパネルのスライドによって吸収されている。 図 7 プレコンパネルの層間変位ムーブメント(旭硝子技術資料)

-0.2 14.5 14.8	方向住標	ハネル	4 s mm	J.L.D.	⊿aota. mm	الا/ين لا الراب	1401A/4-	€ ##@/ 4 5 (%)
1, 2 0. 7 0. 8	(+161)	A B	12.6	10, 4 5, 3	2. 2 6. 1	63 42	17 48	10
⊿s=15.4 A B		C D	9,6	1.0* 6.0	7.0 2.7	50 53	73 28	9
15.8	(— (@j)	A B	15.4	14.3 14.6 **	1.3	33 35	9 5	0 0 21
15.6		00	10, 4	1.5 7.6	6.8 1.9	14 '3	18	- 9
1,2 1,2 0,1 • 1,0		スナーの	スライト	ライト量最大 による層間3 層間変位の吸順	6位の吸収量	fars 「Waratilet	ů.	
⊿s=10,4 C	2 NOTA * · ·			1012	~:5			
23.9 25.1								;

層間変位ムーブメントは、温度ムーブメントに比較してかなり大きいことがわかる。設計は、温度ムーブメント(長期ムーブメント)によって行われるのが普通であるが、層間変位ムーブメント(短期ムーブメント)が著しく大きい場合には、この点を考慮する必要があろう。

----- 2. シーリング材の許容変位

ジョイントムーブメントについて、 長期的なものとして温度ムーブメント, 短期的なものとして層間変位ムーブメントについて若干の説明を行ったが、 ジョイントに使用されるシーリング材は、 これらのムーブメントに順応し、長期にわたって、その性能を満足しなければならない。 またシーリング材は、 長期にわたって紫外線、熱、オゾン、水

などの化学的劣化作用を受けるので化学的にも安定でなければならない。 シーリング材の許容変位は、 これらを考慮 して決定する必要がある。過度の応力やひずみが作用している場合は、 疲労は著しく促進され、 その耐久性は減少す るであろう。

図8は、紫外線劣化後の振幅と疲労との関係を示す。 紫外線の作用により接着性の著しく低下するものは、 疲労寿 命曲線は求めることはできないが、 接着性の期待できるものは、 振幅の小さいほどその疲労回数は双曲線的に増加し ていることがわかる。

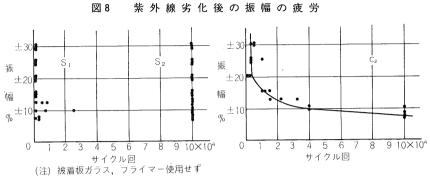


図9は、熱劣化後の振幅と疲労との関係を示し、 振幅の小さほど疲労回数は双曲線的に増加し、 また熱劣化の進む ほど疲労回数は減少している。表4は、熱劣化後のシーリング材の許容変位を示すが、 試料によってかなり差が認め られるので、試験によってその値を決定することが望ましい。 シーリング材の許容変位の値は、 小さいほど安全側に あることはいうまでもないが、過小の場合は経済的に問題がでてくる。 従って許容変位は、 シーリング材の性能と経

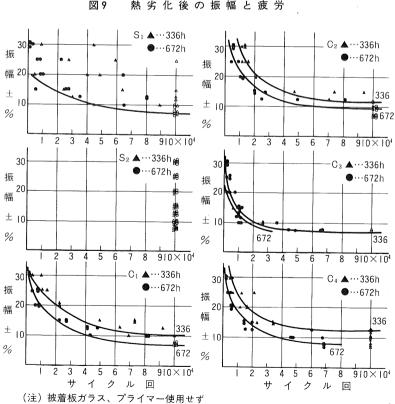


図 9 熱劣化後の振幅と疲労

済性とを考慮して決定しなければならない。

表4 熱劣化後のシーリング材の許容変位(%)

劣化温度	劣化時間	疲労回数			試 験	試 料		
カル畑及 カル時間		(0)	S,	S2	C,	C ₂	Сз	C₄
	336 hr 90° C 672 hr	104	17.5	>30	25	25	15	25
00° C		105	7.5	>30	10	12.5	7.5	12.5
30 0		104	17.5	>30	20	20	12.5	17.5
		105	7.5	>30	7.5	10	_	_

表 5 は、筆者が最近行った市販弾性シーリング20種類についての屋外暴露(千葉)後の伸びと疲労(振幅 ± 25 %)の結果を示す。種類および試料によってかなりの差が認められ、 特にポリウレタン系は暴露による 接着性の低下が著しく問題であり、接着性およびプライマーの改善、 開発が重要な課題となる。 ポリサルファイド系およびシリコーン系についても耐久性に問題のあるものが多い。

表5 暴露後の伸び・疲労(振幅±25%)

1	項目	1	‡	び	l i	Æ	· 労	(2)	
試米		健全材	3ヶ月	6 ケ月	1 年	3ヶ月	6ヶ月	1 年	備考
	С,	0	0	0	ζ.	0	O	Ö	
ポリ	C ₂	0	0		्रभा	0	-	*	※9ケ月暴露
#	Сз	0	0	0	0	0	0	0	
ルフ	C₄	0	0	0	0	0	0	0	
7	C 5	0	0	0	Δ	0	0	Δ	
イド	Св	0	0	0	0	Ō	0	•	
系	C 7	0	0	0	0	0	• (0	
	Св	•	0	0	0	•	Δ	Δ	
3.	S,	0	U	0	0	0	O	0	
シリ	S ₂	0	0	0	0	0	0	0	(2成分型)
1	S ₃	Δ	Δ	Δ	•	0	©~ ●	0~A	
シ系	S. 1 S. 5	Δ	Δ	×	×	×	X	X	
	S 5	()	0	0	•	0	O	0	
	U ₁	0	Δ	×	×	Δ	¥	Ж	
ボ	U ₂	0	Δ	×	×	0	λ		
リウ	Uз	0	0	Ĵ	×	0	×	ж	
レ	U ₄	0	Δ	Х	×	×	×	×	
タン	Us	0	0	0	0	0	0	•	
系	U ₆ .		Δ	×	×	×	×	×	(1成分型)
	U ₇	0	Δ	Δ	×	×	×	×	

(注) (1) 伸び(%) ◎:>350, ○:350~250, ●:250~150, △:150~50, ×:<50
 (2) 疲 労 ◎:>10⁴, ○:10⁴~8×10³, ●:8×10³~5×10³, △:5×10³~2×10³, ×:<2×10³, (3) 被着板ガラス, ブライマー使用

Ⅲ施工実態

大型現場では、自動計量・自動混練機、半自動混練機、脱泡装置付き自動混練機などの施工機械が使用されているが、一般には缶計量、手練り、手動ガンによって施工されていることが多い。何故、施工機械が導入されないのだろうか。 生産性が高くないからだろうか。 生産性が必ずしも高くないのも理由であろうが、 作業性に対する認識や機械混練による硬化後の性能に対する認識が不十分だからではないだろうか。 作業性とは、 単にガンによる押出し性を意味するだけではなく、充てん性および仕上り性などの性能を含んでいる。 機械混練は、 均一性が増加するばかりでなく、脱泡混練によって、その性能が上昇することを知っているだろうか。 以下現場における施工の実態について 実例によって紹介するとともに施工を機械化する場合の問題点について述べる。

実例1は,超高層ビルの現場であり,自動連続混練機を使用している。この機械は,大型現場用であり,生産性も高いが,自動計量,連続混練のため基剤と硬化剤の混合比が正確であるか,機械が適正に作動しているか,機械が故

障した場合の迅速なる処置などの機械の整備、点検、管理および修理などについて十分なる配慮が望ましい。

実例2は,プレコンカーテンウォールの高層ビルの現場で, 半自動混練機を使用している。 この機械は,試料容器による缶単位の計量のため,基剤と硬化剤の混合比は一応正確であるが, 混練は,容器が回転し, 羽根を手動で操作して行うもので, 混練時間とともに管理が極めて重要である。 この現場は, 混練量5 kg(缶単位)で, 混練時間は4分35秒であり, 混練操作も適正で, 管理も良好である。

実例3は,HPC構造の高層ビルの現場で,半自動混練機を使用している。 本機は実例2と同系のものであるが,付層混練容器によって混練するように設計されている。 しかしながら調査当日は混練容器が見当らず, 適当なポリバケツによって混練を行っていたため均一な混練は期待できない。 ポリバケツは, 混練容器と形状寸法が異なるため支持枠への固定が困難であり, また側面に若干のテーパーがあるため, その部分の混練が物理的に不十分であるためである。 混練時間は4分22秒で一応適正であるが管理はやや不良である。

実例 4 は、火力発電所の現場で、 挿入式のハンドミキサーを使用している。 計量は、試料容器による缶単位の計量 のため基剤と硬化剤との混合比は一応正確である。 混練は、容器にハンドミキサーを挿入し、 その位置を移動させな がら行うもので、混練時間とともに操作、管理が極めて重要である。この現場は、混練量5.2kg(缶単位)で、混練時間は 1 分 52 秒であり、 基剤と硬化剤の混合比が極めて小さいことから均一に混練されたかどうかは若干凝間がある。表 6 は、現場における機械混練と手練りの性能を示す。 実例 1 および 2 は、 機械混練の効果が認められるが、実例 3 および 4 では、 前述したように機械の操作および管理が不十分なために むしろ手練りの方が良い性能を示している。

脱泡混練の効果は、シーリング材によって一様ではないが、全般的には、脱泡によって比重は増加し、加熱減量および収縮率が減少するばかりでなく、 初期モジュラス、 引張接着強さおよび伸びが増加し、強いては耐久性も若干増大するものと考えられる。 表7は、 脱泡混練と手練りの初期モジュラス、 引張接着強さおよび伸びの値を示し、シーリング材の種類に関係なく、その効果が認められる。

以上実例によって施工の実態および施工を 機械化する場合の問題点について述べたが、 これらがその全貌であるとは必ずしも思わないが、その一端であることは事実であり、 また作業性について、 動力ガンの採用など多くの問題を残しているが、施工の機械化は、 単なる省力化だけの問題ではなく、 均一で安定した性能を確保する上にも欠くべからざる課題であることを銘記すべきである。

実	规	混練方法	<u>.</u>	景		llé	ŧ	ķ	斌	初期	比重	加熱減	量(%)	収縮	丰(%)	引張接着的	áčkg/com²	伸	ン %
例	模	此权力広	ti l	.94.		H.	時	間	料	手練り	機練り	手練り	機練り	手練り	機練り	手練り	機練り	手練り	機練り
1	超高層	自 動	自	動	ſſ:	意.	連	姚	C7	1.77	1.76	8.73	7.75	15.34	14.38	3.01	1.91	586	879
2	高層	ミキスター	fri	计量	術(5kg)	4分	35秒	C4	1.45	1.48	10.79	10.99	20.60	19.37	5.63	5.82	518	603
3	"	ミキスター		n	術(3	.5kg)	4分	22秒	C ₂	1.57	1.59	13.98	14.47	25.04	23.40	2.65	1.84	181	285
4	火力発	ハンドM		"	/ii/(5	.2kg)	1分	52秒	S2	(1.33)	1.22	(0.80)	0.77	(1.18)	1.41	(6.07)	4.01	(1589)	1111

表6 現場における機械混練と手練りの性能比較

表7 脱泡混練と手練りの性能

芃	50% モジュ	ラスkg/cor²	引張接着的	á čkg/cπ²	伸	<i>F</i> %
料	手練り	機練り	手練り	機練り	手練り	機練り
	2.07	2,55	3.95	5.95	418	583
Cs	2.39	2.87	4.56	6.65	407	615
C۴	1.81	2.05	3,96	5.16	445	517
CK	2.01	2.26	5.18	5,27	520	462
Sz	1.63	1.81	6.07	7.40	1589	1479
ΟZ	1.68	1.92	5.70	7.12	1548	1432
Uı	2.66	2.91	6.33	9.72	418	512
UI	3.02	3.94	6.35	15.35	,343	647
U2	1.38	1.48	5,43	12.07	644	971
UZ	1.63	1.86	5.94	11.61	613	862
Ua	1.22	0.95	3.42	3.73	369	507
UI	1.14	1.04	3.29	3.97	363	511
Us	2.19	2.27	5.06	7.56	475	750
05	2.47	2.46	6.79	6.75	631	646

(注) 上段目令14日、下段目令28日

Ⅳ おわりに

用途別性能評価基準に関連して,その背景となる目地 設計および施工実態について述べたが,この規格が今ま でに例をみない斬新なものであり,特に耐久性について 規定していることは高く評価したい,しかしながら問題 のあることは事実であり,これらの点について今後の研 究が期待されるとともに業界のより一層の努力を望むも のである。

建築用シーリング材の

用途別性能評価基準(案)について

日本シーリング工業会

現在、建築用シーリング材として、多種類の素材、形態のものが使用されているが、これらのなかから適切な材料を適切な用途、部位に選択適用することは容易ではない。今回設けられた建築用シーリング材の用途別性能評価基準は、シーリング材、コーキング材の選定の基準を、対象となる建築構成材の主用途に分け、従来の素材別シーリング材のJIS規格から、現在未制定のウレタン、アクリル、ブチル、SBR系シーリング材、および今後開発されるであろう新しい素材、形態を含め、全ての素材形態を含む、目的、用途並びに要求性能に応じたシーリング材の選定の目安として作成されたものである。

適 用 範 囲

建築用シーリング材の適用の対象となる用途を便宜上,温度,風圧,振動などによる接合目地の変動が予想される部位に使用される,シーリング用途,および接合目地が動かないことを前提として設計された部位に使用されるコーキング用途,それぞれの用途における目地の動き,耐久性を勘案し,必要な防水性能の評価基準を設定したものである。

規格は、品質規定項目、表示項目および試験方法のみ を規定した参考試験項目に大別し、それぞれの用途に応 じて評価基準を定めている。

シーリング材の評価に当って、標準となる被着体としては、ガラス、モルタル、アルミニウムを定めているが、実際に使用されている被着体は多種類にのぼる。これらの被着体に対するプライマーおよびシーラントの選択、あるいは、被着体の選定は、接着耐久性の見地から重要であり、特に接着または付着性が関与する引張応力の測定、並びに耐久性試験に関しては実際に使用される

被着材を用いることが望ましい。このためには事前に充分な試験期間の設定、試験材料の提供など、計画に当っては当事者間の協力が必要である。

今回,新たに規格に採用したシーリング材の耐久性試験については,従来よりその評価の必要性が言われ,適切な評価方法がないため見送られてきたものであるが,長期的視野に立ち,何らかの耐久性評価が必要であることから,今回の規格制定に至った。

この耐久性については,長期にわたる実用性能と耐久 性試験との対応を充分に把握することが,今後の課題で あろう。

なお、接合目地の変動に対する目地の設計は、施工およびシーリング材そのものの性能と相まって、シーリング工事の成否をきめる重要なポイントであるため、本解説に、次の目地設計基準を入れることになった。

表1 目地設計基準

区	分	目 地	也 設 計	基 準
シーリング用	1 級	±20%	D/W	$\frac{1}{1} \sim \frac{1}{2}$
(金属部,コンク リート部)	2 級	±10%	D/W	$\frac{1}{2} \sim \frac{1}{1}$
シーリング用	1級	±20%	D/W	$\frac{1}{1}$
(ガラス部)	2 級	±10%	D/W	$\frac{1}{1}$
コーキング	外部用	± 1	D/W	1
	内部用	± 1	D/W	$\frac{1}{1}$

現在までの経過

通産省工業技術院が昭和47年度の工業標準化原案作成の一環として「建築用シーリング材の用途別性能評価基準」の作成を建材試験センターに委託することによって、8月16日東京銀座の文明堂で第1回の原案作成本委

員会が開かれ、現在(10月1日)までに本委員会5回, 小委員会5回,WG委員会33回の審議を経て,原案作成 の最終段階にきている。

今後の日程としては10月中旬開催予定である最後のW G委員会で最終的に問題点となっている耐久性試験条件 およびその評価をとりまとめ最終案とし、工業技術院に 答申、専門委員会の審議を経て来春公示の予定となって いる。

ここで簡単に現在までの経過をまとめる。

47. 8.16 第1回本委員会

委員長 狩野春一博士 原案作成小委員長・波多野一郎博士 にて審 議開始

- 48. 6.22 日本シーリング工業会主催説明会
 - 6.29 第4回本委員会 日本シーリング工業会より要望書提出
 - 7. 第24回WG委員会 工業会よりの要望書内容検討開始
- 49. 6.14 第33回WG委員会同上要望書検討終了
 - 7.22 第5回本委員会

耐久性試験法および評価を除いて審議終了。 耐久性については第34回のWGで最終討議を 行なうことになった。

内 容 解 説

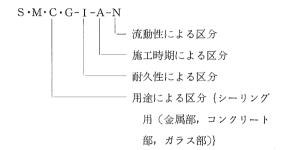
中間段階における解説は本誌11号(vol. 6 No. 11 1973 December) に東京工業大学の 小池博士により詳しく記載されておられるので、ここでは その後の 変更点を 主に、その概要を解説する。

1. 適用範囲

特に変更はないが、規格で用いる用語は下記を追加。 「可使時間: 二成分型シーリング材で基材と硬化剤の練りまぜ後,充てん作業に不適当な粘度になるまでの時間 |

2. 種類、記号および呼び方

グレイジング用GLをシーリング用(ガラス部)SG に変更し、下記のように数種の品質試験に合格するもの の併記例を追記することになった。



3. 品質

表2「シーリング材の品質」中, 備考に記す内容が変 更になった。※印は変更前を記す。

表-2 シーリング材の品質

			極		類		シ		1)	ン	グ	用		コーキ	ング用
		\	_			金	属	部	コンク	リート部	ガラ	ラス音	ß ※ 1	* 2	* 3
試験	項目			_		1 級		2 級	1級	2 級	1	級	2 級	外部	内部
押	出	L	性		√) ※ 4			固のう 以下 →	-	とも 2 個	が、	一般	用およひ	*冬用は30	以下、
	スラ	ンフ	7°	((mm)		3 J	以下							
	まぇ	こは					ま	には							
セル	ノフレ	ベ I	ノン	グ			す	べての	試料の表	長面が平ら	にな	るこ	٤		
つ"」) —	2 8 3	・ゲ	((mm)		5 J	以下							
<i>/</i> ',	,	~ ~		((枚)		3 J	以内							
汚		染			性:	すべ	ての記	式験体	に汚染か	認められ	ない	こと			
前寸	オ	ゾ		ン	性	すべ	ての記	式験片	にオゾン	んによるき	れつ	が認	められな	いことう	 6
而于		久			性									影潤、ひび れないこと	

備考:改訂前

※1 グレイジング

※2 1級

※3 2級

※ 4 作業性

※5 一般用および冬用は20以下、夏用は10以下

※6 すべての試料片にひびわれが認められないこと

※7 すべての試料に、試料の 溶解が認められないこと

4. 試験の一般条件

試験項目

また品質規定項目,表示試験項目,参考試験項目が明確 になった。

表3 「試験の適用項目」が下記のとおり変更され、

表-3 試験の適用項目

_						5 11	5 42° FF			r		T		
`	_	_	種 類				ング用]] - =	キング			
⊕-4> H) () ()	¬	_		禹部		ノート部		ス部		用		備	考
	火块		_	1級	2級	1級	2級	1級	2級	外部	内部			
比			重 ※※			()			()			
押	出		性			, ()			()	一般用,	冬用は5℃	, 夏用は20℃で試験する
ス	ラ	ン	ブ		いずれか一方			いずれ	1かー	一般用,	夏用は50℃	, 冬用は35℃で試験する		
セノ	レフリ	レベリン	グ		Ö			方()	押出し他	生と同じ			
ブ	リー	- ジン	グ			i,	1			- 7	1			
汚		染	性			1.	ì			()			
												一般用は	5℃, 20℃ Æ	よび35℃、夏用は20℃およ
可	続	時	間 ※			()			()	び35℃,	冬用は5℃お	よび20℃で試験する。たた
												し. 一成	分型のものに	ついては行なわない。
タ	ック	7 フリ	- ×			())			
カロ	熱	減	量 ※※))			
耐				0										
**	ħΠ	標準	状態)(a))(b)	((c)	_	_	左欄(a) ((b) (c)およひ	(d)はそれぞれ下記の被着
引張応力	加熱前	低	温)(a)	(b)		(c)		_	-	体を用い	いる。	
旅	ħΩ	標準	状態	Ċ)(a))(b))(c)	-	-	(a) アル	レミニウム板	
カ	熱後	低	温)(a))(b))(c)	-	-	(b) モル	レタル板	
**	bΩ	標準	状態)(a)	ĺ)(b)	((c)	_	_	(c) ガラ	ラス板	•
伸	加熱前	低	温)(a)		(b)	Į.	(c)	_	_	(d) モル	レタルブロッ	2
	bū	標準	状態	Č	(a)	Ţ,)(b)		(c)		-			
び	加熱後	低	温)(a))(b)		(c)					
				(a)										
l _, l	シー	金属部部	2級		()(a)									
耐	ולו	コンクリ)	(b)						1		
久	シ	ート部	2級				(b)							
性	グ	ガラス	1級					(c)	·					
試	用	部							(c)					
験		ーキング	外部							()(d)				
	_	カー角	内部							(d)	()(d)			
		/ 13	Lamb									L		

※:試験結果は7.表示に規定する事項。

※※:品質規定および表示項目には含まれず、試験方法を定めて結果の提示を求める事項。

5. 試験

1) 押出し性

従来「作業性」と表示されていたが、試験の内容から みて抽象的であるので「押出し性」と変更された。

この項目中まず問題となったのは使用するカートリッジの検定であった。工業会で試験したところ、原案通りではカートリッジ寸法にバラツキが多くほとんど不合格であった。そのためJIS案中、注記にグリセリンを潤滑剤として使用するカートリッジの検定法を追記し、またカートリッジに試料を充てんする方法を具体的に記述した。

試験規格については工業会で各部材についての試験を行ない、表2 シーリング材の品質で記述したように、一般用、冬用および夏用についてそれぞれ10秒ずつ規格が繰り下げられ、それぞれ30秒以下、20秒以下となった。

2) スランプ

a. 試験器具

原案ではみぞ形容器の材質はステンレススチール製となっていたが入手しやすい黄銅板製に変更された。また、みぞの幅は20mmである。

b. 試験方法

原案では冬用は20℃で試験を行なうことになっていた が35℃に変更された。

温度条件: 一般用冬用 50±3℃

冬用 35±3℃

時間条件: 二成分型 1時間

一成分型 6時間

3) 可使時間

二成分型のシーリング材にのみ適用され、練りまぜ時からの経過時間と押出時間の関係グラフを描き、押出し時間が30秒になったときまでの時間を求める。

原案では一般用, 夏用に50℃の項目があったが, 現実 に照らして35℃と変更された。変更後をまとめると下記 のとおり。

一般用 5,20および35°C

夏 用 20および35℃

冬 用 5 および25℃

4) タックフリー

原案では「軽く触れてみて試料にねばつきが認められなくなったときまでに」をウレタンその他の特性を加味して「軽く触れてみて試料が付着しなくなるまで」と変更された。

5) 耐オゾン性

a. 試験方法

試験体の作製条件が原案では「7日間養生させた後,30または50°Cで7日間の後養生」となっていたのを,エマルジョン型が養生不充分との意見あり,「7日養生させた後,温度30±3°Cで14日間,または50±3°Cで7日間恒温器中であと養生する」と変更された。

なおこの条件は引張り応力および伸び、耐久性の場合も同様変更されている。

また本試験に際し試料に与えられる伸びはシーリング(ガラス部)が原案では1級60%,2級30%であったのを後述の耐久性との関連でそれぞれ40%,20%に変更された。その他の条件に変更はないが、判定ではオゾンによるキレツの有無を観察することが明記され、それ以外の要因によるキレツを除外している。

6) 引張応力および伸び

表示を求められているのは、加熱前(標準状態および -10°C)と加熱後(シーリングー金属およびガラス部ー は90あるいは80°C, コンクリート部は70°Cで14日間加熱 後標準状態および-10℃)の伸び50%時の荷重および最 大荷重時の伸びを求め、引張り応力および伸びを算定す ることにある。

ところがSBRの如く部材によっては最大荷重時を過ぎても試料が破断しないものがあり、破断時と最大荷重時の伸びが一致しないため、このような場合には最大荷重の50%まで荷重が低下した時点をもって破断時に代えることが明記された。

また加熱条件(90あるいは80°C)は耐久性との関係で 最終決定がなされていない。

7) 耐久性

耐久性試験はその評価を表4および表5に示した。表中()内は原案を示す。原案の試験条件のうち変更のあった箇所を下記に示す。

試験操作:3,4,6,7,8 および10の時間条件はすべて

作業者がやりやすいよう,24時間に変更

圧縮加熱:目地幅 ガラス部が金属部コンクリート

部と同一(-20%)になった。 温度 金属部,ガラス部90°C又は80°C

(未定)コンクリート部70℃に 変更された。コーキング用につ いても表5のように変更されて いる。

引張り冷却:目地幅 ガラス部が金属部コンクリート部と同一になった。

工程の繰り返し:がラス部一級について上記条件の 変更に伴ない他の一級と同様追加 された。

表一 4

シーリング用の耐久性試験工程

	種類	S • M-1	S • M-2	S • C-1	$S \cdot C - 2$	S • G — 1	S • G — 2
試	被 着 体 験 工 程	アルミニウム 板	アルミニウム 板	モルタル板	モルタル板	ガラス板	ガラス板
1	紫外線照射(時間)					500	250
2	目地幅の固定解除後標準 状態 静 置☆ (時間)		,			24	24
3	目地幅を12mmに固定して50 ℃の温水中に浸せき(時間)	24 (20)	24 (20)	24 (20)	24 (20)	24 (20)	24 (20)
4	目地幅の固定解除後標準 状態 静置☆ (時間)	24 (3~4)	(3 ~ 4)	(3 ~ 4)	(3 ~ 4)	(3~4)	24 (3~4)
	目地幅 ^(mm)	9.6 -20	10.8 -10	9.6 20	10.8 10	9.6(8.4) -30	10.8(10.2) -15

5	圧縮加熱	温 度 (℃)	90(100) 80	90(100) 80	70(80)	70(80)	90(100) 80	90(100) 80
	(夏期の状態) 	時間(時間)	168	168	168	168	168	168
6	目地幅の固定 状態 静 置☆	解除後標準 (時間)	(3 ~ 4)	(3~4)	(3~4)	24 (3~4)	(3 ~ 4)	(3~4)
		目地幅(2%)	$16.8 \\ +40$	14. 4 +20	16.8 +40	$14.4 \\ +20$	16.8(19.2) +60	14. 4(15. 6) +32
7	引張冷却	温 度 (℃)	-10	-10	-10	-10	-10	-10
	(冬期の状態)	時間(時間)	24 (20)	24 (20)	24 (20)	24 (20)	24 (20)	24 (20)
8	目地幅の固定 状態静置☆	解除後標準 (時間)	(3 ~ 4)	$(3 \stackrel{24}{\sim} 4)$	$(3 \stackrel{24}{\sim} 4)$	$(3 \stackrel{24}{\sim} 4)$	$(3 \stackrel{24}{\sim} 4)$	(3~4)
9	工程の繰	り返し※	試験工程 3~8		試験工程 3~8		試験工程 3~8(1)	
10	目地幅を12ヵ 標準状態静情		24	24	24	24	24	24
11	※※☆ 目地幅の拡大・	目地幅(mm)	12~16.8 (0~+40)	12~14.4 (0~+20)	12~16.8 (0~+40)	12~14.4 (0~+20)	12~16.8 (0~+40)	12~14.4 (0~+20)
	縮小(4 ~ 6 回/分)	回 数	2,000	2,000	3,000	2,000	2,000	3,000

[☆] 当該工程の終了後試料を検査する。

表一5 コーキング用の耐久性試験工程

		種 類	C·O	C·I
試	験 工 程	被着体	モルタル ブロック	モルタル ブロック
1	ブロックを密着固定し,20℃の水中に浸	せき☆ (時間)	2 4	
2	ブロックを密着固定したまま標準状態に	静置(時間)	2 4	
3	ブロックを密着固定して加熱	温 度 (℃)	7 0 (8 0) 6 0	60(80)
		時間(時間)	3 3 6	3 3 6
4	ブロックを密着固定したまま標準状態に	静置(時間)	2 4	2 4
5	ブロック間隔を2㎜に拡大固定して	温 度 (℃)	-10	-10
5	冷却 ☆	時間(時間)	2 4	2 4
6	ブロック間隔を2㎜に固定したまま標準	状態に静置(時間)	2 4	2 4
7	工程の繰り返し※		試 験 工 程 1~5	試 験 工 程 3~6
8	ブロック間隔の拡大☆ (燗)		5	5

[☆] 当該試験工程の終了後試料を検査する。

X - S - M - 1, S - C - 1, S - G - 1においては3 - 8の試験工程を一度繰り返した後10の試験工程へ進む。

^{※※ 10}の試験工程終了後7日以内に11の試験工程を行なう。

[※] 試験工程6までを一度繰り返したのち8の試験工程へ進む。

6. 表示

製品に容器ごとに表示するもの,またカタログ,ある いは技術資料など適当な資料で表示するものが下記の通 りとなった。

- 1) 容器ごとの表示が必要なもの
 - (1) 商品名, 種類および呼び方
 - (2) 容量(ℓ)(二成分型の場合は混合後の容量)
 - (3) 製造業者名また登録商標
 - (4) 製造年月日またはその略号
 - (5) 混合比(二成分型の場合,重量比)
 - (6) プライマー使用の要否
 - (7) 可使時間
 - (8) タックフリー
- 2) カタログ等に記載するもの
 - (1) 比重
 - (2) 加熱減量
 - (3) 引張り応力(加熱前,標準状態および低温,加 熱後標準状態および低温)
 - (4) 最大荷重(同上)
 - (5) 最大荷重の伸び(同上)
- (6) 破断時の伸び(同上)

用途別性能基準JIS化について の エ 業 会 意 見

本規格制定の主旨については繰り返し説明されているところであるが、一言でいえば、シーリング材を従来の基材別(ポリサルファイド、シリコーンなど)の分け方から使用される条件(用途、耐久性、施工時期など)にあわせて分類しようとするもので、ユーザーからは多種多様にわたっているシーリング材の選定基準になるもので大きな期待がもたれている。

一方メーカー側からみてもその設定の意義は大きく, 従来ともすれば部材別にバラバラであったその品質に一 つの基準が与えられることによって全体のレベルアップ にもつながると評価されている。

本 J I S の 各項目中,メーカー側からみて最大の関心を呼んだのは今回新たに採用された耐久性 試 験 で あった。

このため,各部材別に工業会内部で広範囲な試験を実施し,また討論もなされた。

その結果、耐久性試験における圧縮加熱(夏期の状態)の温度条件(原案90°C)は、もっとも広範に使用されているポリサルファイドにおいてそのほとんどが不合格になることが判明し、また、現実の建築物壁面の温度上昇より考えて温度条件緩和の方向で工業会の意見としてJIS委員会に具申している。

第二の問題は、性能の維持と経済性の問題である。

今回のJISはその耐久性試験のみで, 1.5カ月を要し、最近の建材試験センターの見積りによると、シーリング一級について耐久性試験を依頼すれば 638,000 円, すべての試験を行なえば 1,373,000 円とメーカーの負担が大きい。JISの建前からして, より多くのメーカーがJISを取得することが望ましいが今後この費用をいかに軽減できるか, また, これだけのぼう大な試験を, 多くのメーカーを対象に短期間で処理できる設備と人手を有する公立の機関の設定など、解決すべき問題として残されている。

また最初に記した通り、本JISでは標準となる被着体として、ガラス、モルタル、アルミを定めているが、実際に使用されている被着体は多種類にのぼる。従ってこれらの本JISに定めた被着体については時間的、経済的な見地より、標準被着体についてその耐久性その他が確認されているものについては、例えば接着性のみの試験を行なうなど、で代替できる適切な試験法から考案されるべきである。

技術委員会 金子 譲

昭和47・48年シーリング材の販売実績

诵産省窯業建材課調べ

通産省窯業建材課調べの昭和47・48年の油性コーキング材、弾性、塑性シーリング材の生産販売実績は下表のとおり。

本表はアンケート発送先81社のうち回答55社の集計である

		-				
年別 数量	4	7 年	4 8 年			
区分	数 量	前 年 比 (増・減△)	数 量	前 年 比 (増・減△)		
生産実績	20,157\$	△ 1%	24,603\$	22%		
販 売 実 績	19,641 "	△ 3 "	24,680 #	26 "		
年 末 在 庫	1,205 "	8 "	1,128 "	△ 6"		

年別	4	7	年	4	8	年
販売量・比率	販 売	量	前年比	販売	量	前年比
基材	数量	占有率	(増・減△)	数量	占有率	(増・減△)
油性	8,322\$	42%	△ 15%	9,694\$	39%	16%
ポリサルファイド	3,124 "	16 "	71 "	4,458 #	18 "	43 "
シリコーン。	451 "	2 "	35 ″	838 #	3 "	86 #
ウレタン	1,301"	7 "	18 "	1,607 #	7 "	23 "
プ チ ル	2,458 "	13 "	8 "	3,025 #	12 "	23 "
アクリル	1,011"	5 #	51 "	1,504#	6 "	49 "
S B R	309 "	2 "	552 "	576 "	2 "	80 "
その他	2,665 #	13 "	△ 37 ″	2,978 "	13 "	12 "
ät –	19,641"	100 "	△ 3″	24,680 "	100 "	26 "

上記のことく47年のシーリング材(油性コーキング材を含む、以下同じ)総販売量は19、641 まで、前年比ー3%であったが、ポリサルファイド、シリコーン、ウレタンなどの弾性シーリング材は平均41%の伸びを示し、アクリル、SBRなどの塑性シーリング材も順調に大幅な伸びを示している。

特に46年に上市となったSBRシーリング材は驚異的な伸びを示し建築用の分野に進出してきた。その反面、従来年間10%台の伸びを示してきた油性コーキング材は47年にいたり、総合計で-3%の減少となった。

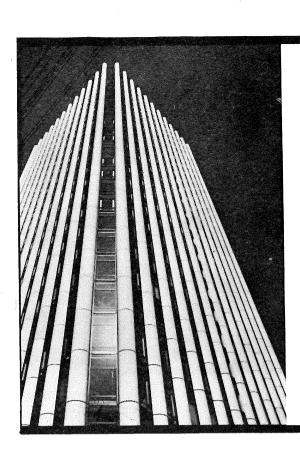
油性コーキング材の減少と弾性、塑性シーリング材の 大幅な伸びは主として建築用シーリング材の需要動向の 基調の変化に基くものであって、47年頃よりわが国成長 経済のトップランナーに登場した建築産業の旺盛とその 大型化、高層化、高級化などに基くものであるとともに、 シーリング防水に対する認識の徹底、用途別性能評価、 長期経済性への検討などにより需要動向に大きな影響を 与えたものと思われる。

48年の総販売量は24,680 Tで、前年比26%の増販となり、油性コーキング材も一年の停滞を経て基調を回復し前年比16%の伸びとなり、ポリサルファイド、シリコーン、ウレタン、ブチル、アクリル、SBRなどのシーリング材も大幅な伸び率を示した。

このことは48年も47年と同様に旺盛な需要動向の基調のもとに成長し、殊に前年同様建築用シーリング材の増加によるものであった。なおシーリング材中の基材別占有率は油性が47・48年とも第1位でそれぞれ42%、39%であり、ポリサルファイド47・48年とも第2位でそれぞれ、16%、18%で、ブチルは47・48年とも第3位で、それぞれ13%、12%、ウレタンは47・48年とも第4位でいずれも7%、アクリル47・48年とも第5位でそれぞれ5%、6%、以下シリコーン、SBRの順位である。これに対し油性の占有率は他のシーリング材の伸びに追随できなず、漸次低下の傾向を示しつつある。

.97.1	10 63.0		. 20								通商窟	樂省解樂藏材課	単位はす
基材	用途別	年别	建 染	七 木(6直弾)	航空機	dE €81	自動車	進上級	NE 50	- 飛機械工業	ta as	その他	75 df
áth	14:	47	7,813(93.9%)	₩ 25(0.3%)		80(1 %)	284(3.4%)	5()				115(1.4%)	8,322
	29 ł Ł	48	8,781(90.6%)	ናኛ 96(1 %)		114(1.2%)	534(5.5%)	5(-)			1(-)	163(1.7%)	9,694
# 0 4	ナルファイド	47	2,090(67 %)	12(0.4 %)	29(0.9%)	1()	902(28.9%)	1()	25(0.8%)	60(1.9%)	4(0.1%)		3,124
	25 ł Ł	48	2,552(57.4%)	23(0,5%)	26(0.6%)	4(-)	1,727(38.7%)	2(-)	20(0.4%)	96(2.2%)	8(0.2%)		4,458
シリ	⇒ ·- >	47	426(94.6%)						17(3.6%)	8(1.8%)			451
	5 ł Ł	48	803(95.9%)						23(2.7%)	12(1.4%)			838
ウ	レタン	47	1,178(90.6%)	9(0.7%)		1()	109(8.4%)					4(0.3%)	1,301
	20 ft.	48	1,462(91 %)	9(0.6%)		2(0.1%)	122(7.6%)				1(-)	11(0.7%)	1,607
ブ	チル	47	1,129(45.9%)	236(9.6%)		239(9.8%)	504(20.5%)	22(0.9%)	5(0.2%)	308(12.5%)	15(0.6%)		2,458
	19 ž Ł	48	1,529(50.5%)	304(10 %)		242(8 %)	474(15.7%)	27(0.9%)	14(0.5%)	409(13.5%)	26(0.9%)		3,025
ア	ク リ ル	47	1,009(99.8%)							2(0.2%)			1,011
	12 ł f.	48	1,502(99.8%)							2(0.2%)			1,504
S	B R	47	172(55,6%)	12(3.9%)			125(40.5%)						309
	471:	48	373(64.8%)	32(5.6%)			171(29.6%)						576
x. 10	キシボ	47	13(52.3%)	1(5.8%)		1(3 %)		2(6,7%)		8(32.2%)			25
	4 ? E	48	17(48.6%)			1(2.7%)		1(3.3%)		12(35.5%)			35
ホオ	プレン	47	132(6,4%)				1.079(52.5%)		92(4.5%)	8(0.4%)		743(36.2%)	2,054
	6 ł f.	48	151(7.2%)				1.110(53 %)		92(4.4%)	5(0.2%)		738(35.2%)	2,096
57 89	シーリング	47	54(25 %)				118(55 %)		21(10%)	11(5%)			215
	1 ? E	48	111(35 %)	6(2 %)			158(50 %)		25(8%)	16(5%)			316
DE IN	ピュール	47					62(24.2%)		195(75.8%)				257
	1社	48				*****************	88(24.2%)		278(75.8%)				366
# 0	ブクジェン	47					76(100 %)						76
	1 ? E.	48	1				108(100 %)						108
9 -	ルウレタン	47	36(100 %)										36
	11£	48	54(100 %)										54
エホキ	シ系ポリサル	47					2(100 %)						2
ファイ		48		†····			3(100 %)				1		3
		47	14,052	306	29	322	3,261	30	355	405	-19	862	19,641
合	ät	48	17,335	474	26	363	4,495	35	452	552	36	912	24,680

昭和47・48年シーリング材の販売実績



シーリング工事 特殊防水専門工事

代表取締役 竹内利三

東京都渋谷区幡ヶ谷2-27-9三共ビル 〒151 電話 03 (377) 3481~3

超高層ビルのシーリング工事



工業紫蓝

PCプレハブ住宅防水工事



代表取締役 苅 谷 勝取 締役 操上 弘 昌東京都江東区佐賀1-9-14電話03(643)5911(代表)〒135



第二星ヶ丘ビル

名古屋市東部の住宅街星ケ丘にこのほど誕生した第二星ケ丘ビルは、名古屋の四大デバートの1つ「オリエンタル中村」などが郊外型デパートとして建設したものである。

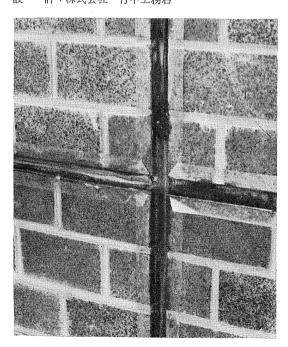
ショッピングセンターとして の性格から広い駐車場を持つと ともに,外壁には茶色の陶器タ イルを使用してあり美観を強調 した建築物となっている。



建築概要

所 在 地:名古屋市千種区

施 主:「オリエンタル中村」 他 設 計:株式会社 竹中工務店



外壁タイル目地

施 工:株式会社 竹中工務店

階数:地上8階,地下2階,塔屋2階

延床面積: 43119.2m 敷地面積: 6175m 建築面積: 5030.6m

構 造:地下2階=RC造り,地上1~6階=SRC

造り, 地上7~8階=RC造り

シーリングエ事

期 間:昭和49年5月~9月

施工個所: サッシジョイント, SRC部ジョイント (外

壁タイルジョイント), ガラス廻り

使用材料:日本シカ製1液ウレタンシーラント「シーカ

フレックス1 a 」, (ダークアンバー), 信越化 学工業製「信越シリコーンシーラント」(ア

ンバー, グレイ)

総延m数:23000m 施工延人員:450人

施工会社:株式会社 志水化工

新槇町ビル

新槙町ビルは、東京駅の八重洲地下街と連絡している ビルの一つで、1フロアー貸しを前提として設計された 貸しビルである。

殆んと直線部のない曲面で建造されており、曲面とアルミのメタリックな装いが近代感覚をみごとにとらえ、鋭さの中に柔軟な感じを加えさせているコの字型のビルである。

構造的な特徴としては、1フロアー貸しを前提としているため、柱のスパンが広いことが挙げられるが(広いところで11m、せまいところで8m)、現在のテナントは地下1階の一部から地上3階の一部までが第一勧業銀行が、デパートで知られる大丸が5階から9階までを使用しているというように当初の計画が達せられているようである。

なお, 施主の槙町ビルヂング(株)の本社も同ビルの 3階にある。

建築概要

名 称:新槇町ビル

所 在 地:東京都中央区八重洲1-8

設計:現代建築研究所 施工:大成建設(株)

工 期:昭和47年10月~昭和49年4月

階数:地下2階,地上14階,塔屋2階

高 さ:地上44m90 (塔屋含まず), 地下11m60

敷地面積:176,836㎡

建築面積:1,178,666㎡(タワーパーク含む)

延床面積:14,803,949㎡

構 造: SRC造, 4階以上純鉄骨造

工 法:積層工法カーテンウォール

基 礎:深礎杭7m。支持層,東京礎層。地耐力,

150トン/m²

高層部外壁:アルミ自然発色板,一部プレキャストコン

クリート板

低層部外壁:ステンレスカーテンウォール

附帯設備:エレベーター4基(内1基は非常用エレベ

ーター, 150m/分) タワーパーク(収容台

数104台)



シーリングエ事

工 期:昭和48年10月~昭和49年3月

施工個所:サッシュ廻り、パネル廻り、ガラス廻り、

PC廻りなど

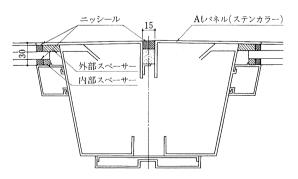
施工延メートル:35,000m

使用材料:ポリサルファイドコンパウンド「ニッシー

 $\nu \mid 6,000kg$

施工延人員:530人工

施工会社:㈱日興社



サンワ東京ビル

皇居の緑とお濠を背景に「サンワ東京ビル」が完成した。

創立40周年を迎え,さらに新たな時代を開くユア・バンク「サンワ」として次代に向って雄躍せんとする新しいシンボルを地上25階,地下4階のこのビルに象徴したものである。

東側は日比谷通りに面し、大手町でも恵まれた場所に 位置しており、古くは江戸城の正門である大手門の真前 にあたり、大老酒井雅楽の邸宅跡としても知られ、明治 時代には、大蔵省、内務省のあったところである。

外装にはカナダ産の黒花
高岩を使用し、三和銀行の行 風である力強さと積極性を表わしている。

皇居側である西側には、公共性も考慮され、緑のプラザ(約1,300㎡)を設け、東側のビジネス街との接点にあたって、皇居の緑と石垣とお濠とビジネス街とを視覚的に結びつけるユニークな建物となった。

また,格調高い外装ばかりでなく,高度な空調設備などを駆使し,高層部事務室では柱をなくし広い室空間が自由自在に使えるように設計されるなど,内部にもきめ細かい配慮がなされている。

建築概要

名 称:サンワ東京ビル

所 在 地:東京都千代田区大手町1-2

施 主:(㈱三和銀行 設計・監理:(㈱日建設計

施 工:(株)大林組

工 期:昭和46年6月7日~昭和48年12月1日

敷地面積: 8,667.87㎡ 建築面積: 4,716.75㎡ 延床面積: 94,541.00㎡

建 築 率:54.4%

構 造:地下部分 鉄筋コンクリート造

低層部分 鉄骨鉄筋コンクリート造

高層部分 架構 鉄骨造

床 鉄筋鉄骨コンクリート造



外 装:プレキャストコンクリート花崗岩

内 装:床 ビニールアスベストタイル

天井 モジュール天井(事務室)

シーリングエ事

工 期:昭和48年1月~昭和48年11月

施 工 箇 所:プレキャストコンクリート花崗岩版ジョイ

ント目地, サッシュ廻り目地

使用材料:ベタシール169-2

施工会社:サンスター化学工業㈱

新宿三井ビル

*新宿三井ビル、が誕生した。生き生きとしたヒューマンスペースの創造を旗印に、新しい街づくりをめざす新宿新都心のメーンタワーとして、ハーフミラーガラスとダークブロンズのカーテンウォールに身を包んだたち姿を、初冬の空高く刻み込む。日本一の高さ210メートル。白い雲と隣立する超高層を詩情豊かな映像として映しだす高層部に対して、武蔵野の自然を呼び込み、太陽と緑と水と店舗群で構成した低層部・広場は、変化のある多様性と豊かさにあふれている。

かつて、日本初の超高層・霞が関ビルを手がけた計画 スタッフが、10年後にふたたびその熟練した技術と経験 の蓄積によって、空に溶け込み、群立することによって 周囲の都市空間を一段と魅きたたせる三井のイメージビ ルを創りあげた。

建築概要

所 在 地:東京都千代田区西新宿2丁目1番地9号

施 主:三井不動産㈱

設 計:三井不動産(株)・(株)日本設計事務所・(株)武藤

構造力学研究所

施 工:鹿島建設㈱ 三井建設㈱共同企業体

敷地面積:14,449,38m²

建築面積:9,590.67㎡(1階レベル)

階 数:地下3階・地上55階・塔屋3階

高層部外装:熱線反射ガラスおよびアルミ(自然発色ダ

ークブロンズ色)によるカーテンウォール

期 間:昭和47年4月13日~49年10月1日

シーリングエ事

期 間:昭和48年9月~49年10月

施工個所:アルミカーテンウォール全目地,アルミサッシュ(ガラス廻り)とガラスの取合い目

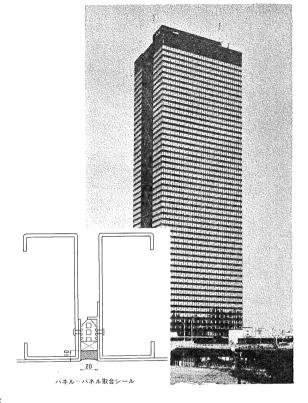
地

施工延メートル:170,000m

使 用 量:27,000ℓ(約41トン)

使用材料:ウェザーバンシーラー (ブラック・グレ

一) 住友スリーエム(㈱製



施工延人員:8,000人

施工会社:マサル工業㈱ 新栄産業㈱

材料管理:住友スリーエム(㈱品質検査規格で厳重にチ

ェックされたものが出荷され、当現場使用 のパイレスミキシングマシンに適用させる

ため、ドラム缶単位で出荷。

工事管理:工事業者の担当者と密接に連絡をとりあい、下記事項を実施。

①毎朝パイレスミキシングマシンの点検。 (ミキシングマシン専用の常駐者をおく)

②朝タサンプリングを行ない, 施工個所を 記入し, 硬化状態の確認。

③住友スリーエム㈱担当者がときおりゴンドラに乗りシーリング目地の点検を行ない 材料状態,施工状態の確認。

④工事業者との一致協力の体制をしき, その他, 諸問題に対応。

東京海上ビルディング

緑と杜とお濠りの水に囲まれた皇居を背景に、セピアの色あざやかな立ち姿を見せる超高層・東京海上ビルディング本館が完成した。首都東京の表玄関といわれる丸の内一丁目、代表的な名建築が立ちならぶビジネス中心街にあっても、外殻骨組をプレキャストコンクリートで覆った彫りの深い籠状の建物はひときわ異彩を放つ。

かって三菱ケ原にわが国最初の高層ビルを建設した東京海上火災保険会社。その先人の意志を継いだ同社が来るべき半世紀のランドマークとして恥ずかしくないものをと昭和40年ごろから具体化に乗出したものである。

建築概要

所 在 地:東京都千代田区丸ノ内1丁目6番1号

施 主:東京海上火災保険株式会社

設 計:前川国男建築設計事務所 東京建築研究所

横山建築構造設計事務所

施 工:共同企業体=㈱竹中工務店,清水建設㈱

鹿島建設㈱,㈱大林組

階数:地下4階(駐車場部5階)地上25階,塔屋

2階

高 さ: 軒高99,700メートル, 最高108,100メートル

延 床 面 積:63,120.19㎡ 建築面積:2,207.82㎡

構 造:地下部分=低層部鉄筋コンクリート造。高

層部のB4, B3階鉄筋コンクリート造,

B2, B1階鉄骨鉄筋コンクリート造 地

上部=架構・鉄骨造,床・鉄筋軽量コンクリ

ート造 外装 PCカーテンウォール

シーリングエ事

期 間:昭和48年7月~昭和49年1月

施工個所: PC板, ガラス廻り, サッシュ目地

施工延メートル: P C 廻り33,000 m

ガラシ廻り29,000mその他5,000m

使用材料:横浜ゴム㈱製「ハマタイトSC-

1220-HT (ダークブロンズ) 」

施工延人員:1,500人



施 工 会 社:マサル工業㈱

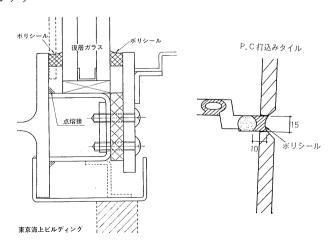
使用材料:セメダイン「ポリシール」

施工個所:キャスト目地,サッシ廻り,硝子廻り

施工延メートル:67,000m

施工延人員:1,500人

施 工 会 社:セメダイン建設工事㈱



ホテル・ニューオータニタワー

旧江戸城の外濠にあたる,都心部ではまれな濃い緑に包まれた東京・赤坂の弁慶橋の水面に,流麗な三矢型の白い曲面の影を落して9月1日,国際的な友好の場であるホテル・ニューオータニの新館,ホテル・ニューオータニタワーがオープンした。

同タワーは大成建設の設計施工により,工期25カ月,総 工費約150億円をかけて完成したものだが、同タワー建 築の特徴は、同社開発の積層工法を採用しているところ にあろう。高層ビルを建築する場合, 在来工法だと全部 の骨組みを建ててから外装,内装に取りかかるが,積層 工法によると, 1階ごとに外装をブロックによって作っ てゆき、徐々にそれを積み上げてゆく。そのため①工期 短縮②省力化③作業工事の安全性④居住性の向上などが 図れるわけだが、単に工法といったハードの面だけでな く、施主側のニーズを先取りして調査・研究・設計など 計画当初から参画, つまりホテル建設におけるターンキ 一方式として、ソフト面でも同社の力を総結集したとい う点、それはとりもなおさず受注産業から、頭脳集積型 のシステム産業へ転換を図ろうとする建設業のあり方の モデルの一つということができ,それの集大成として, この工事をみることができるだろう。

建築概要

所 在 地:東京都千代田区紀尾井町4番地

施 主:(株)ホテルニューオータニ

設計・施工:大成建設

工 期: 昭和47年7月19日~49年8月31日(25.4)

月間)

敷 地 面 積:65,388*m*² 建 築 面 積:7,060*m*² 基準階床面積:1,434*m*²

階 数:地下1階・地上40階・塔屋3階

仕 上 げ:(外装) PCカーテンウォール

客室内装:床・じゅうたん,壁・ビニール壁紙張,天

井・ビニール壁紙張,浴室・PCバスユニ

ット

構造:基礎・RCべた基礎、B1~1階・SRC



造、2~40階・S造(7階以上は石積工法)

シーリングエ事

期 間:昭和48年5月~8月17日

施工個所:タワー塔,接続塔の外壁, PCジョイント

部ほか

使用材料:ファインシーラー#300・色(グレー)

総 延 m 数:25,000m(二液自動混合吐出機「パイレス」

8,800を使用)

施工延人員:1,400人工 施工会社:マサル工業



先だって, ある会議の所へ当工業 会の方が見えて、機関誌「シーリン グーに何かゴルフ随筆をと申込まれ た。実は一昨年,沖縄が日本に復帰 して間まなく, 工技院の「建築材料 とJIS」についての現地指導依嘱 によって2週間余り各地を廻って帰 ってきたが、その後眼がおかしくな ったので、虎の門病院で診てもらっ た。血圧も高く眼底出血というので 暫く神妙に治療に努めたところ, 出 血は予期以上に癒り、血圧まで 150 以下に下って安定してきたが、右眼 の視力が弱って,本を読むこと,原 稿を書くことがえらく 億劫となっ た。こんな事情を述べてお断りした が「何とか」と押しきられお断り出 来なくなった。

随筆といえば安易に聞えるが民芸品とか手作り品とかに通じる、素朴な中に味がなければならないものであろう。うっかり引受けたことに困りながら帰ると、あたかもNHK・TVの「新八犬伝」で九チャンが盛んにまくしたてていたが、一区切のと

ころと見えて「閑話休題」といって 話を本筋に戻すくだりであった。今 まで「困った」と思っていたことを 忘れ、考えは閑話休題がなぜ「それ はさておき」になるのかになり、ま た何となく休顯閑話ではどうなるか とに移った。とっさに「題なしのた わごと」の迷訳が出るに及んで、こ れならお引受け出来る と勇気が出 た。私は逗子から横須賀線で東京に 出るが,乗り合せた御婦人達の会話 を聞くともなく聞かされることが多 い。御挨拶の序言から始まった話題 は, 巧みに変化し無理なく連続して 共鳴しながら長々と続く。しかも話 「酣(たけなわ)と思っているとき 「あら新橋ですワ……」で見事に結 論のない終結となる。これこそ絶妙 の休題閑話といえそうに思う。「休題 閑話の意義と価値」など考えるとす れば正にその価値の冒瀆であろう。

ところで私はこの頃よく「先生お 元気で……,いつまでも長生きして 下さい」と挨拶されることが少くな い。「先生」は昔からのニックネー ムのように親しく響き、「お元気で」は祝福して頂いていると嬉しい。しかし「いつ迄も長生き…」は老骨のヒガミで、「いつまでも生きているのか」の響が陰にこもっているようで淋しい気がすることがある。しかし考えて見ると学生時代は満ち足らわざる生活費の中でボートや剣道部選手として奮励努力し、出てからは酒家の誇り高い生活で何一つ長生きの摂生らしい慎みをして来なかった私が、喜寿を迎えられたのは奇跡というべきであろう。「どうしてそう」といわれると、私は躊躇なくゴルフのお陰でしょうとお答えする。

「今のハンディーは?」のお尋ねには答えないが、私はゴルフを始めて、もう50年にもなる。大正の末、東京工業大学が蔵前から大岡山に移った頃、後に文化勲章も受けられた故南画伯を大学の画の講師にお迎えしていた。その先生は画よりもゴルフがお好きのように見えるくらいで、お話を聞いたり、時たま近くの2万坪余りの等々力ゴルフ練習場へ

お伴している中、虜になったという 訳である。嚢中常に不如意な貧乏学徒には、長らくルンペンゴルファー 時代が続き、名門(といわれる)相模クラブへ200円で入会したのは昭和8年であった。それも景気のよかった友人の工場を設計をしてやった時、手渡せば酒になることを先見し、無断で払い込んでくれたケチな、し かし有難い設計料である。

御承知の通り、ゴルフコースの長さは1ホールスで6~7,000 mはある。それも打ち出しからホール迄の直線距離の合計で、ホールからホールへの距離は加算されてない。その上思う方向に飛んでくれない球を追って進まなければならない私には、1ラウンドするとコース長さの50%

増しの10 km は十分歩くことになろう。大変のように思えるが、空気はきれいだし自球を追う脚には距離は念頭にない。熱の上っていた若い頃は、セルフバッグで2.5 ラウンドしたことも珍しくなかった。

よく、健康は脚からといわれる。脚は歩くことであってゴルフは楽しんで歩けるわざである。故に健康はゴルフからという「風が吹けば桶屋が儲かる」論法がなり立つ訳である。長生きしたい人はゴルフをどう

ゴルフは人生なり

南先生はよく「一はマナーで二が スコアー」とゴルファーの心得帖を 説かれた。そしてマナーはエチケッ トを守ることからで, エチケットは プレー規則以前の人間味の問題だと いわれた。それは他人に不快な思い を与えない心掛にあると覚えた。先 日東京駅で改札の方へ歩いていたと き, 左方から直角方向に来る青年が 見えた。当然私の背後を通る位置だ と思っていたところ, 体を曲げるよ うに鼻先きをすり抜けて行ったので 思わず足をとめた。勿論えしゃくな ど帰って来ない。電車に乗ったら運 よく, 中年婦人が買物荷物を窓際に おいて2席を占めていた前に席があ って腰かけた。続いて老婦人が入っ て来て側に立ったが, 中年婦人はこ れには気づかぬげな振りをして眼を つぶり続けていた。こんな態度はど れもゴルフでは許されないエチケッ トであるが、この頃ではこうしたこ とに出喰すことが多くなって悲しい ことである。

ところでプレーのミスはヘッドア



ップによることが多い。打ち下ろす クラブヘッドが球に当る前に眼が先 き走って、球を飛ばしたい方向に向 くため頭の上ることである。つまり 理屈っぽくいえば行動の目標を見失 って結果の予期が先行する態度であ る。そうなると体勢はくずれて空振 りしたり、大地に大穴をあけたりす ることになる。日常生活と同じであ る。また、一つミスすると頭に血が 上ってカーッとなり急いで取り返し たくなる。そうなると球がどこかえ 逃げるような気さえする。その結果 は大抵またミスを繰り返すものであ る。特にショットを近くのラフにチョロした場合など、身分(力量)不相応の大道具で挽回したくなるが、必ずといってよいくらい失敗する。一つのミスは一つのミスで終らせる覚悟で、一歩後退、余裕ある落ちつきで打つ悟りの心境になれば、ハンデーは確かに 2つ位は上るであろう。判っちゃおれどもやめられない。「ゴルフはまた人生である」である。

委員会 分科会報告

総務委員会

第1回

48年12月17日 1月17日開催予定の西熱海ホテルにおける新年宴会の開催要項協議

49年7月8日 第2回

- 1) シーリング管理土養成計画について一①受講者概数の調査報告②テキスト作成③受講 資格基準④講習会の日程⑤試験問題の作成⑥合格基準,評点基準の作成⑦講師の選定⑧ 募集業務(9)合否の判定(⑩試験結果の通知(⑪認定証,証明書の交付
 - 2) 管理士再教育計画について―教育内容①材料の説明②現場管理の説明③管理士の使用 と任務
 - 3) シーリング材の価格の実態調査について

技 術 委 員 会

第1回~6回

「検討項目〕

(昭和49年前期)

- 1) 用途別性能評価標準に対する対策
- 2) 職業訓練用教科書の作成に対する準備
- 3) シーリング工業会発刊予定「建築用シール材の正しい使い方」の作成
- 4) シーリング管理士の教育および教科書の再編
- 5) 商品性能のチェックとグレードアップの方法
- 6) 工業会標準色の設定

以上のテーマに対してさらに下記のように検討されてきている。

- 1. 用途別性能評価標準については、原案の規格および試験法に対して、各分科会、技 術委員会において、数多くの試験検討がなされ、それをもとにWG委員会(JIS制定の ための準備委員会)に工業会代表が参加し、要望を提出しながらさらに協議された結果, 10月8日のWG委員会にて最終的規格が内定された。
- 2. 職業訓練用教科の作成については現在,施工関係の全国組織である全国防水工事業 団体連合会が設立されつつあるので、その状況に合せて、検討を継続していくことになっ ている。
- 3. 「建築用シール材の正しい使い方」の作成については、次のシーリング管理士の 教育用教科書作成のとき、できる限り、本作成に役立つような内容でまとめ、それをもと に、さらに本の編集を行うことになっている。
- 4. シーリング管理士の教育および教科書の再編については、現在原稿も終了し、11月 に行われる各地区の管理士講習会に十分間に合う日程にて作成中である。
- 5. 商品性能のチェックとグレードアップの方法については、ポリサルファイドシーラ ントを特に重視し、耐久性を主とした試験を行うことで、準備が進められている。
- 6. 工業会標準色の設定については、7分科会の各会員から、現在使用している色見本 帳を集め、また現在販売されている材料の色別アンケートを行い、集計している状況であ

る。なお、設定される標準色は、十分な検討がなされたうえ、マンセル記号より選定される予定になっている。

以上が6回の技術委員会で検討されてきた項目および内容であるが、行事としては、7 月26日の合同分科会において会員各位に用途別性能評価標準についての、中間報告を行っている。

広 報 委 員 会

第1回 49年8月20日

- 1) シーリング誌12号発刊について一①より多くの会員の意見を反映せしめ、新鮮味を出すため委員会分科会の記事を掲載する②標準設計価格の掲載③発行日を12月中とする。
- 2) 会報発行について一シーリング誌発行の目はながつき次第発行を検討する。
- 3) PR問題について―シーリング管理士,工業会活動のPRは総務,技術両委員会の協力を得て実施する。

第2回 49年11月6日

シーリング誌12号刊行について内容の具体的検討を行った。①これより先開催の合同分科会で、シーリング誌に掲載予定の建築用シーリング材基材別標準価格を検討、決定した②工事報告欄に掲載の建築物を決めた③シーリング材の通産統計、シーリング管理士名等の作成などを急ぐことになった④シーリング誌の発行を12月中とすることで再確認した。

ウルトラシーラー®

紐状、テープ状 弾性シーリング材

U リート®

ユー

誰にでも、継目なしに何平方米も防水層が 出来る――特殊シート

鐘栄産業株式会社

東京都中央区日本橋小伝馬町 3 - 5 電話 東京 03 (661) 5379 · 4475 · 2635

油性分科会

第1回 48年12月6日

市況対策の検討、情報の交換、用途別性能評価基準案に関する意見書の説明を行った。

第2回 49年4月3日

- 1) 用途別性能評価WG委員の経過説明
- 2) 用途別性能評価原案の耐久性についての見解表明のため,会員6社に耐久性テストを 依頼した。

第3回 49年7月25日

1) 用途別性能評価基準中間報告―用途別本委員会が7月22日開催され、耐久性温度条件は9月WG委持越となった。油性に関する耐久性温度条件は下記の通り。

	コーキング用					
案 別	外 部	内 部				
原案	80°C	80°C				
訂 正 案	70	60				
工業会案	60	60				

2) 市況情報の交換

① 建築施工の大巾減少により市況は一段後退し、原料高の製品安となり一部に安値品が出廻っている。 ② 生産コストの上昇にもかかわらずメーカーは製品安のため苦境にある。 ③ 原料メーカーより値上げを言ってきているか延ばしている。

- 3) その他
 - ・定例会の開催は3ヶ月に1回開催するなど

ポリサルファイド分科会

第1回 48年12月5日

用途別性能評価基準案に関する意見書につき同分科会技術担当者会議を開催,要望事項の検討を行った。

第2回 48年12月6日

市況対策の検討,情報の交換,用途別性能評価基準案に関する意見書の説明を行った。

第3回 49年1月11日

同技術担当者会議を開催し、用途別性能評価基準案作成WGに対する要望事項について 分科会としての要望事項の検討を行った。

第4回 49年1月25日

同分科会幹事打合せ会を開催し、要望案に関する意見を交換し対策を検討した。

第5回 49年2月7日

幹事会社よりの説明—(1)用途別WGにおける工業会要望事項の押出し性、合否の判定、スランプ、可使時間などの討議内容の報告 (2)ポリサルファイドポリマーの供給について東レチオコール㈱久守氏より供給状況と今後の見通し、価格などについて報告があった。

第6回 49年3月8日

1) 第99回理事会の議事内容の報告

2) 用途別性能評価WGの経過について一住友スリーエム㈱より押出し性,スランプ,可使時間などについての経過の説明があり,5 $^{\circ}$ C,20 $^{\circ}$ Cスランプ試験は㈱日興社,ボスチック・ジャパン㈱に依頼された。なお原案中の耐久性試験100 $^{\circ}$ C設定に論議が集中した。

第7回 49年3月28日(技術) 用途別性能評価WGへの要望事項中耐久性に関する対応策について協議した。

第8回 49年4月22日(技術) 同月23日開催予定の用途別性能評価WG委員会にのぞむ下打合会を開催し提出資料の作成を行った。

第9回 49年5月16日(技術) 用涂別性能評価WG委員会に提出する資料として次の試験を実施する。

A 耐久性テスト

(1) 2,000サイクル

温度 (100, 90, 80, 60) 加熱圧縮一冷却引張 2 サイクル 破損状況 (亀裂深さ, 剝離), 残存歪, S-S曲線の記録および写真

(2) 引張り試験 各温度3ピース,破損状況,残存歪,S-S曲線の記録

- B グレージング試験
 - (1) ガラス/ガラス被着体
 - (2) 20°C/1wk+50°C/1wk 養生
 - (3) グレージング1級試験

WS 500 H圧縮加圧温度 100℃, 80℃, 60℃

圧縮加熱一引張冷却(回)1回,2回

$$''$$
 $($ $) $(-30 +60) (-20 +40)$$

2,000サイクル

(4) グレージング2級試験

WS 250H

温度 80℃

以下(3)に同じ

第10回 49年6月4日(技術) ポリサルファイドシーリング材の6社の試料にもとづき,各社が 60℃,80℃, 100℃ について原案1級試験初期,熱処理後,2000サイクル後などの各種試験結果の検討のとりまとめを行った。

第11回 49年9月3日 1) 用途別JISに対する最終的態度の決定—工業会要望案の耐久性の温度条件,合否判 定条件に対し,各社の意見を求めた後,工業会要望事項の再確認を行った。

- 2) 用途別JIS試験設備,機械器具の説明―施設費概算約2,500~3,000万円と試算。
- 3) ポリサルファイド標準設計価格の決定─48年度は価格変動が甚しいため未決定。47年度は4,000/ℓであった。

ウレタン分科会

第1回 49年1月21日 「用途別性能評価基準に対する耐熱試験の依頼」について討議し試験項目を決定した。

第2回 49年3月15日 開催

第3回 49年7月9日

- 1) 管理士養成計画,管理士再教育計画中のウレタンシーリング材に関するテキストの作成については幹事および(㈱エービーシー商会に一任。
- 2) 市況情報の交渉―建築物件の大巾減少,シーリング材の値崩れ傾向などにつき情報の 交換が行われ、原料メーカーの進出によるフォーミュレーターへの影響,適正価格維 持,過当競争防止への意見が多かった。
- 3) 用途別JISについて㈱エービーシー商会浅見氏より48/7ウレタン分科会より技術 委員会への要望事項について説明が行われた。
- 4) 例会は2ヶ月に1回開催,懇親会は追って検討する。

アクリル分科会

第1回 49年4月2日

- 1) 用途別性能評価WG委員会の経過説明
- 2) 用途別性能評価原案の耐久性の項目について同分科会の見解表明のため耐久性テストを会員会社4社にて実施する。

第2回 49年6月18日

1) 用途別性能評価基準WG経過報告 — アクリルの 耐久性試験 について,山内ゴム工業 (㈱,日東ポリマー工業㈱,世界長㈱の3社において実施した結果は下記の通り。

シーリング用、コーキング用各1級には不合格

シーリング用, コーキング用各2級およびコーキング用外部に合格

- 2) 定例会の開催-2ヶ月に1回,次回は8月開催予定
- 3) 業界内部の協調と信頼性の維持
- 4) アクリルシール材のPR
- 5) 親睦会の開催
- 6) 未加入各社の勧誘
- 7) 市況情報の交換

第3回 49年8月19日

- 1) 市況対策について一現在の業界事情,総需要抑制策の業界への影響などにつき各社の情報を交換し,他の基材の動向に注意しつつ,これらの分科会と連絡を取り合いつつ慎重に対処する。
- 2) 用途別JISについて—用途別JIS中間報告案について各社の意見提出を求め技術 委員会に提出する。

第 4 回 49年10月14日

- 1) 標準設計価格案について協議の結果, 1,000円/ℓと決定。
- 2) 市況情報の交換一過当競争の回避と安値防止の必要性が強調された。

ブチル分科会

第1回 48年12月11日

市況対策の検討、情報交換。

第2回 49年10月3日

- 1) 標準設計価格案について、協議の結果、950円/ℓと決定。
- 2) 市況情報の交換一過当競争の回避と安値防止の必要性が強調された。

シリコーン分科会

第1回 49年7月3日

- 1) 用途別性能評価WGの件―現在迄の審議状況を報告し、シリコーン分科会としての態度を打ち合せた。
- 2) アンケートの件―シリコーンの現状調査のため、シーリング管理士に対してアンケート調査をすることになった。

第2回 49年8月22日

- 1) 管理士再教育の件一再教育の具体的方法について意見を交換した。
- 2) アンケートの件―シリコーンのシェア、用途、長所、欠点などを調査することとし、 発送手続を事務局に依頼した。

第3回 49年9月25日

1) 景気動向調査の件一通産省へ提出する書類を検討し、49、50年度の出荷量などを推定した。出荷量は次の通り。

 45年
 46年
 47年
 48年
 49年(推定)
 50年(推定)

 294 t
 335 t
 430 t
 550 t
 400 t
 460 t

2) 標準設計価格の件―シーリング誌に掲載する材料費について意見を交換した。

1液 5,400円/ℓ

2液 4,500円/ℓ

3) アンケート調査の要約―シーリング管理士311人に送付したアンケートの中,回答は87通で回答率28%であった。管理士が取扱っている弾性シーラント(ポリウレタン,ポリサルファイド,シリコーン)のうち,シリコーンの割合は

 0%
 1通
 11~30%
 16%

 1~5%
 22通
 31%以上
 12通

 6~10%
 34通

通であった。使用個所は、サッシュ+サッシュ、サッシュ+ガラス、ガラス+ガラスが多かった。シリコーンの長所として、耐候性、ゴム弾性、接着性、モジュラス、作業性、色、耐熱・耐寒性、収縮率をあげる回答が多く、欠点は価格と引裂きであった。

S·B·R 分 科 会

第1回 49年9月26日

- 1) 標準設計価格─600円/ℓ
- 2) 49年活動方針
 - (1) SBRの啓蒙活動の実施
 - (2) 用途として、油性とアクリル、ブチルの中間部分を対象にして販売目標をしばる。
 - (3) 会員相互の意志の疎通を計り、年3回の会合を実施する。

シーリング管理士名簿

東京施工部会

会 社 名	氏 名
 石 黒 建 材 社	石黒一司,石黒勝己
(株) 丸 福 産 業	米山和美,福間繁芳,山口忍,大井義雄,松本正男
(株) 大 栄 興 業	 五味作之助,渡辺和夫,中野憲郎,石垣政見,高橋功,中野恒男,岩上輝雄
東都シール㈱	関口泰治
伊藤建材㈱	島村初義
大和興業㈱	淵上正,坂元久光,児玉勝,米満節夫
日本トライ(株)	町田巧,平松茂,唐木髙志
セ メ ダ イ ン 建 設 工 事 ㈱	 中黒見昭義,中野茂,半野時男,倉田吉三,西潟秀男,小日向日出男,原田豊
光栄工業㈱	 内田鴇鵺,工藤幸男,富永和徳,山田悟,生野好美,刑部孝造,工藤富男,竹田剛士, 川端徳重,石塚世之吉
マサル工業㈱	塚本弘,田中忠之,佐藤義政,宮川文雄,佐藤壽宏
大和工業㈱	志田大三,玉木一雄,橋本典夫,佐藤功,波瀬川徹,
アルファ産業㈱	木村元保,宮代博,近藤範夫,秦達也,山本勇,五十嵐勇,宮下勝正,大滝満夫,井手 禎司,桃園幸好,佐藤正夫,福山政隆,松田和彦,田瓜千秋,山本芳男,菊地皓
日 光 興 業 ㈱	及川豊,新倉建二,白倉一昭,田代三郎
臼 倉 建 材 工 業	臼倉基祐,小田切春次
高萩興業㈱	佐川保嗣,平井泉,石井正夫,因幡建一,宮崎勲
興 進 工 業 ㈱	本田紀幸,本田昌史,高宮昇二,五十嵐志郎,渡辺隆,近藤護
緑川工業㈱	村田安利,中西舜治,佐藤忠勝,福島則義,遠山孝義
理建シール㈱	広瀬啓二, 室井幸雄, 木村正一, 室井義春
(株) 栗 崎 工 業	栗崎堅司,栗崎守,池田宏造
泉工業㈱	石塚光男,蜂谷和明
三松工業㈱	領幸彦 如取自樹
細田工業㈱	新野良樹 松田神佐 間口勝盗 佐東茂
プレハブ防水㈱	松田建作,関口勝治,安東茂 金子博美,柏瀬謙一,宇山松年,松永正,栗田達明
山栄興業㈱	小淵信夫,橋本東,柳沢英雄,柴田裕
清起工業㈱	大野直和,河野信幸
三和工材㈱	平川典明
トーシン工業㈱協和シーリング	
工 事 (株)	手塚透,手塚功,安達定雄,神長伸介
第一建材工業	富岡茂夫,青島邦光,栗田陽亘
中央建材工業	渡辺昭悟
山 形 防 水	下之薗修,長沼和男
東邦シール	須摩哲郎
矢島 建商	木野啓一,増淵正明
田代興業	吉岡富雄
昭 和 工 業	伊藤豊
瀝 青 建 材	折内元,三井富弥
タイガー工業	宮木統,石田清輝

名古屋支部施工部会

会 社 名	氏
朝日コーキング	吉田久由,石田隆,道家論,後藤勇
石動コーキング㈱	三浦忠,仁村孝,安川敏雄,佐藤富士男,菅原寬,石動正芳,石動香
エイト工業㈱	大久保安伸,岡智康,木村次郎,金丸安正,木村達夫,大江力,五島政美
大池建工(株)	浅井忠義,井川勝利,荒川貴大
川合コーキング	川合久雄
(株) 栗 原	要原弘,山下晴夫,今村邦夫,紺谷俊志,浜出伸夫,奥成栄治郎,朝倉英心,池田茂夫 毛利邦彦,岡本幸男,小倉武雄
大信 工業	宮崎進,紬山衛彦,徳永治夫
御 静 岡 コ ー キン グ 工 業	大木勝実,望月貞行,大田広道,掘川信昭,新保喜美雄,諏訪部薫,望月寬,中村松雄
一	高橋正美,小川雅也,粟戸裕,中谷誠,木村春好,山下弘,石川富夫,中村守,清日政嗣
(合) 清谷商店	清谷魚行,川口輝男,松下忠行,山下剛
中央建材工業㈱	伊藤篤,宇野守昭,児島正宣
津田硝子㈱	竹田久治郎,黒木強,野村慎哉,林陸英,滝上次一,竹田正始,老松啓二
東海物産㈱	小林俊治,大田義信,大川修,野末久治,谷江正晴,永井博太郎
中村コーキング店	中村一音,笹野達臣
日本化成工業㈱	荒川英夫,山口孝志,太田勝広
不二化成品 ㈱	永井捨男,野末不二男,伊藤羨雄,望月啓司,小田勝久,中野司郎
名 岐 建 材 社	浅井末義,平山勲,西垣栄,早矢仕幸人,深沢静男
森 建 材 商 行	森哲夫
(制)加藤防水工業	加藤倉光,高木勝幸
ソフランシール 防水 工業(㈱)	望月堯,渡部将
隆志建工	大野隆正,尾藤膀,林羲和,小沢保明
フジエ業㈱	豊島秀雄,小林哲鎦,河原昇一
丸協ガラス	藤島陽治,高野光男,吉野憲一,見角弘
メイトー	二俣明,光行時義,森数美
(有)三栄コーキング	吉兼宜明
(株) 大三建工	高須輝男,川合長,大田辰夫,鈴木輝夫
(株) 仙 嶺	井戸田勇,五島一,井戸清,五島稔勝,吉川満
三信建材工業㈱	久米修己,竹下麻男
村瀬防水工業	村瀬光雄,村瀬守
石渡産業㈱	百瀬秋彦,山岸真澄
大信 工業	奈良貴,宮崎義明

大阪支部施工部会

会 社	名	氏 名
美星工		竹井武 小阪栄,竹永郁二,西川英男,井上信夫,中藤英二,掘田英男,天笠靖,松木俊六,奥 野奏央,阿南一生,木溜清治,竹田良久
アルファ産 三 建 工 :		内田勝久,秋山哲,高山寿男,土谷尚平,林利明 山本五郎,山本雄志,掘川博節,竹内健二,布施昭雄,古川康夫

喜田敏雄, 矢野健三, 大西利昭, 間瀬啓三 三 大 工 業 ㈱ 山本勇,藤原彦久,佃尚亮,菱田稔,菱田績,野口章,伊藤昌宏,鍋島政幸,藤原義彦 大阪ユニロン(株) 小林静雄,小林知義,西原三千勝,小谷英昭,橋本富美雄,小坂田敬三,万代日出夫, 美作工務店 森田敏信 匍 協 栄 化 学防水社 福島英己, 荒木栄美 妻藤秀光, 松山駿三 共 立 産 業 ㈱ ゼネラル化成㈱ 冨美安彦, 志田稔 香川隆司 宮 橋 八尾忠良 大日特殊建材工業㈱ 林忠雄 平林工業所 埋金辰秋, 上田弘 日東工業(株) 阪井敏夫, 田井修, 田村大樹, 米田正春, 上野幸二, 竹田征司, 能沢正弘 ㈱大阪シール エマール工業 坂中俊彦 横谷興谷 三 幸 物産 中元幸弘 八尾コーキング 日本三立産業 大谷武志, 佐々木勉 笹崎幹雄,梅本勇,紀の川進 豊栄シール 野添博司, 山本数人 ゾエ技研 益田憲司、松川光雄、西中一幸 高 分 子 工 材 店 城内光男, 牧野昌之 城 内 商 津川忠義, 福井啓三, 片岡幸夫, 小西秀夫 建和工事(株) 押川正利,入江勝義,富永文夫 藤川 店 商 佐迫忠雄, 大西文則, 野尻稲繁 大阪防水工業所 安芸工業㈱ 安芸増雄 松下防水工業 松下明男, 松下文吉 上田三郎, 野上條司 (株) 大一防水工業 ㈱ 東 洋 防 水 横道哲幸,谷口忠文,太田健治,吉川博康 松本文雄,沢田芳樹,近藤次男,亀井一身,中田義則,清水隆雄 興 和 工 業 ㈱ 岡野市文,松井利美,嶋肇 相 和 商 会 山村博司, 岡田良平, 三谷幸一, 飯田一己, 藤本武士 日本化成工業㈱ 日添工業(株) 道上高雄 今井知,山際伸生,掘川剛光 大信防水工業㈱ 橋本健造, 藤倉謙二, 秋田隆男, 久保清, 久保義一 (株) テンジョウ 秦一郎, 高木修 神 戸 建 設 日本シーラント工業 丸尾光弘 成 森田武司, 西元昭藏 士 化 佐藤幸保, 小西睦男 京都シール

福岡支部施工部会

会 社 名	氏	名
ティパ化工 九州販売㈱	青野隆明,青野博文,内布汎,米坂和義,今杉正暢	
南 九 州 エービーシー商会	浅谷二郎,淵脇修身,大野末雄,佐藤良一	
三ツ星建材産業㈱	糸永利男, 西郡久夫	
(都石橋防水工業	石橋秀雄,石橋正治,中村仁直	

テツャエ事店| 上田勇, 斉藤孝幸 川島伊三郎 川島忠司, 鶴田吉太郎, 山本幹高 (制) サンシー ル 工 業 川野十日生 山崎工業㈱ 迫田睦男, 浜村満男 竹ノ畑靖彦、野田恒忠、古家政男、古家重成、宮副静海、諏訪憲雄 **御野田工業所** 昭和防水工業㈱ 高津猛比古, 田口良孝 九州特殊工事㈱ 竹下邦友, 松村光章 日本シーラント工業所 竹内聖二, 中村碩 (f) 武藤工業所 楢原征雄,原田統,武藤貞 浜田孝昭, 吉川繁満 日本化成工業㈱ 長崎防水工業所 松本忠広,渡部辰男 マ グ ナ 工 業 ㈱ 延 岡 支 店 南川賢之助 山崎商会 山崎一, 藤谷善継 アルファ産業㈱ 山崎秀雄 高 宮 建 材 里政訓,渡辺重昭 第一防水工業 諸岡康幸 九州コーキング 木下一隆 新 建 安楽浩一 三賀シール 西村洋一 エアータイトセンター 天野克樹

広島支部施工部会

会	社	名	氏	名
青	山工	業	青山厳	
青	盛建	材	阿村正昭, 日本満俊, 森清勲	
サ	ンゼオン防	水	板坂広之	
マ	ルマス河	野	石丸廉秋, 篠森順一郎	
中	国富士化	Ì	今井正志,松林松寿	
佐	藤忠七商	店	岩本安信,安田実	
日	化 工	材	宇治邦彦	
福	永 建	材	占部久夫	
昭	和工	業	岡実,千葉進,舛田久夫	
東	中 国 防	水	小野田毅,川崎忠彦,角田政夫	
マ	ルエスエ	業	小野田真治,大屋善市,澄川昇	
中	国特殊防	水	海部肇,海部信章,勝代伝三郎,丿	川崎忠彦
三	洋 技	建	上川源治,谷岡卓爾	
高	知防水 センタ	-	神崎勲男	
三	和 防	水	久保正男, 槻合典男	
三	篠防	水	桐村栄蔵	
豊	永 建	材	河野和壮, 竹森修一	
旭	建	材	米今達雄	
小	野 甚 商	店	土屋啓介	
日	東 防	水	久敷信男,森末毅好	
大	和 防	水	平川宜明	

基	剤	会	社	名	商品名	色	形状	荷姿単位	特 性
油	性	アオイ化	2学工第	* (株)	マジックコーキング	グレー白・黒		18 0 缶入	J I S指定製品
		(株)エー	ビーシ	一商会	ABCコーキング	グレー	1液	18 0 缶入	JIS A5751規格合格
		小野田	建材	(株)	ユニロンコーキング	グレー		18 0 缶入 3.6 0 缶入	JIS指定製品
		鐘紡合具	成化学	生 (株)	ゴーレックス P—#320	グレー	1液	18 @ 缶入 3.6 @ //	JIS指定製品
		関西バ	テ化コ	(株)	白 パ テ セルベート K コ ー ク	白 グリーン・朱 グ レ ー		18 @	
		建材(化工	(株)	パンシール	グレー		18 0 缶入	JIS指定製品
		(株) 小司	石能財	一曲に	ボンドコーキング	グレー		18 l 缶入 500 g チューブ×24本	
		(PK) J	- IX 9.	7 143 744	ボンド油性コーク	グレー		330ccカートリッジ×30本	
		サンスタ・ 化	_ :学工業	(株)	ペンギンシール #750	グレー		333cc.×20本	JIS指定製品
		三英ポリ-	マーエ <u>;</u>	集(株)	リバーコーク	グレー		18 0 缶入	
		三洋二	E. 業	(株)	スリーコーキング	グレー		18 ℓ 缶入 800cc.チューブ入 320cc. ク 360cc.カートリッジ	
		志水パラ	テ製造	(株)	エスコーク	グレー		18 0 缶入	
		昭和石油 アスフ	ァルト	(株)	エバーシール	グレー		18 ℓ 缶入 600cc チューブ	JIS指定製品
		セメダ	イン	(株)	ポリコーク	グレー		18 ℓ 缶入 400mℓチューブ入 360mℓカートリッジ入	JIS指定製品
		近畿化原	成工 業	(株)	ボンシール K#110	グレー		20 ℓ 丸缶入 18 ℓ 缶入	
		積 水 化 🖰	学工業	(株)	セキスイコーキング	グレー		1.8 ℓ 缶入 25kg缶入 36uccカートリッジ×20本 800ccチューブ入×12本	JIS指定製品
	ľ	世界	長	(株)	ケミコーク	グレー	1液	18 ℓ 缶入 500gカートリッジ	
		タイホー	- 工業	(株)	トリタイト #7	グレー		18 6 缶入	
		中外商	有工	(株)	チューガイ コーキング	グレー		18 g 缶入 500ccチューブ	
	-	テイパ	化工	(株)	グレインコート	グレー		[8 € 缶入	JIS A5751合格品
		(株)東京ホ	ドース	C業社	ボースコーキング	グレー		18 g 缶入 3 g ル カートリッジ	
,		日東ポリー	マー工美	≹(株)	ニットーコーク 1100G	グレー	1液	18 ℓ 1 kg + ューブ 400m カートリッジ 333cc カートリッジ	
	-	日瀝化当	学工業	(株)	サッシール	グレー		25kg缶入 18ℓ ″	
		日新コ	工 業	(株)	マルエスコーキング	グレー		18 0 缶入 チューブ入 1 0	
	-	日東化成	戈工 業	(株)	プラシール コーキング	グレー		25kg缶入	
		日本:	ンカ	(株)	アイガスコーキング			25kg缶入	
		日本添加	剤工業	(株)	ファインコーク	グ レ ー (標準色)		18 0 缶入	
	ľ	バンドー	化学	(株)	バンシールC	グレー		18 @ 缶入	

基剤	会 社 名	商品名	色	形状	荷 姿 単 位	特性
油 性	三 星 産 業 (株)	三星コーキン	グレー	1液	18 ℓ 缶入 800cc チューブ×20本 500cc / ×20本 360cc カートリッジ×30本	J I S指定製品
	明星チャーチル (株)	スターコーキング B―20G	グレー		18 @ 街入	
	ボスチック・ ジャパン (株)	ボスコシール 300 L	グレー		18 ℓ 缶入 360ccカートリッジ×25本	
	モルナイト興業 (株)	スーパーコーキング	グレー		25/86年入	
22 H 24					}	
ポリサル ファイド		チオレックスボンド	グ レ ー ブラウン		5 kgセット	
	アオイ化学工業 (株)	ポリボンド	黒	2 液	40kg //	
		ユニボンド	グレー		5 kg //	
	(株)エービーシー商会	チオコーク	グ レ ー ー ライトバー ラインバト フインバー ブラック	2 液	4.4kg缶入	,
	鐘 紡 合 成 化 学 (株)	ゴーレックス	グレー	2 液	$ \begin{array}{c} A23kg \\ B2.3kg \\ A4kg \\ B0.4kg \\ \end{array} \} \times 4$	
		ゴーレックス	プラック		A 23kg B 2. 3kg	
	関西バテ化工(株)	ハイトシール	グレーダークグレー アンバー ブロンズ#1 ブロンズ#2	2 液	4 kg	
	(株) 小西 儀 助商店	ボンドシール #10	グレー アンバー #1~5 黒各種	2 液	5 kg セット 1 ケース 2 セット	
	サンスター 化学工業(株)	#169-2 - 4 ベタシール ルーA1 ルーA2 ルーA5 ルー 5	黒 ライトグレー アンバーー・1 アンバーー-2 アンバーー-5		5 kg缶× 4	主剤が白く、硬化剤との攪拌状 況が一目で判る JIS指定製品
: 	三 洋 工 業 (株)	スリーコール	グレー	2 液	5 kg街入 1 kg缶入	指定色製作
	住友スリーエム (株)	ウェザーバン シーラー	黒・グレー タ ン	2 液	3 0入 (4 0缶)	
	昭和石油 アスファルト(株)	フヂチオコール	グレー ブラック ダーク アンバー アンバー オールド ブロンズ	2 液	2 @ 丸缶入 4 @ 丸缶入	
	セメダイン (株)	ポリシール	黒 グレー アンバー 他	2 液	5.5kgセット 1.1kgセット	
	積水化学工業(株)	エスダイン チオシーラー	グレー黒	2 液	10kg 5.5kg 1 kg	
	世 界 長 (株)	セカイチョウ チオコールシーラー	グ レ ー クリーム アンバー	2 液	5 kg缶	加硫型
	タイホー工業(株)	トリタイト #1000	グレー	2 液	5 kg	
	中 外 商 工 (株)	ハイジョインター PH	グレー	2 液	5.5kg	
	ティパ化工(株)	ボニーシーラー P S 2000	黒 グレー プラウン	2 液	3 ℓ缶 (セット)	JIS A-5754合格品

基剤	会 社 名	商品名	色	形	状	荷姿単位	特 性
ポリサル ファイド	日東化成工業(株)	プラシール T一BG	グレー自			4 kg缶入	
	(株) 日 興 社	ニッシール	グルーの黒色	2	液	4.2kg缶入	
	日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク #300 S	9 色	2	液	5 kgセット	
	日本シカ(株)	シーカジョイント PS				10kgセット缶 4kg ク	
	日本添加剤工業(株)	ファインシーラー #300	グ レ ー ダークグレー 黒 他			5 kg 1 kg	
	日 瀝 化 学 工 業 (株)	ネオサッシール	グレー	2	液	3 0 入	
	日立化成工業(株)	日立チオシーラー K-3800	グレー 他 5 色	2	液	5 kg	
	明星チャーチル(株)	スターシール T—27	グレー	2	液	1.1kgセット 5.5kg ク	ガラスとの接着優秀
	横浜ゴム(株)	ハマタイト SC―500HT	グレー	2	液	3 0 セット	JIS指定製品
	(株)東京ボース工業社	ボースコークPS	グレー	2	液	2 kgセット	優れた接着性, ゴム弾性に富む
	ボスチック・ ジャパン (株)	ボスコシール #700	グレー 他 5 色	2	液	5 kg缶× 2	可使時間 4 時間/20° C
	モルナイト興業	チオシール	グレー他各種	2	液	4 kg缶入	
	日本合成ゴム (株)	J S R シーラント #100	グ レ ー アンバー ブラック	2	液	5.5kgセット	
ウレ タン	アオイ化学工業(株)	UボンドN	黒 グ レ ー ブラウン	2	液	6 kg セット	
	(株)エービーシー商会	ABCコーキング ウレタン	グレーー ライトグレー アイボリー ホワイト アンバー ブラック	2	液	6 kg	低モジュラス伸びが大きい
	鐘 紡 合 成 化 学 (株)	ゴーレックス P―6#000	グレー	2	液	A. 4 kg (主剤) B. 8 kg (硬化剤)	公団指定品
	建材化工(株)	パレンタン コーキング	グレー	2	液	6 kg 3 kg	
	サンスター 化 学 工 業 (株)	ペンギンシール#950 ペンギンシール#980	グレーグレー	1 2		{333cx × 20本 {18kg × 1 19.5kg {6.5 (主剤) 13kg (硬化剤) 10 kg (注剤)	
	昭和石油 アスファルト(株)	ユーゼット	グレー	2	液	9 kg { 3 kg (主剤) 6 kg (硬化剤) 10.5kg(主 剤 3.5kg) 硬化剤 7 kg	
	セメダイン (株)	ウレタンシーラー 8050	グレー	2	液	10.5kgセット	1
	世 界 長 (株)	セカイチョー ウレタンシーラー	グ レ ー アンバー	2	液	9 kg缶	加硫型
	中外商工(株)	ハイジョインター UH	白・黒・茶グレー	2	液	 3 kgセット 6 kgセット	
	テイパ化工(株)	ボニーシーラー U-2000	グレー	2	液	3 kg缶入 6 kg缶入	
	明星チャーチル(株)	スターシールU―29	グレー	2	液	18 ℓ ペール缶入 320ccカートリッジ入	サッシ廻り, パネル廻り コンクリート目地
	(株) 小西儀助商店	ボンドUシール	グレー	2	液	9 kgサッシ(主 剤 3 kg) (乗化剤 6 kg) 1 ケース 2 セット	
	三 洋 工 業 (株)	スリーウレッチ	グレー			6 kg缶入	
	(株) バンデックス・ ジャパン	バンデシーラント S-340 S-350	グレー	2		19.5kgセット 9 kgセット 19.5kgセット	低モジュラスPC版用 ALC版用

基 剤	会 社 名	商品名	色	形状	荷 姿 単 位	特 性
ウレ タン	山内ゴム工業(株)	トップシーラーU2	グレー	2 液	6 kgセット	
	日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク #200U	グレー	2 液 1 液	5 kgセット 333ccカートリッジ	ALC版,PC版に好適
	日本添加剤工業(株)	ファインシーラー #200	グレー	2 液	6.0kg缶	
	日東化成工業(株)	ブラシーラー PU1800 ク W P2000 ク PU 200	グレー リ リ	2 液 2 液 1 液	6.5kg {13.5kg { 20kg 333ccカートリッジ	
	日本化成(株)	ダイシール UT#100 ク #500	黒	2 液	54kg 36kg	ノンサグタイプ フロータイプ
	バンドー化学(株)	バンシールU115L ク U225	黒グレー	2 液	30kgセット 5kgセット	可使時間 20°C 3時間 20°C 5時間
	(株)東京ボース工業社	ボース・ ウレボンシール	グレー	2 液	13kgセット 4kgセット	
\ 	モルナイト 興業 (株)	モナシール	各 種	2 液	9 kgセット(主 剤 3 kg) 硬化剤 6 kg)	
	日本シカ(株)	シーカフレックス 1 A	グ レ ー 自 タ アンバー ベージュ	1 液	27kg缶 333ccカートリッジ	
	保 土 谷化学工業(株)	ミリオネート NS12	グレー	2 液	6 kg(主 剤 2 kg) 硬化剤 4 kg) 1セット×4=24kg	常温硬化
	日本特殊塗料(株)	シールトップU	グレー	2 液	9 kg(主 剤 3 kg) 硬化剤 6 kg)	
	日本曹達(株)	ニッソウ タフシール 4423 C	グレー	2 液	5 kg(主 剤 4.3kg) 硬化剤 0.7kg)	
ブチル	鐘 紡 合 成 化 学 (株)	ゴーレックス P―3000	グレー	1 液 テープ状	18 f 缶 各 種	
	(株) 小西儀助商店	ボンドブチルコーク ボンドシールパテ	グレー		20kg缶入 330cc.カートリッジ	
	建材化工(株)	パンネオシール	グレー	1 液	360cc.カートリッジ	
	サンスター 化学工業(株)	ベンギンシール#850	グレー	1 液	333cc×20本 25kg缶入×1	
	鐘 栄 産 業 (株)	ウルトラシーラー	グレー	テープ状	5 %× 5 % 10m巻 10 0 × 5 0 10 0 10 0 × 15 0 5 0	
	世界長(株)	セカイチョー シーラーRB	グレー	1 液	18 ℓ 缶入 400 g カートリッジ	乾燥型
, [セカイチョー シーラーVG	グ レ ー 白 ブラック	成型品	3 × 10 × 5 m 5 × 10 × 5 %	
	ティバ化工(株)	ブチルコークB-100	グレー	1 液	18 ℓ 缶入	
	(株) 日 與 社	プレンシール #750	グレー黒	1 液	18 ¢ 缶 330cc.カートリッジ	
	日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク #400G ゴムコーキング ニットーコーク #400T	グレー 4 色 グレー 黒	1 液 1 液 テープ状	20 ℓ 400cc.カートリッジ 18 ℓ チューブ 各サイズにより異なる	
	日東化成工業(株)	プラシール BGコーキング	グレー 白	1 液	20kg缶	
	バンドー化学(株)	バンシールF	黒	成型品	各種あり	
į	セメダイン (株)	ブチルシーラー 8090	グレー 黒 アルミ	1 液	20kg缶入 320ml カートリッジ	
		ボスコシール 310	グレー	1 液	18 ℓ 缶. 340cc. カートリッジ×25本	
	ボスチック・ ジャパン (株)	ボスコシール P-220 ク P-230	黒グレー	ヒモ状 成型品	3.5.10¢ 5×5 5×10 2×26 2×56 4×50 5×50他	

基剤	会 社 名	商品名	色	形状	荷姿,单位	特性
ブ チ ル	山内ゴム工業(株)	トップシーラー#300 #400 #500 #710	グレークルの黒	成形品	寸法各種	
	22 38 (88)	トップシーラー# 30	グレー	液状	18 g 缶入 330cc カートリッジ入	
	(44)	ソニーシーラント L6004	アルミグレー	1 液	300cc. 25本入 20kg缶入	
	ソニー ケミカル (株)		黒	ロール状	12ロール/カートン	
	モルナイト 興業 (株)	イソシール	グレーアルミ	1 液	330cc カートリッジ×35本	
		ニュキット	グレー	1 液	18 0 街	·
	関西パテ化工(株)	キットテーブ	グ レ ー	テープ状	各種サイズ	
	明星チャーチル(株)	スターコーキング R40	グレー	1 液	18 0 缶	施工時多く充塡,スレート目地 には使用しないこと
	横 浜 ゴ ム (株)	ハマタイト Y-7302-G	グレー	1 液	20kg缶 330ccカートリッジ	
アクリル	小野田建材 (株)	ユニコークアクリル	自	1 液	18 0	
	鐘 紡 合 成 化 学 (株)	ゴーレックス P-#4000	白 グレー アイボリー	1 液	26kg缶入	
;	(Hb) I are Me all also also	ボンド コークホワイト	白 アイボリー	1 液	500 g チューブ×30本 25kg	
	(株)小西 儀 助 商店	ボンドアクリルコーク	白 アイボリー	1 液	330カートリッジ×30本	
	三 洋 工 業 (株)	スリーラント	白	1 液	18 0 缶入	
	セメダイン (株)	アクリルシーラー 8400	自	1 液	18 f 街入 320m6カートリッジ	
,	世 界 長 (株)	セカイチョー シーラーEA	自	1 液	18 0 缶入	乾燥型
	中 外 商 工 (株)	ハイジョインターA	自 グレー	1 液	18 ℓ 缶入	
	ティバ化工(株)	アクリルコーク A-100	É	1 液	18 0 缶入	
	日東ポリマー工業(株)	エラスコーク	白 グレー	1 液	18缶 333ccカートリッジ	ALC版, PC版に好評
	日 東 化 成 工 業 (株)	プラシーラーEM15	白	1 液	22kg缶入	
	日立化成工業(株)	日立アクリル シーラーK―4800	白	1 液	18 0 缶入	,
	昭和石油 アスファルト (株)	アクリルエース	白	1 液	18 0 缶入	
	ボスチック・ ジャパン (株)	ボスコシール 410	白	1 液	18 @ 缶入	
	山内ゴム工業 (株)	トップシーラー#5000	白 グレー	1 液	18 @ 缶入	· .
	日本シカ(株)	アイガスアクリル		1 液	25kg缶入	
	関西バテ化工(株)	ハイトコーク	白	1 液	18 ℓ 缶人	
	明星チャーチル	スターコーキング Y―60	白	1 液	320cc.カートリッジ入	
シリコーン	栗 山 ゴ ム (株)	ロードシル			1 e 1/3 e	·
	(株) 小西儀助商店	ボンドスーパー シーラント	クリヤー 白	1 液	350cc×20本	
	サンスター 化学工業(株)	ペンギンシール シリコーン	白 クリヤー グレー他	1 液	350g×10本× 2	

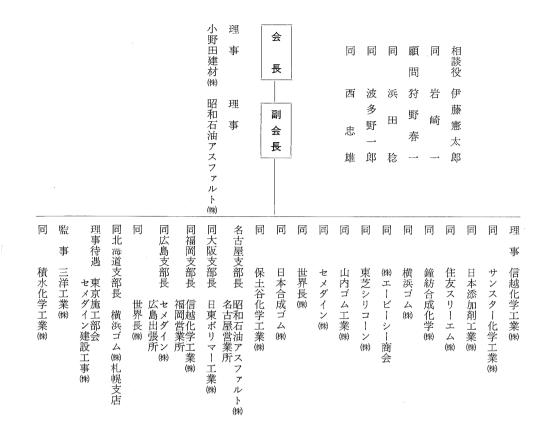
1					T			I	
基		剤	会 社 名	商 品 名	Œ.	形	状	荷姿単位	特 性
シ	シリコーン		信越化学工業(株)	K E -42R T V	透グアフロア Dア Bミ	1	液	350gカートリッジ	酢酸タイプ
			信越化学工業(株)	KE-43RTV	アンバー ア ル ミ	1	液	350gカートリッジ	低モジュラス 酢酸タイプ
				KE-45RTV	透グアア D ローーミ B アイボリー	1	液	350gカートリッジ	無酢酸タイプ
				KE-46RTV	グレー	1	液	350gカートリッジ	無酢酸タイプ 低モジュラス
				KE-70RTV	グ レ ー 白 アンバー	2	液	4 kg缶	
			セメダイン (株)	セメダイン シリコーンシーラン 8060 シリコーンシーラン 8065	グ レ ー 黒 アンバー クリヤー	1	液	320mℓカートリッジ /	
			ティパ化工(株)	シリコーン シーラント	グレー	. 1	液	330cc.カートリッジ ×10本	
			東芝 シリコーン (株)	トスシール 370 (TRE370RTV)	クリヤイド アワイバー グレバー ブラック	1	液	50g入 100g入チューブ 333ccカートリッジ	ガラス・一般建築用
				トスシール 371 (TSE371RTV)	クリヤー ホワイト アグレバー グルバッ ブラ	1	液	330cc.カートリッジ	一般建築用 低モジュラス JIS A5755 相当品
				トスシール 361 (TSE361RTV)	ホワイト ニュー トラル グレバー アンバー	2	液	1 Cポリビン 4 C 丸缶	低モジュラス 接着性 引裂き性にすぐれた一 般建築用
				トスシール 369 マスチックニュート ラル (TSE369RTV)		1	液	333ccカートリッジ	ブライマー不要塗装可能なシリ コーンシーリング材
•				プライマーME121 プライマーME123	微黄色			0. 5kg 0. 5kg	・ 金属を主とする一般用プラスチ ック用
			トーレ・シリコーン(株)	SH 780	白 グレー 黒 他			½ 0 カートリッジ12本	無酸タイプ:コンクリート,モルタルなどの石灰質材料,木材,鉄,銅などに適する
				SH 781	クリヤー 白, アルミ 他			"	酢酸タイプ:ガラス,タイル, ホウロウ,塗装アルミなどに適 する。
				SH 750	ライト グレー			"	無酸タイプ:JIS A5755 合 格品
				プライマーA	無 色			470㎝缶入り	金属用下地処理剤
				ブライマーB	淡黄色			"	コンクリートなどの下地処理剤
				プライマーC	無 色			"	ブラスチック用下地処理剤
			日東ポリマー工業(株)	ニットーシリコーン	5 色	1	液	333ccカートリッジ	
			鐘 紡 合 成 化 学	ゴーレックス P-A7000	グ レ ー ホワイト アンバー	2	液	4 θ (硬化剤共)× 4	
				ゴーレックス P-#7500	グ レ ー ホワイト ブラック アンバー	1	液	333ccカートリッジ	
S	В	R	セメダイン (株)	SBRシーラー8080	グレー	1	液	18 ℓ 缶入 320mℓ カートリッジ	
			バンドー化学 (株)	エボックス	グレー	2	液	16kgセット	低モジュラス
			山内ゴム工業 (株)	トップシーラーSB	グレー 白	1	液	18 0 缶入	
			日本合成ゴム(株)	JSRシーラント 330・350・360	グレー 白	1	液	18 ℓ 缶入	吸水性下地 用途 金属性下地 /

建築用シーリング材標準設計価格

区 分	積 算 基 準	目地寸法(巾×深さ)	材料価格	労 務 費	副資材	経費	計
油 性	13,000円/18 <i>0</i> 720円/ <i>0</i>	10\%\times 10\%\tag{10}\% 15\times 10\tag{20}\times 10\tag{20}\times 10\tag{20}\tag{20}\tag{20}\tag{25}25	72円 108 144 216	90円 100 120 140	20円 30 40 50	38円 47 56 74	220円 285 360 480
ボリサルファイド	5,600円/ ℓ	5 × 5 6 × 6 10 × 10 15 × 10 20 × 10	140 200 560 840 1,120	260 260 300 340 390	90 90 120 150 190	90 110 190 260 340	580 660 1,170 1,590 2,040
シリコーン 1液	6,000円/ Ø	5 × 5 10 × 7 15 × 10 20 × 10	150 420 900 1,200	260 300 340 390	90 120 150 190	100 160 270 350	600 1,000 1,660 2,130
シリコーン 2液	5,000円/ @	5 × 5 10 × 7 15 × 10 20 × 10	125 350 750 1,000	260 300 340 390	90 110 150 190	95 100 240 310	570 860 1, 480 1, 890
ブ チ ル・	950円/ 0	10 × 10 15 × 10	95 143	160 200	30 50	55 77	340 470
アクリル	1,000円/ 0	$\begin{array}{cccc} 10 & \times & 10 \\ 15 & \times & 10 \\ 20 & \times & 10 \end{array}$	100 150 200	160 200 230	30 50 60	50 80 110	340 480 600
ウレタン	3,000円/ @	$\begin{array}{cccc} 5 & \times & 7 \\ 10 & \times & 10 \\ 15 & \times & 10 \\ 20 & \times & 10 \\ \end{array}$	105 300 450 600	260 300 340 390	90 120 150 195	90 140 180 230	545 860 1,120 1,415
S. B. R	800円/ 0	$\begin{array}{cccc} 10 & \times & 10 \\ 15 & \times & 10 \\ 20 & \times & 10 \end{array}$	80 120 160	160 200 230	30 50 80	50 70 97	320 440 560

註 1. 本価格は目地延500m以上の場合とする。 2. ゴンドラ使用の場合は30%UPとする。

昭和49年度日本シーリング工業会機構表



委 員 会 構 成 表

委 員 会	委 員 長	副委員長	委員
総務委員会	日本添加剤工業㈱	ボスチックジャパン(株)	(㈱エービーシー商会 ・ (㈱) 日 興 社 三 星 産 業 (㈱) セメダイン建設工事(㈱) 小 野 田 建 材 (㈱) ・ 各 支 部 長
技術委員会	東芝シリコーン㈱	横浜ゴム㈱	(㈱エービーシー商会・日 本 合 成 ゴム(㈱) 昭和石油アスファルト(㈱・三 洋 工 業 (㈱) サンスター化学工業(㈱・信越化学工業(㈱) セメダイン建設工事(㈱)・住友化学工業(㈱)
広報委員会	鐘 紡 合 成 化 学 ㈱	山内ゴム工業㈱	信 越 化 学 工 業 (株) 小 野 田 建 材 (株) サンスター化学工業(株) 横 浜 ゴ ム (株)

分 科 会 構 成 表

分科会名	幹	事	副	幹	事	会員	会員数
油 性	三洋工業	(株)	三星	. 産 氵	能(株)	小野田建材(#) 鐘紡合成化学(#) 昭和石油アスファルト(#) 明星チャーチル(#) 志水パテ製造(#) サンスター化学工業(#) (#)エービーシー商会 三洋工業(#) (#)東京ポース工業社 建材化工(#) 日本添加剤工業(#) 日新工業(#) 関西パテ化工(#) ポスチック・ジャパン(#) アオイ化学工業(#) 中外商工(#) 明星チャーチル(#) 積水化業(#) 三星産業(#) (#)小西儀助商店	28社

			セメダイン(㈱) 世界長(㈱) タイホー工業(㈱) 日東ポリマー工業(㈱) モルナイト興業 (㈱) テ イ パ 化 工 (㈱) 日東化成工業(㈱) 三英ポリマー工業(㈱)	
ポリサルファイド	住友スリーエム(㈱)		小野田建材(株) 昭和石油アスファルト(株) 三英ポリマー工業(株) (株) 日 興 社 鐘紡合成化学(株) (株) エービーシー商会 明星チャーチル(株) (株)東京ボース工業社サンスター化学工業(株) 日本添加剤工業(株) 三 洋 工 業 (株) 積水化学工業(株) アオイ化学工業(株) (株)小西儀助商店三 星 産 業 (株) 世 界 長 (株) 日 本 合 成 ゴ ム (株) 日東ポリマー工業(株) セ メ ダ イ ン (株) 日東化成工業(株) タイホー工業(株) テ イ パ 化 工 (株) モルナイト興業(株) 横 浜 ゴ ム (株) 日 本 シ カ (株) 住友スリーエム(株) 関西パテ化工(株) ボスチック・ジャバン(株) 栗山ゴム(株) 日 本 化 成 (株) 中 外 商 工 (株) 日本ペルノックス(株)	32社
ウレタン	保土谷化学工業㈱	日本添加剤工業(株)	昭和石油アスファルト(㈱) 日 本 シ カ (㈱) 日 興 社 住友スリーエム(㈱) 日本化成(㈱) (㈱エービーシー商会 三英ポリマー工業(㈱) (㈱東京ボース工業社 鐘紡合成化学(㈱) 日本添加剤工業(㈱) 明星チャーチル(㈱) 山内ゴム工業(㈱) サンスター化学工業(㈱) (㈱小西儀助商店 三 洋 工 業 (㈱) 保土谷化学工業(㈱) アオイ化学工業(㈱) 世 界 長 (㈱) セメダイン(㈱) 日東ポリマー工業(㈱) モルナイト興業(㈱) 日東化成工業(㈱) (㈱バンデックス・ジャパン 横浜ゴム(㈱) 錦城ゴム(㈱) 武田薬品工業(㈱) 関西パテ化工(㈱) 日本曹達(㈱)	28社
アクリル	山内ゴム工業(株)	日東ポリマー工業(株)	昭和石油アスファルト(㈱) 鐘紡合成化学(㈱) 山内ゴム工業(㈱) 明星チャーチル(㈱) (㈱小西儀助商店 三 洋 工 業 (㈱) 世 界 長 (㈱) アオイ化学工業(㈱) 日東ポリマー工業(㈱) セメダイン(㈱) 日東化成工業(㈱) モルナイト興業(㈱) テンパ化工(㈱) ボスチックジャパン(㈱) 三 星 産 業 (㈱) 鐘紡エヌエスシー(㈱) 中 外 商 工 (㈱) 三英ポリマー工業(㈱) テイパ化工(㈱)	19社:
ブチル	世界長(株)	㈱小西儀助商店	(㈱日興社 三英ポリマー工業㈱ 山内ゴム工業㈱) 鐘紡合成化学㈱ (㈱小西儀助商店 鐘 栄 産 業 ㈱ 世界長㈱ 明星チャーチル㈱ 日東ポリマー工業㈱ モルナイト興業㈱ 鐘紡エヌエスシー(㈱) ソニーケミカル(㈱) ポスチックジャパン(㈱)	13社
シリコーン	信越化学工業㈱	トーレ・シリコ ーン(株)	トーレ・シリコーン(株) 世界長(株) 栗山ゴム(株) 信越化学工業(株) 東芝シリコーン(株) (株)エービーシー商会 ソニーケミカル(株) (株)小西儀助商店 日本合成ゴム(株) セメダイン(株) 日東ポリマー工業(株) サンスター化学工業(株)	12社
S B R	セメダイン(株)	日本合成ゴム㈱	小野田建材(株) バンドー化学(株) アオイ化学工業(株) 日東ポリマー工業(株) 日本合成ゴム(株) セメダイン(株)	6社

本 部 ・ 支 部 所 在 地

区 分	所	在	地	電 話 番 号
本 部	東京都千代田区外神田2一2一	27 共同ビル		03-255-2841
名古屋支部	名古屋市中区丸ノ内 1 ―17―19 昭和石油アスファルト			052—231—6568
大 阪 支 部	大阪市東成区東小橋1-18-1	松下ビル		06-976-2071
福 岡 支 部	福岡市博多区綱場町2-2 福 信越化学工業㈱福岡営業	岡第一ビル 所内		092—291—8442
広島 支部	広島市東雲本町 1 -15-22 セメダイン㈱ 広島出張	所内		0822-82-1471
北海道支部	札幌市南四条1-1-10 札楢	ビル内		011-521-2181

日本シーリング工業会 会 員 名 簿

正 会 員 52

	会	社	名	住	所	郵便番号	電話番号
	アオ~	1 化学二	工業(株)	広島県広島市安古市町下相田	,	731—01	08287—7—1341
	(株) エ ー	ビーシ	ー 商会	東京都千代田区永田町 2-	12—24	100	03-580-1411
	小 野	田建	材 (株)	// 中央区銀座 3-2-	-19 建築会館	104	// —567—8571
	鐘 紡	合 成 化	学(株)	// 品川区西五反田 7-	-22-17 東京卸売センター内	141	//
	近畿	化 成 工	業㈱	神戸市兵庫区芦原通 4-4	-1	652	078 - 681 - 2355
	栗山	ゴ、	ム (株)	東京都渋谷区南平台 15-13	3帝都渋谷ビル	150	03-463-1841
	建材	化	工 (株)	名古屋市東区舎人町 46 万	景ビル	461	052 - 931 - 0770 $03 - 370 - 0765$
	(株) 小	西儀助	商店	東京都中央区日本橋室町4- 大阪市東区道修町 2-6	-5 (近三ビル)	103 541	03—279—6765 06—203—3081
	サンス	タ 一化学	工業(株)	東京都港区三田 1-3-36	3	108	03-453-9301
	三英ポ	リマー	工業㈱	池田市木部町 639		563	0727-51-3128
	三 洋	エ	業 (株)	東京都江東区亀戸 6-20-	- 7	136	03-685-3451
	信越	化 学 工	業 (株)	東京都千代田区大手町2-6	一1 朝日東海ビル	100	//
	鐘 栄	産	業 (株)	// 中央区日本橋小伝馬町	3-5	103	//
	志水	パテ製	造 (株)	∥ ∦ 新宿区西新宿 3 ─12	2—6	160	//
	住友さ	スリーニ	エム(株)	// 世田谷区玉川台 2-	-33 1	158	//
	昭和石油	由アスファ	・ルト(株)	// 品川区南大井 1-7	— 4	140	$^{\prime\prime}$ —761— $^{4271}_{8379}$
	(株) ス	リーボ	ンド	// 八王子市狭間町 1456	5	192	0426611333
	セメ	ダイ	ン (株)	// 品川区東五反田 4-	-5-9	141	03-445-1311
	積 水	化学工	業(株)		-1 新宿三井ビル	160	//
	世	界長	(株)	// 渋谷区大和田町 52	新大宗ビル	150	//
	ソニー	- ケミコ	カル(株)	// 中央区日本橋室町 1	-6	103	//
	タイ	ホ ー エ	業(株)	// 港区高輪 2-21-44	Į.	108	//
	中 外	商	工 (株)	// 台東区東上野 3-22	2-1 上野第一ビル	110	// —834—6241
	ティ	パ化	工 (株)	大阪市東淀川区下新庄町2-	-263	533	06-328-1118
	東芝;	ノリコー	- ン (株)	東京都港区新橋 3-3-9	阪急交通社ビル	105	03-503-5561
	トーレ・	・シリコ・	ー ン (株)	// 中央区日本橋室町2-	- 8 三井ビル 6 号館	104	// — 243 — 1551
	(株)	日 興	社	// 江東区白河 4-9-	- 5	135	// 6427103
	日 新	エ	業 (株)	// 足立区千住東 2-21	.—28	120	//8822424
	日東	化成工	業 (株)	大阪市住吉区大領町 5-74	Į.	558	06-693-3561
		リマー		// 福島区中江町 OK-	- 8	553	// 4487421
	日本	化力	成 (株)	大和市下鶴間 2958		242	0462-61-7245
	•	合成ゴ		東京都中央区京橋 1-1	服部ビル	104	03-563-5111
-	日本		力 (株)	// 港区西新橋 1-11-	· · ·	105	// —591—2436
		:加剤工		// 千代田区岩本町 2-		101	// —861—6351
		化学工		// 千代田区九段北 4-		102	//
		ドー化		神戸市兵庫区明和通 2-1		652—91	078-681-6681
		· デックス・	-	東京都中央区八丁掘 2-27		104	03—552—6956
		ック・ジャ		パーチ代田区内神田 1-		101	// —294—4501
		分化 学二		// 港区芝琴平町 2-1		105	// —502—0171
			業 (株)	// 千代田区神田小川町		101	// -292-1961
		F + - 5		場 場市浜寺石津町中一丁 53 横浜市神奈川区三枚町 299-	·	592 221	0722—44—7500 045—383—4651
	山内	ゴムエ	業 (株)	東京都中央区八重州 3-2		103	03-273-1871
<u></u>	₩ I 1	1	₩ (N)		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	100	

カネボウ・エヌエスシー(株)	東京都千代田区平河町 2-8-2 エターナルモヴィル	100	03-263-4701
横浜ゴム㈱	// 港区新橋 5-36-11	105	// —432—7111
㈱東京ボース工業社	// 荒川区西日暮里 2-45-2	116	// —801—1151
モルナイト興業㈱	〃 新宿区市ケ谷田町 2-7	162	//2603231
日本特殊塗料㈱	// 足立区新田 2-11-4	123	// —912—1412
日本曹達㈱	// 千代田区大手町 2-2-1	100	// —211—2111
関西パテ化工㈱	東大阪市日下町 3-7-36	579	0729—82—2131
新東洋合成㈱	大阪府堺市築港新町 3-27	592	0722—44—7631
武 田 薬 品 ㈱	大阪市東区道修町 2-27	541	06-204-2481
日本ペルノックス㈱	神奈川県秦野市曽屋字曽屋原 175	257	0463-81-8250

賛助会員

会	社	名	住	所	郵便番号	電話番号
旭	ダ ウ	(株)	東京都千代田区有楽町	1-12-1 日比谷三井ビル	100	03—507—2961
(株) 新	和i	商会	// 荒川区西日暮里	2 - 30 - 5	116	// —803—1411
東レチ	オコー	- ル (株)	// 中央区日本橋本石	i町 3-6 日本橋室町ビル	103	//2700111
長 瀬	産	業 (株)	// 中央区日本橋小舟	·町 2-3	103	// —662—3111
日本.	石油 化	学 (株)		- 3 - 12 日石本館	105	// —502—1561
(株) 野	村 事	務所	// 千代田区内幸町	2-2-3 国際ビルディング 3 号館 6 F	105	//
フ	= -	(株)	// 墨田区業平 4-	-4-11	130	// 625—3370
日本バ	クアッフ	プ工業(株)	// 中野区中央 1-	-12 9	164	// —369—0215
白 石	工	業 (株)	// 中央区日本橋室町	1-2-4	103	// —241—1321
化研一	アテリア	アル(株)	// 港区西新橋 3-	-6-5 入江ビル	105	// —432—7654

東 京 施 工 部 会 員 γŞ

	会	社	名		住	所	電話番号
東	都	シー	- ル	(株)	東京都豊島区北大塚	3 —14—10	03-918-6924
清	起	エ	業	(株)	// 立川市錦町	6 —28—33	0425-26-0231
B	新	建	エ	(株)	// 荒川区南千住	6 —48—19	03-803-2411
日	光	興	業	(株)	// 千代田区神田和	和泉町 1-4	// —866—2707
曰	倉 建	材	工 業	(株)	// 北区豊島 2-	-25-11	// —919—6907
光	栄	エ	業	(株)	// 練馬区上石神	井 1 —432	// —928—2271
細	田	エ	業	(株)	// 港区芝大門	2 - 1 - 8	// —432—8731
(株)	ワール	/ ド:	シーラ	-	// 台東区台東	1-6-3 東神ビル	//8344461
(株)	大	栄	興	業	// 練馬区大泉学	園町 5487	// —924—2865
並	和	エ	業	(株)	// 台東区台東 ·	4 —30—10	// —831—7563
=	松	工	業	(株)	// 杉並区上高井戸	戸 1-3-14 日栄ビル	// —304—5316
石	黒	建	材	社	// 練馬区東大泉	町 424	// —922—1571
理	建	シー	- ル	(株)	// 墨田区江東橋	2-8-8 パークサイドビル	//6314081
興	進	工	業	(株)	// 新宿区西新宿	7 — 16 — 3	// -363-8741
緑	Ш	工	業	(株)	// 練馬区関町	4 —529	// —928—5531
マ	サ .	ルコ	二業	(株)	// 江東区佐賀	1 - 9 - 14	//6435911
泉	エ		業	(株)	// 港区新橋 3-	-3-5	//5022861
大	和	興	業	(株)	// 大田区池上	7 —30— 5	// —758—0342
(株)	丸	福	産	業	// 江東区北砂	2 —15—31	// —648—4711
高	萩	興	業	(株)	// 江戸川区西小岩	岩 1-27-22	//6505261
ア	ルフ	ア	産業	(株)	// 港区芝浜松町	1 11 11	// —432—5735
セ	メダイ	ン 建	設工事	(株)	// 港区白金台	2 —11— 6	// —447—1665
大	和	工	業	(株)	// 荒川区南千住	5 — 5 —10	//802-4751

伊藤建材(株)	// 台東区西浅草 2-15-9	// —842—1431
瀝 青 建 材 ㈱	// 千代田区神田佐久間町河岸 51	// —861—2706
マサル瀝青工業㈱	// 台東区北上野 2-21-10	// —842—6311
三 和 工 業 ㈱	千葉県市川市相ノ川 1271	0473-57-5153
中央建材工業㈱	東京都中央区銀座 7-14-3 安田松慶ビル	03-543-8106
日本トライ㈱	// 新宿区四谷 2−11 ロングビル	//3536573
三 和 工 材 (株)	// 中央区日本橋本町 4-8	// —663—8737
トップ工業㈱	// 大田区大森北 3 −13−1	// 762 3461
山 形 防 水 ㈱	# 渋谷区幡ケ谷 2-27-9 三共ビル	//
山 栄 興 業 ㈱	// 渋谷区恵比寿南 2-21-11	// 7130171
(株) 栗 崎 工 業	// 葛飾区西亀有 2-56-6	//6204901
トーシン工業㈱	// 北区浮間 4-12-18	// —966—9541
昭 和 工 業 ㈱	// 新宿区四谷 2-3	// —353—3675
プレハブ防水㈱	·/ 調布市若葉町 2-23-30	// —308—2371
(株) 神奈川オギノール	神奈川県横浜市西区北幸 2-9-32	045-312-6001
(株) 新堂	東京都千代田区神田佐久間町 3 ―21 宮地ビル	03—866—7468
東邦シール㈱	// 文京区後楽 2-17-5	//8153047
矢島建商(株)	// 千代田区神田神保町 3-4	//2655689
ピーシー理化工業㈱	// 豊島区東池袋 3-21-18	// —985—6271
田代興業㈱	埼玉県所沢市松葉町 2-7	0429-23-8008
(領) 日本コーキング	東京都江東区豊洲 4-4-24	03—531—7821
タイガー工業㈱	// 品川区戸越 5−14−9	// —783—0151
第一建材工業㈱	# 豊島区東池袋 3-23-11	// —981—8982
東邦防水総業㈱	// 中央区八重洲 2-3	// —271—0176
協和シーリング工事㈱	宇都宮市若草町 2727	0286—24—7072

名古屋支部正会員 24

	5.4,	
会 社 名	住所	電 話 番 号
アオイ化学工業㈱	名古屋市昭和区池見町 1-159	052-831-9950
㈱エービーシー商会	// 中区栄 4-3-26	//
小野田建材㈱	// 中村区西柳町 1-1-2	// —581—7411
鐘紡合成化学㈱	ッ 中村区泥江町 3-5 鐘紡ビル	// —581—1291
建 材 化 工 ㈱	// 東区舎人町 46 万景ビル	// —931—0765
サンスター化学工業㈱	// 中村区若狭町 1 <i>-</i> 27 ニューワカサビル	// —581—4408
三 洋 工 業 ㈱	// 緑区鳴海町字母呂後 26	//6230061
昭和石油アスファルト㈱	// 中区丸の内 1 <i>―</i> 17―19 長銀ビル	// —231—6568
信越化学工業㈱	// 中村区広小路西通り3-19-4新名古屋ビル東館	//5816511
住友スリーエム㈱	// 中区大須 1-7-26 音羽ビル	// —221—7611
世界長(株)	// 東区矢田町 8-20	// 722 3301
積水化学工業㈱	// 中村区堀内町 4 — 1 毎日ビル	// —541—8471
セ メ ダ イ ン (株)	// 千種区井上町 34	// —781—3166
タイホー工業㈱	// 中区錦 3 -13-29 明乳ビル	// —961—4112
中外商工(株)	// 中村区若狭町 1-12	// —582—3836
東芝シリコーン㈱	// 中区栄 2 <i>—</i> 10—19 商工会議所ビル	//2217111
トーレシリコーン㈱	// 中村区堀内町 2-32 堀内ビル	// —563—3951
日瀝化学工業㈱	// 港区南十一番町 2-6	// —661—8251
日 新 工 業 ㈱	// 千種区千種通り 2-19 岐阜正ビル	//7416257
日本添加剤工業㈱	// 中村区太閣通り 2-40 フタバビル	// —451—8682
三 星 産 業 ㈱	// 東区東新道町 2-10 第2大野ビル	// —931—3390
明星チャーチル㈱	// 中区橘町 6-9 セントラルビル	// —332—1427
山内ゴム工業㈱	// 中村区泥江町 1-24 中経ビル	// —561—5401

// —231—6221 // —563—6171 0542—59—2333

名古屋支部施工部会員 30

会 社 名	住	電話番号
(制) 静岡コーキング工業	静岡市西脇 748-1	0542—82—9823
不 二 化 成 品 ㈱	// 長沼 709—1	0543-45-7281
(株) 志 水 化 工	名古屋市西区稲生町 3-44	052—531—5295
津田硝子㈱シーリング部	// 昭和区一つ山 1-2	// —801—1195
(#) 中 部 瀝 青	春日井市ことぶき町 8-1	0568—81—2120
大 池 建 工 ㈱	名古屋市中区丸の内 2-2-5	052—211—1885
東海物産㈱	// 千種区若水町 2-73-2	// 7212211
(合)清谷商店名古屋出張所	// 中村区五反城町 3-1	//
朝日コーキング	// 中川区柳堀町 1 ─42	// —351—0289
エイト工業㈱	// 東区石町 1-17	// —962—1939
名 岐 建 材 社	岐阜市鷺山 1026―4 森ビル	0582—31—9327
(a) 加藤防水工業	名古屋市中区王子町 3-3	052—261—1997
石 渡 産 業 ㈱	沼津市神田町 2-1609	0559—21—6061
三 信 建 材 工 業 ㈱	豊橋市鴨田町 52-1	0532-45-8211
(株) 仙 額	名古屋市熱田区横田町 1-27	652—671—2437
大 信 工 業	愛知県海部郡甚目寺町山の浦	0560—44—8021
石動コーキング㈱	富山市柳町 4-1-9	0764—31—8966
(株) 栗 原	金沢市増泉町ハ 57-3	0762—42—5101
(株)メイトー名古屋営業所	名古屋市中村区大日町 2-64	052-461-2128
ソフランシール防水㈱	// 中川区八幡本通 1-9	// —353—3486
日本化成工業㈱名古屋営業所	// 中村区本山町 3-9	// —762—1596
森 建 材 商 行	// 中村区塩池町 1 ─10─6	// 461 1029
中村コーキング店	// 昭和区車田町 2-8	//
川合コーキング	豊橋市西口町元茶屋 92	0532—54—8826
フジエ業(株)	名古屋市北区石園町 3-21	052—991—4741
匍 三 栄 コーキング	// 北区志賀本通 2-24	// —981—2134
㈱ 大 三 建 工	豊橋市東新町 338	0532—53—3177
中央建材工業㈱	名古屋市千種区若水町 3-26	052—761—6181
㈱ 隆 志 建 工	愛知県西春日井郡師勝町六ツ師 500	0568—21—0794
丸協ガラス	富山市総曲輪 4-10-4	0764—25—3261

大阪支部正会員 31

会 社 名	住	所	電 話 番 号
小野田建材㈱	大阪市北区梅田町 2	第一生命ビル	06-341-0037
バンドー化学㈱	神戸市兵庫区芦原通り	4 - 1	078-681-6681
㈱ 小 西 儀 助 商 店	大阪市東区道修町 2-	-16	06-203-3081
トーレシリコーン(株)	// 北区小深町 3-	- 1 阪急ターミナルビル	// —373—6801
東芝シリコーン㈱	// 東区本町 3-2°	7―1 センバセントラル	//2516272
信越化学工業㈱	// 北区小松原町 2	7 富国ビル	//3133141
ソニーケミカル ㈱	// 北区西堀川町 1	8 高橋ビル	// 3632071
山内ゴム工業㈱	枚方市招提田近 2-7		0720-56-1131
横浜ゴム㈱	大阪市北区堂島中 1-	-27 堂島第一ビル	06-345-1421
住友スリーエム㈱	// 東区南本町 2-	-41 三輪ビル	// —262—1641
サンスター化学工業㈱	高槻市明田町 7-1		0726-84-0882

世		界		長		(株)
ア	オ 1	化化	学	I.	業	(株)
日	東	化	成	工	業	(株)
テ	1	パ	1	Ł	エ	(株)
	英 ポ	リ	マ -	- I	業	(株)
	外					
Ξ	洋		I.	業	ŧ	(株)
志	水	パ。	テ	製	造	(株)
明	星ぅ	F t	_	チ	ル	(株)
\equiv	星	: .	産	業	į.	(株)
日	本 浓	5加	剤	工	業	(株)
力	ネボ	ウェ	マ	エ	スシ	_
日	新	:	工	業	ŧ	(株)
タ	1	ホ	_	エ	業	(株)
セ	×	ダ		1	$\boldsymbol{\gamma}$	(株)
昭	和石	油ア	ス	ファ	ルト	(株)
(株)	I -	· Ľ	- :	シー	- 商	会
日	東ボ	・リ	マ・	- Л	業	(株)
新	東	洋	1	合	成	(株)
武	田	薬	딞	工	業	(株)

西宮市津門大箇町 8-39	0798-35-1741
大阪市港区弁天2丁目 1-8-113	06—572—7677
n 住吉区大領町 5-74	// —693—3561
大阪市東淀川区下新庄町 2-263	063281118
池田市木部町 639	0727—51—3128
大阪市西区靱本町 1-49	06-443-7321
// 大淀区豊崎西通 1-6	// —372—4638
// 都島区都島北通り 2 ─19─27	// —921—3078
堺市浜寺石津町中 1-533	0722-44-7500
大阪市西区江戸堀 1-126	06-443-9721
// 西区江戸堀北通 1―69 日々会館ビル	// —443—6231
// 都島区友淵町 1-3-80	//9211231
// 東淀川区瑞光通 4 ─30─2	// —329—7737
〃 北区岩井町 2-13 第二新光ビル	// —358—1991
// 南区大宝寺町東之丁 41	// —251—3555
〃 北区梅田町 27 産経ビル	// —341—6395
11 東淀川区西中島 4-8-3	// —303—1171
// 福島区中江町OK8	//4487421
堺市築港新町 3-27	0722-44-7631
大阪市東区道修町 2-27	06—231—3431

大阪支部施工部会員

	会	社	名		住	所	電 話 番 号
白	洋	建	材	(株)	大阪市都豊区都島本通	2-15-1 宝コーポ	06-924-2536
大	阪ユ	=	ロン	(株)	// 福島区亀甲町 1-	-71-2 ユニロンビル	// —448—2341
·Ξ	大	工	業	(株)	// 西区京町堀 4一7	78 同盟通信第二ビル	//4480450
(株)	大	反	シー	ル	// 北区滝川町 69		// —352—2895
美	作	I.	務	店	守口市八雲西町 4-69		// —993—4039
藤	川		商	店	大阪市福島区上福島北	1-78 北ービル	// —458—2688
日	東	I.	業	(株)	大阪市住吉区山之内町	2 - 34	// —692—4641
城	内		商	店	富田林市彼方 1210—17		07212— 4 —1095
富	士 防	水	工 業	(株)	伊丹市南野字南ノ口 402	2—10	0727— 81—2480
大	信 防	水	工 業	(株)	神戸市長田区萩乃町 1-	-734	078-621-4880
(有)	協栄	化	岁 防 水	社	姫路市大津区天神町 1-	-15	0792— 39—4110
建	和	産	業	(株)	大阪市西区北堀江町上通	3 -85-5	06—541—3671
(有)	大 阪	防 2	ト 工 業	所	// 北区西扇町 17	扇町ビル	// —312—1915
日	添	工	業	(株)	// 浪速区東関谷町	2-30-3	// —631—8915
松	下 防	水	工業	所	// 東淀川区豊里町 9	914	//3285106
神	戸	建	設	(株)	伊丹市荒牧字桑田 60		0727— 81—5189
協	和	I.	業	(株)	姫路市西夢前台 1-71		0792— 66—1606
三	幸	物	産	(株)	大阪市住吉区万代西 2	-34	06-671-2498
共	弘	産	業	(株)	// 東区本町 5-4	広和ビル	// —262—5845
安	芸	工	業	(株)	徳島市富田橋 3 -35-	2	0886— 25—2727
(有)	高 :	分	子 工	材	高松市浜の町 298―14		0878— 21—3010
ゼ	ネラ	ル	化 成	(株)	大阪市西区靱本町 2一	30 飾大ビル	06-441-4502
富	士	(Ł	成工	業	// 城東区野江 3 —	2 - 2	// —939—7149
日	本シー	ラン	/ ト工業	纟(株)		3-24 山田ビル	//5322915
美	星	I.	業	(株)	神戸市北区鈴蘭台西町	4 - 2 - 26	078—591—2189
播	磨		商	会	尼崎市今北字池上町 13		06-419-1932
エ	マ -	ル	工業	(株)	大阪市住吉区杉本町 2	—109	//6986135

大阪支部施工部会員

	会	社	名	住	所	電 話 番 号
(株)	東	洋	防 水	// 阿倍野区松崎町	3 - 6 - 10	//6213741
建	和	エ	事 (株)	// 西区北堀江上通	3 -85-2	// 541 3671
Ξ	洋	建	材 (株)	// 大正区北恩加島	町 62	// —551—0587
昭	和	工	事 (有)	京都市伏見区桃山丹下	38—24	075-642-2354
昌	光	産	業 (株)	大阪市北区堂島中 2-	-44	06-341-8055
松	田	商	店	門真市大倉町 16-14		// —901—0868
大	阪アル	ファ原	産業(株)	大阪市淀川区西中島	4-6-30-303号 チサン第5ビル	// —301—5235
相	和	商	会	// 住之江区安丘	3 - 3 - 9	// —672—1278
(有)	豊労	きシ	ール	大阪府南河内郡美原町	太井 549—5	0723— 61—5572
八	尾コ	- +	ング	八尾市久宝寺 5-4-	-31	0729— 91—1877
興	和	エ	業 (株)	大阪市西区靱本町 4-	-80 第5奥内ビル	06-541-3280
(株)	大 一	防水	工 業	大東市寺川 2-1-	1	0720— 71—8951
日	本 化	成 工	業(株)	吹田市南金田 1-4-	-46	06-385-3886
(株)	テン	/ ジ	ョウ	神戸市生田区相生町 :	5 —36— 3	078-577-2451
飯	田	商	会	守口市長池町 16		06-996-6609
(株)	京 者	ß シ	ール	京都市東山区山科日ノ同	岡石塚町 29-4	075—593—4364
中	井 シー	- ル エ	業社	八尾市松山町 1-7-	-1	0729 926020
H	本 三	立産	業(株)	大阪市北区金屋町 2-	-39 ササヤビル	06—351—5846
(有)	ノゾュ	- 技研	工業	// 平野区長吉長原列	東 1 − 6 −10	// —708—7651
東	大 阪 :	ノール	商会	東大阪市六万寺町 3-	− 6 − 31	0729— 82—7887
(株)	Ц	1	建	高槻市春日町 34-2		0726— 73—1620
吉	村コ	- +	ング	大阪市住吉区住吉町 2	29	06-673-4177

福岡支部正会員 16

会	社	名		住		所	電	話番号	
アオイ化学	学工業㈱	福岡営業所	福岡市博	亨多区下 月降	男久保田町	1933	092-	-4113175	
(株) エービー	シー 商 会	福岡出張所	// 博	多区博多	7前 3—10	0—24	// -	-451—5541	
小野田列	車材(株)	福岡営業所	// 博	9多区博多駅	7前 1—3—2	2 博多八重洲ビル	//-	-4515081	
㈱小西儀	助商店	福岡出張所	// 南	区清水 3	3 —24—11		// -	-551—1761	
サンスター们	2学工業㈱	福岡営業所	// 博	享多区博多 屬	₹南 6-7	·—15	// -	-451—2229	
三洋工	業(株)	福岡営業所	// 博	享 多区大字板	反付 866		//	-581-3438	
昭和石油アス	(ファルト(#福岡出張所	// 博	享 多区綱場町	了 2番2	福岡第一ビル	//	-2910008	
信越化学	工業㈱	福岡営業所	// 悼	多区綱場	了 2番2	福岡第一ビル	// -	-2918442	
住友スリー	- エム(㈱	福岡営業所	// 中	・央区那の川	2-9-	-22	// -	-521—2861	
㈱スリー	ボンド	福岡営業所	// 中	央区渡辺通	2-3		// -	741—5015	
セメダ・	イン(株)	福岡出張所	// 中	央区大名	1 - 5		//	-741—7188	
中 外 商	工(株)	福岡出張所	// 南	区上若久	315		// -	-5617072	
テイパ化	工九十	州 販 売 ㈱	// 南	区長丘 5	-11-16		// –	-561—1675	
東芝シリコ	コーン(株)	福岡出張所	// 中	央区長浜	2 - 4 - 1	東芝商事内	// -	-721—5211	
三 星 産	業(株)	福岡出張所	// 中	央区天神	4 - 1 - 18	3 サンビル4階	// —	-7813361	
横浜ゴ	ム (株)	福岡支店	// 博	多区中洲	5 - 6 - 20)	//	-281—7631	

施工店名	住 所	電 話 番 号
石橋防水工業㈱	福岡市博多区大博町 5-2	092—281—4148
日 高 防 水 ㈱	佐賀市赤松町 11-11	09522 4 0854
日本化成工業㈱九州営業所	福岡市博多区博多駅前 3-10-18	092-441-6602
日本シーラント工業所	// 中央区渡辺通り 2-8-3	//7415050
特殊防水工事㈱	長崎市片渕町 3 —1054	0958— 21—1742
川 島 伊 三 郞	福岡市東区香椎御幸町 3-17	092—681—1726
高 宮 建 材 ㈱	長崎市西坂町 1-4	0958— 26—6136
第一防水工業㈱	// 竹の久保町 11-7	// — 61—8818
ソフラン防水工事店	鹿児島市紫原 3-204 BL	0992— 52—0308
津 上 産 業 ㈱	北九州市八幡西区鷹ノ巣 2-10-19	093-621-2161
長崎防水工業所	長崎市本原町 33-13	0958 449580
武 藤 工 業 所	福岡市西区昭代 3-2-5	092—851—0111
野 田 工 業 所	// 西区大字荒江 43— 1	// —271—3681
山 崎 商 会	鹿児島市永吉町 1156	0992— 55—2054
山崎工業㈱	北九州市小倉区大門 2-2-2	093-581-5138
マグナエ業㈱延岡支店	延岡市昭和町 2 —2237	09823— 2 —4961
小 林 商 事 예	福岡市南区清水町 3-11-12	092-541-8650
エアタイトセンター	// 中央区薬院 2-6-24	// —781—7071
ティパ化工九州事業部	// 南区長丘 5-11-16	// —561—1675
テッヤエ事店	熊本市水前寺町 4-20-35	0963— 62—4629
青盛建材㈱	福岡市博多区上牟田 1-18-23	092—411—6511
アルファ産業 ㈱ 福岡出張所	# 博多区博多駅前 3-9-5 チサン博多ビル316号	// 451 1073
(剤) サンシール工業	大分市大字小池原 1684	0975— 58—5411.
㈱ 北 原 建 材 商 会	鹿児島市草牟田町 3980	0992— 23—9395
九州特殊工事㈱	福岡市博多区大学通り 1 ―52	092—611—0426
九州コーキング工業所	北九州市小倉北区木町 1-4-7-103	093—561—3766
㈱三ツ星建材産業	大分市王子北町 2-3	0975— 34—3007
㈱ 南 九 州 エービーシー商会	鹿児島市宇宿 3-39-19	0992— 53—7766
昭和防水工業(株)	福岡市博多区博多駅前 3-10-18	092-431-1720
昭 栄 工 業 ㈱	北九州市小倉北区清水 1-12-14	093—581—2655
新建㈱	鹿児島市荒田 1-16-18	0992— 51—0001

広島支部正会員 /位

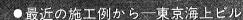
会 社 名	住	所	電話番号
アオイ化学工業	* 広島市安古市町大字相	III	08287— 7 —1341
㈱ エービーシー 商 会 広島出張	所 // 鉄砲町 1-20)(第三ウエノヤビル内)	0822 213096
小野田建材㈱広島営業	所 // 紙屋町 2-2-10 /	小野田セメント広島支店内	// - 48-0743
栗 山 ゴ ム ㈱ 広島営業	ゲ // 稲荷町 3-9		// — 62—2171
㈱ 小 西 儀 助 商 店 広島出張	所 // 天満町 3-14	4 渋谷ビル内	// — 92—5240
三 洋 工 業 ㈱ 広島営業	所 // 曙町 4−50		// 61-9321
サンスター化学工業㈱ 広島営業	所 // 瀬の川町大字中	野字大野3049	08289— 2 —1177
信越化学工業㈱広島出張	所 広島市中町 7-32	日本生命広島ビル内	0822— 48—3931
(株) スリーボンド 広島支	5 // 東千田町 1-	- 3 ―12 葵ビル	// — 45—2487
住友スリーエム(株) 広島営業	所 // 八丁掘 15—8		// — 21—9311
セメダイン(株) 広島出張	所 // 東雲本町 1-	-1522	// — 82—1471
東芝シリコーン㈱広島出張	所 // 紙屋町 1-2	-22 広電ビル	// 47-9311
明星チャーチル㈱広島営業	所 // 比治山町 5-	-12	// — 61—1872
横浜ゴム㈱ 広島支店工業品	果 // 観音本町 1-	7 —22	// — 32—4101

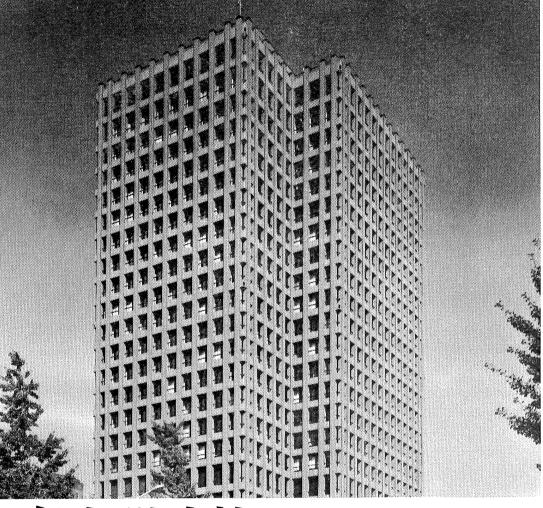
広島支部施工部会員

会 社 名	住 坊	電話番号
<広島地区>		
青盛建材(株)	広島市舟入幸町 19-10	0822—92—3200
青 山 工 業 ㈱	// 宇品御幸 3-13-11	// 5.53131
三和防水工業㈱	// 東雲本町 2-4-21	// 83-3366
(#) サンゼオン防水工業所	// 横川町 2-4-6	// —91—1631
昭 和 工 業 ㈱	// 白島九軒町 14-5	// —28—4401
中国特殊防水産業働	// 中広町 3-11-9	// —31—9958
中国富士化工建設㈱	// 西平塚町 4-29	//410656
マルエス工業㈱	// 宝町 8-26	// 437474
旭 建 材 工 業 ㈱	// 竹屋町 4-23	//433158
アルファ産業㈱ 広島出張所	// 八丁掘 12—23	// —28—1161
㈱ 三 洋 技 建 広島出張所	// 庚午南 1-3-30	// —71—9317
日 東 防 水 ㈱	// 翠町 1138—4	// —51—5275
豊 永 建 材 ㈱	// 若草町 9-14	// 616371
三篠防水工業所	// 祗園町長束 1949	// —39—1350
福永建材工業예	福山市御船町 1-11-7	0849—23—4019
(株) 佐藤忠七商店	尾道市東尾道 9-2	0848—46—0379
<岡 山 地 区>		· ·
東中国防水工業㈱	岡山市原尾山 580—1	0862—72—1221
(株) 小 野 甚 商 店	// 丸ノ内 1-13-13	// —25—4868
日 化 工 材 (株)	// 表町 2-6-21	// —25—2021
大和防水(株)	// 矢坂 2376—10	// —52—2642
(郁)エスケー防水工業	// 乙多見 79	// —79—3201
<愛媛地区>		
(株) 山 本 商 会	松山市三番町 7-8-1	0899—31—6261
㈱マルマス河野商店	今治市共栄町 4-5-2	0898—32—5000
<高知地区>		
御高知防水センター	高知市天神町 10—18	0888—32—5530

北海道支部正会員 /0

会 社	名		住	所	電話者	番 号
(㈱) エービーシー 商 会	札幌出張所	札幌市中央	:区南三条西十三丁	目 柴田ビル	011-231-	-7904
小野田建材㈱	札幌出張所	// 中央	:区大通西十四丁目	山田ビル	//221-	-5855
三洋工業㈱	札幌営業所	// 白石	区南郷通二十一丁	目南十四	//781-	-5155
信越化学工業㈱	札幌出張所	// 中央	:区北一条西五丁目	北一条ビル	//221-	-6471
住友スリーエム㈱	札幌営業所	// 中央	:区南一条西一丁目	有楽ビル	//231-	-2541
セメダイン(株)	札幌出張所	// 中央	区南十一条西八丁	目	//511-	-9161
積水化学工業㈱	札幌営業所	// 中央	:区北一条西三丁目	三和ビル	// —281-	-3311
日本シカ㈱	札幌出張所	// 中央	区北二条西四丁目	三井ビル	// —251-	-7904
日本添加剤	工業㈱	// 中央	区北一条東九丁目	潮物産ビル	// —261-	-8271
横浜ゴム㈱	札幌支店	// 中央	区南四条西一丁目	第一札樽ビル	//521-	-2181





気密・防水性のよさは 豊富な施工例が実証します。

超高層ビルの建設には高性能シーリングコンパウンドが要求されます。どんな物質にも強力に接着し、長期間弾性を失わない<ハマタイト>は、振動や気温の変化によって生じる接合部の膨張・収縮差を完全に吸収。気密・防水シールを実現します。<ハマタイト>のすぐれた品質は、豊富な施工実績が実証しています。

■主な施工例

日本銀行本店、新日本製鉄本社ビル、朝日東海ビル、 国立劇場、関内駅前ビル、興銀ヤンマー合同ビル、 大阪国際ビル、NHK放送センター、新宿三井ビル、 東京海上ビル、興銀麴町ビル

パスタイト 《シーリング"コンパウンド》

YOKOHAMA

横浜ゴム株式会社 工業品事業部 東京都港区新橋5丁目36番11号 〒105 TEL03(432)7111(大代表)

HPC工法防水工事施工 ・大日本イ・東田会局・東芝・日日本本・日日本本・日日本添・三菱レ東日本建株式 東日本建株式 東京都法谷田

- 日本住宅公団豊島5丁目団地
- ●日本住宅公団検見川団地
- ●日本住宅公団港南台団地
- 大日本インキ化学工業株式会社
- 東亜合成化学工業株式会社
- ●東芝シリコーン株式会社
- ●日本合成ゴム株式会社 施工代理店
- ●日本シカ株式会社
- ●日本曹達株式会社
- ●日本添加剤工業株式会社
- ●三菱レイヨン株式会社

東日本建設防水協同組合員

株式会社 ジックス

東京都渋谷区代々木1-28-1 四 370-0121(代)

建設業者登録(よ)第10165号

営業種目

株式会社 志水化工

代表取締役 小川雅也

名古屋市西区稲生町 3 -37-1 TEL 052 (531) 5 2 9 5 (代)



一貫責任施工

防水・各種シーリング工事

塗装・アクリルリシン・タイル吹付工事

ALC·取付工事、設計及施工

ALC・外壁のシーリング及塗装に関し 特に一貫施工を行って居ります



銀座・江島屋ビル ALC目地コーキング、外部アクリルリシン吹付工事

三和工材株式会社

住所 電話 東京都中央区日本橋本町4-8 営業部-03(663) 8737~9 管理部及休日·夜間専用-8730

株式 会社 神奈川オギノール

代表取締役 **新 井 湊** 横浜市西区北幸 2 丁目 9 番地32号 電 話 045 (312) 6001 〒 220 超高層ビルでも証明された堅実な施工

東京都知事許可(船-48)第7033号

油性コーキング 弾性シーラント

責任施工

大和興業株式会社

代表取締役 淵上 正 東京都大田区池上 7 - 30 - 5 電話 03 (758) 0 3 4 2 ~ 3 番

営業種目	プレハ	ブ防水工事	· ゥ
各			
種	代		多
			ン
1 電話:	業	0429-22-95	及
	番号	U423-22-33	各
×	称		種
グ	入 会		樹
	社		脂
事	= =< \n		防
埼玉	是所次市社	公葉町2の7	7 K

各種シールエ事

- コーキング工事
- ■軽量気泡コンクリート 目地コーキング

緑川工業株式会社

代表取締役 村田利明

東京都保谷市東町 4-10-8 電話 0424 (22) 4976

東京都練馬区関町 4 - 5 2 9 電話 03 (928) 5531 (代) 事業所

進歩のために読む!

月刊

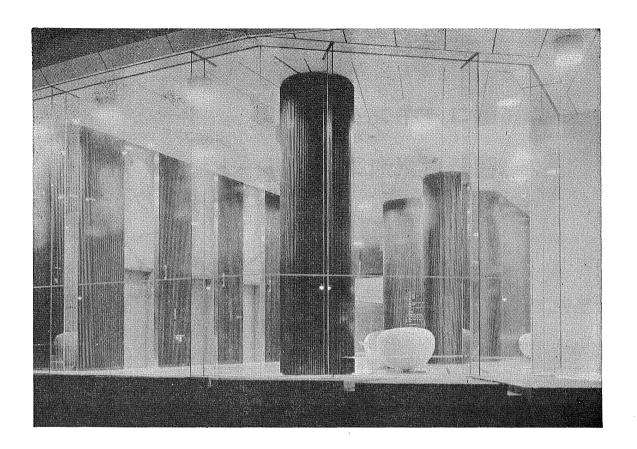
防水兰中一十山

■わが国唯一の防水専門誌。

購読料1部1年 7,200円 (送料とも)

21 新樹木

東京都中央区銀座7-12-5 TEL03(542)9324代 振替口座·東京102983番 取引銀行・三菱銀行銀座 三和銀行蒲田 三井銀行新橋



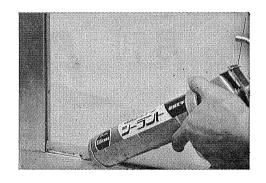
簡単な作業で完璧なシーリング

〈信越シリコーン・シーラント〉は、室温加 硫型の弾性シーリング剤です。一液タイプで すから、硬化剤添加などの手間はいっさい不 要。いつでもどこでも簡単に使えます。

毒性がなく、ガラス、金属、木材、石材、コ ンクリートなど、どんなものにも強力な接着 力を発揮します。特に、ガラスと同じ珪素が 主成分ですから、ガラスと完全にくっつき、 ガラスの美しさをひきたてます。

ゴム状ですから、弾性、ひずみ復元性に富み カーテンウォール工法など、近代建築に最適 です。もちろん気密性は完璧、耐候性も極め

て良く、耐用年数も他の材料より格段にすぐ れています。





- 信越化学/東京都千代田区大手町2 「無磁化学/果界都十代出区大学的 2 - 6 - 9 - 生業 樹脂 部/電話(03) 242 - 1 2 1 1 ● 名古屋営業所/電話(052)581 - 6 5 1 1 ●新潟 営業所/電話(052)47 - 9 9 4 6 ● 北海道出張所/電話(012)241 - 8 8 2 3

- 6-1(朝日東海ビル) 〒100 電話 (03) 242-1211 2 1 1 ・大 阪 支 社/電話(06) 313-3 1 4 1 5 1 1 ・福 岡 営業所/電話(092) 29-8 4 4 2 3 2 1 ・北陸 営業所/電話(0776)26-1 5 5 1 9 4 6 ・仙 台 出張所/電話(0222)23-8 4 6 1

カ**な**ボウ®



シーリング材シリーズ

油性コーキング材……P-# 320 ブチル系(無皮膜性)コーキング材…P-# 250 ブチルシーリング材……P-#3000 水性アクリルシーリング材……P-#4000 ポリサルファイド系シーリング材 ·····・P - # 5000 ポリサルファイド系シーリング材(土木工事用)…Pー#5200 ウレタンシーリング材······P- #6000 シリコーン系シーリング材 ······P - #7000

鐘紡合成化学株式会社

大阪市都島区友渕町1丁目3番80号 TEL大阪(921)1231 肥後橋事務所 大阪市西区江戸堀上通1丁目25番地 TEL(441)8241 東京支店 東京都品川区西五反田7丁目22番17号 TEL(494)2741 名古屋支店 名古屋市中村区泥江町3丁目5番地 TEL(581)1271



南福昭和基地の三星コーキン

理想的間隙充塡材

三星コーキン

「建物の状態は予想以上に良く まるで人が住んでいる様だった」

> 南極観測再開 (第七次観測) のため の調査員現地報告より

三星コーキンは、第1次観測以 来、現在(第14次観測)に至る まで、回を重ねる度にその信頼性 を増し、厳しい条件を克服しなが ら、重要な基地を守りつづけてま いりました。

JIS A-5751 分許可番号 367268号

営業品目◆

▼三星コーキン製造 ★ビニロイド防水工事 コシート防水 アスファルト防水工事

★ 三星プラスチックタイル 貼工事 ★保温保冷工事 ★三星ブラスオール製造 ★シポレックス工事

東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル) TEL (292) 1961代表 出張所/札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡



いま、選ばれているシール材です。

必要が発明をうむ世の中には、切っても切れない 関係ばかり。

カーテンウォール工法と高層ビルもその一例。騒音・震動などに厳しい工事規制のもと、工期の短縮という問題がとりざたされている建築界です。カーテンウォール工法は、時代の要請を受けてさっそうと登場。鉄ワクを組み、壁面をまるでカーテンでもつるすように、規格サイズのコンクリートを組みこむ短期・能率工法。この工法には、コンクリートとコンクリートを接着する製品の優劣がそのまま工期への貢献度となってきます。

サンスターのベタシールが"頼れるやつ"と噂される理由はもうおわかりでしょう。





建築用ポリサルファイドシーラント